

^※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書（工事）

契約番号：7110

件 名	海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事	
履行場所	海老名市上今泉 1840 番地	
工 期	本契約締結日～令和 8 年 1 月 30 日	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○海老名市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に該当しますので、仮契約の締結(令和7年 5 月 20 日予定)になります。議会の議決を得た後、本契約として成立します。	
予定価格	205,590,000 円 (税込)	186,900,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り（開札後算定型） 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格（70%）未満の場合 ※ただし、予定価格（税込）100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 <u>契約締結にあたっての制限等</u> ○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B（75 点）」以上である場合は除く。 ○ 技術者及び現場代理人の他案件（本市入札案件）との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可 ○ 前払金の制限（金額上限、中間前払金の制限など） 契約金額の 20%以内（海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。） ※前払金の上限金額は 5,000 万円以下。中間前払金の支払いはありません。 <u>契約保証</u> 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 (ア) 公共工事履行保証証券による保証（履行ボンド）	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
契約保証金	○保証の種類 ・公共工事履行保証（※通称「履行ボンド」） 契約保証金の納付、保証事業会社等の契約保証又は履行保証保険定額てん補）等で代えることはできません。 ○付保割合等 ・契約金額の 100 分の 30 以上 ・当該工事の契約不適合を補償する特約を付すること。 ※契約不適合：引き渡した工事目的物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	020 建築一式 経審 900 点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。	○特定建設業許可を有すること
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	配置技術者	建築一式工事の監理技術者（専任・常駐）	
	現場代理人	約款に基づく配置（常駐） ※配置技術者と兼務可。	
	その他の要件	○一次下請発注総額の <u>5 %以上</u> を、海老名市に本店を有する者（入札参加資格者に限る。）に、一次下請として発注すること。（複数の者への合計額でも可） ※ただし、受注者が海老名市に本店を有する者の場合は、この限りではない。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く。 ○本市発注の建築一式工事において、過去 5 年間、工事評定で 65 点未満の工事がないこと。 ○特定建設業許可を有すること。（受任者で登録している場合は、受任者の特定建設業許可が必要）	
	落札件数制限	なし	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2）<u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3）<u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u>健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書 ○契約保証に関する調書	
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u>	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類を F A X で提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 ○「下請発注に関する誓約書」（落札候補者が第 1 区分の場合は不要） ※原本については、落札決定後、契約検査課で契約書を受領する際に提出してください。なお、契約書を電子メールにて受領を希望する場合は、別に指示します。 <u>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（3 箇所）にマスキング(黒塗り)をして提出してください。</u>	

海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事
2. 工 事 場 所 海老名市上今泉1840番地
3. 工 事 概 要 今泉中学校屋内運動場の経年劣化に伴う改修及び機能向上改修工事を行うもの。

■ 建物概要S造平屋建て 敷地面積：24,860.67㎡建築面積：1,247.0㎡ 延床面積：1,186.9㎡

■ 工事内容
 - ・直接仮設工事・防水改修工事（シート防水等）
 - ・外壁改修工事（外壁補修、防水型複層塗材E等）
 - ・建具改修工事（アルミサッシ、鋼製建具、建具周囲・ガラスシーリング打替等）
 - ・内装改修工事（壁・床材の更新）
 - ・塗装改修工事（各所塗装塗替等）
 - ・仕上げ工改修工事（舞台設備等）
 - ・空調機設置工事
 - ・通信・情報設備改修工事・火災報知設備改修工事
4. 工 事 期 間 契約締結日 から 令和8年1月30日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする

(1)設 計 図 69 枚

(2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 7 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 44 枚

※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	■ 補助事業 □ 市単事業	学校施設環境改善交付金	
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	■ 市担当者 ■ 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	■ 有 □ 無		安全対策を施し、生徒その他各関係者の安全確保を図ること。
②関連工事、その他工事	■ 有 □ 無	今泉中学校キュービクル改修工事	
③施工時期の制限	□ 有 ■ 無		・部活動や学校行事等に極力配慮すること。 ・日曜、祝日は原則休工とする。
④施工時間の制限	□ 有 ■ 無		・施設運営に支障のないよう留意すること。 ・生徒の登下校時間に配慮すること。
⑤協議未成立事項	■ 有 □ 無	景観条例	監理者の指示のもと、色見本板等の作成に協力すること。

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	■ 有 □ 無	図示 (仮設計画図による)	受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること。
②交通誘導員	■ 有 □ 無	数量書による	
③工事用電力、 水の利用	□ 有 ■ 無	受注者対応	【電気】 仮設電気は既存施設からの供給は不可とする。新たに敷地内に引き込むか発電機等での対応とすること。 【水道】 敷地内のメーターの本管側で分岐し、工事用のメーターを設けること。設置に当たっては、水道局と協議を行うこと。
④濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有 ■ 無		
(5) 支給品			
①支給品について	□ 有 ■ 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	□ 有 ■ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	■ 有 □ 無	数量書による	
③その他 (特別産業廃棄物等)	□ 有 ■ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	■ 有 □ 無	特記仕様書による	
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有 □ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること（F☆☆☆☆使用）
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等	■ 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」適用図書による。		
②工事完成図書	■ 海老名市ホームページー検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページー営繕課担当事務 「海老名市営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観 ③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境 ②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境 ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系 ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系 ③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土 ②コンクリートガラ ③アスファルトガラ ④伐採材 ⑤まだ使用可能な製品 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず ⑦不要木材 ⑧PCB等の毒性物質 ⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動 ②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 ②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断 ③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境 ④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性 ⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

6. 機械設備工事

作業	配慮事項	環境要素
機械設備	低騒音・省エネ型のものを採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③ 3-(1)-④
掘 削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
排出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石を使用する。	2-(5)-①②③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	フロン等の適切な管理・処分を行う。	2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

☐ 設計・施工時に配慮する事項

7. 電気設備工事

作業	配慮事項	環境要素
電気設備	省エネ型機器を採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	P C B等の適切な管理・処分を行う。	2-(5)-⑧
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和7年度

数 量 書

工 事 名 称 海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事

工 事 場 所 海老名市上今泉1840番地

工 期 契約締結日から令和8年1月30日まで

工 事 概 要 今泉中学校屋内運動場の経年劣化に伴う改修及び機能向上改修工事を行うもの。

■ 建物概要

S造平屋建て 敷地面積：24,860.67㎡

建築面積：1,247.0㎡ 延床面積：1,186.9㎡

■ 工事内容

- ・ 直接仮設工事・防水改修工事（シート防水等）
- ・ 外壁改修工事（外壁補修、防水型複層塗材E等）
- ・ 建具改修工事（アルミサッシ、鋼製建具、建具周囲・ガラスシーリング打替等）
- ・ 内装改修工事（壁・床材の更新）
- ・ 塗装改修工事（各所塗装塗替等）
- ・ 仕上げユニット改修工事（舞台設備等）
- ・ 空調機設置工事
- ・ 通信・情報設備改修工事・火災報知設備改修工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

電氣設備工事 科目別内訳

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

屋内運動場		塗装		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
屋根 遮熱塗料	既存ガルバリウム鋼板屋根面 屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系 高耐候型変成シリコン樹脂塗料 下塗+上塗り(1～2回)	1,188	㎡			
下地調整	高圧洗浄 10～15Mpa	1,188	㎡			
犬走り、階段 水性アクリル樹脂系塗 床(防滑仕上)	既存モルタル面 下塗+上塗2回 下地調整費(C-1) 共	140	㎡			
下地調整	高圧洗浄 10～15Mpa	140	㎡			
E P－G 塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(見上) 素地B種	333	㎡			
D P 塗り 改修仕様	既存スチール面 1級 錆止E種 下地RB種(塗替え面)	288	㎡			
(建具関連)						
D P 塗り 改修仕様	既存鋼製建具面 1級 錆止E種 下地RB種(塗替え面)	11.4	㎡			
計						

屋内運動場		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S O P 塗り 改修仕様 (既存見掛鉄骨)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	1,571	㎡			
S O P 塗り 改修仕様(既存ネット ウォーク手摺)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	69.6	m			
S O P 塗り 改修仕様(既存ネット ウォーク手摺下見切)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	69.6	m			
S O P 塗り 改修仕様(既存スチ ール手摺)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	10.4	m			
S O P 塗り 改修仕様 (既存壁ブレース)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	47.2	m			
S O P 塗り 改修仕様 (既存壁面折畳みハ ースネットローラ支柱)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	25.1	m			
S O P 塗り 改修仕様 (既存1階タラップ)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料A 下地RB種(塗替え面)	2	か所			
E P 塗り (壁)	木部 工程B種(一般) 素地A種(屋内)	994	㎡			
E P 塗り (糸幅300mm以下) (巾木)	木部 工程B種(一般) 素地A種(屋内)	229	m			
E P 塗り (糸幅300mm以下) (ウォールボックス)	木部 工程B種(見上) 素地A種(屋内)	59.1	m			
E P 塗り 改修仕様 (その他既存巾木)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	52.9	m			
E P 塗り 改修仕様 (既存壁見切り)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	84.8	m			
E P 塗り 改修仕様 (既存ブレースアーチ)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	20	m			
E P 塗り 改修仕様 (既存框)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	13	m			

屋内運動場		塗装		内部			
名 称	摘 要	数	量	単位	単 価	金 額	備 考
E P 塗り 改修仕様 (ボール他壁)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	115		m ²			
E P 塗り 改修仕様 (既存助木)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	9.2		m ²			
E P 塗り 改修仕様 (玄関既存下駄箱)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	43.4		m ²			
E P 塗り 改修仕様 (既存掃除用具入)	木部 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	6.7		m ²			
E P 塗り 改修仕様 (既存天井)	既存木毛セメント板面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	1,008		m ²			
E P 塗り 改修仕様 (既存建具枠廻壁)	ALC面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	4.6		m ²			
E P-G 塗り 改修仕様(既存ス テージ腰壁笠木)	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	10.4		m			
E P-G 塗り 改修仕様(既存フ 収納)	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	1		か所			
水性アクリル樹脂系塗 床 (既存玄関床)	下塗り+上塗り2回 防滑仕様	15.3		m ²			
(建具関連)							
S O P 塗り	鋼製建具面 塗料1種 錆止工程A種 塗料A種 現場2回目 1回目別途	33.2		m ²			
S O P 塗り 改修仕様	鋼製建具面 工程B種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	3.7		m ²			
S O P 塗り 改修仕様 (防球格子面)	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A 下地RB種(塗替え面)	8.9		m ²			
E P 塗り (糸幅300mm以下)	木製額縁面 素地B種	71.5		m			
E P 塗り (糸幅300mm以下)	木製額縁面 素地B種	92.6		m			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

屋内運動場		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	t2.0 既存モルタル面 下地調整共	98.9	m ²			
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	106	m ²			
天井 化粧 せつこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	87.9	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	60.2	m			
外壁 発砲ウレタン充填	t25	633	m ²			
ボール/既存掲示板 クロス貼り換え		3	m ²			
計						

屋内運動場		ユニット及びその他		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレーカ 集積共	0.1	m ³			
コンクリート撤去	無筋 コンクリートブレーカ 集積共	0.4	m ³			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	17	m			
砕石撤去	積込共	0.3	m ³			
キュービクル 土間コンクリート撤去	コンクリートt200 砕石t150 集積・積込共	2.1	m ²			
(内部)						
体育器具ボスト基礎 撤去	540×540×H570 集積共	24	か所			
前方吊り下げバスケットゴール撤去	W1800×H1050 支柱 集積共	2	か所			
固定式バスケットゴール 撤去	W1800×H1200 下地鉄骨 集積共	4	か所			
体育器具ゴール撤去	集積共	24	か所			
カーテンボックス撤去	W400×H120×t23 木製 集積共	59.1	m			
ステージ階段撤去	集積共	2	か所			
室名札撤去	集積共	4	か所			
姿見撤去	W900×H1800 集積共	1	か所			

屋内運動場		ユニット及びその他		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
椅子収納台車撤去	W1250×D4145×H720程度×9台 集積共	1	式			
袖幕撤去	W850×H4100 集積共	2	か所			
引割緞帳撤去	W7000×H4100 集積共	2	か所			
一文字幕撤去	W12500×H850 集積共	1	か所			
バトン撤去	6.0m 支持パイプ ワイヤー 集積共	2	か所			
ジャンプマター撤去	集積共	1	か所			
平均台撤去	集積共	2	か所			
暗幕撤去	W29540×H3100 集積共	2	か所			
暗幕撤去	W1700×H900 集積共	1	か所			
撤去機械運搬		1	式			別紙 00-0009
計						

屋内運動場		ユニット及びその他		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
浸透枳	塩ビ製	5	か所			
浸透枳周囲 コンクリート打設	300×300×t150 砕石t100	5	か所			
犬走り、階段 欠損部補修	モルタル補修 100×100	10	か所			
犬走り、階段 クラック補修	自動式低圧ポresh樹脂注入工法	2	m			
手洗い場 クリーニング		2	台			
外壁タラップ クリーニング		1	か所			
SUS手摺 クリーニング		14.7	m			
北側 室外機置場 新設	W8800×D2400程度 (一部犬走復旧) 土工・地業、躯体まで(仕上別計上)	1	か所			
室外機置場 メッシュフェンス	H2000 独立基礎共	9.2	m			
室外機置場 メッシュフェンス点検用扉	W1800×H2000 独立基礎共	1	か所			
キュービクル 土間コンクリート新設	コンクリートt200 溶接金網 φ6×150×150 砕石t150	2.1	m ²			
現場発生土 場内敷きならし	締め固め共	2.5	m ³			
計						

屋内運動場		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
体育器具ボスト基礎	540×540×H570 RC造 既存床目あらし共	18	か所			
カーテンボックス	木製 W400×H120× t 23 取付金具再取付	59.1	m			
収納フック		30	か所			
室名札		4	か所			
携帯用スロープ	アルミ 2折式 材料のみ	1	か所			
鋼製床組	H650 体育館用	74.2	m ²			
単層フローリング	カバ t18 特殊張り工法	742	m ²			
パーテイルボード	t15	742	m ²			
2液形ポリウレタン樹脂 ニス (体育室床)	フローリング面 サリタ 掛け2回共	742	m ²			
2液形ポリウレタン樹脂 ニス (既存ステージ床)	フローリング面 サリタ 掛け2回共 下地調整RB種(塗替え面)	80.3	m ²			
床点検口	600角	2	か所			
フローリング周囲 緩衝材	EXPフォーム 18×25	110	m			
コートライン引き	メインバスケットコート用 24100×15100 白線	1	面			
コートライン引き	バスケットコート用 青線	2	面			
コートライン引き	ハレーボールコート用 9000×18000 赤線	3	面			

屋内運動場		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コートライン引き	ハートミントコート用 13400×6100 黄線	6	面			
電動吊上式 バスケットゴール	ポスト W1800×H1050 支柱・押しボタンスイッチ共	1	組			
壁面折畳み バスケットゴール	ポスト W1800×H1050 支柱共	2	組			
競技用ボスト受金物	ハレーボール用	6	か所			
競技用ボスト受金物	ハートミント用	12	か所			
ハレーボール用支柱		3	組			
ハートミント用支柱		6	組			
椅子収納台車	W1250×D4145×H720程度×9台	1	式			
ステージ階段	W900×H930 アルミ製	2	か所			
引割緞帳	W7000×H4100×2か所	1	式			
袖幕	W850×H4100×2か所	1	式			
一文字幕	W12500×H850	1	式			
脇幕1	W1800×H4000×2か所	1	式			
脇幕2	W1800×H4000×2か所	1	式			
かすみ幕	W14000×H1100	1	式			

屋内運動場		ユニット及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
引割背面幕	W7000×H4500×2か所	1	式			
パトシ	6.0m 支持パイプ ライヤー 昇降ウィンチ	2	組			
暗幕	W600×H3100	4	か所			
暗幕	W1670×H2400	8	か所			
暗幕	W8330×H3100	4	か所			
暗幕	W5000×H3100	2	か所			
暗幕	W1700×H900	1	か所			
姿見	900×1800 四方枠:SUS	1	か所			
ホール/既手洗い流し クリーニング*	既存ステンレス面	5.5	m ²			
体育室 杓摺	木製 t30 2液形ポリウレタン樹脂ワニス	9.2	m			
(再利用)						
防球ネット 取外再取付	H4000～7000	110	m			
ロールスクリーン 取外再取付	W4000	1	か所			
校章 取外再取付		1	か所			
校歌板 取外再取付	W2800×H2000	1	か所			

[illegible]

電気設備工事		動力設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【電線】						
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	5.5mm2	105	m			
【ケーブル】						
600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル扁平形 EM-EEF	2.0mm ² -3C 管内	133	m			
EM-CETケーブル	38mm2 管内	19	m			
EM-CETケーブル	38mm2 FEP内 (PF・CD)	6	m			
EM-CETケーブル	60mm2 FEP内 (PF・CD)	86	m			
【電線管】						
厚鋼電線管 (G)	露出配管 22mm	28	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 54mm	19	m			
波付硬質合成樹脂管 (FEP)	(65)	93	m			
金属製可とう電線管 (電動機等接続)	50mm ビニール被覆有・防水	2	か所			
異物継手	75 防錆管/鋼管	2	個			
【分電盤】						
屋外キュービクル改修	MCCB3P 100AF/100AT 増設	1	個			

電気設備工事 細目別内訳

電気設備工事		動力設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
空調分岐盤		1	面			
【土工事】						
ハットホル (H1-6) 600 ^φ 600H (600 φ 鉄蓋)		4	個			
地中埋設標	鉄製	4	個			
埋設標識シート	2倍長 (W) 150	62	m			
バックホリ運転	バックホリ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	3	日			
根切り (機械)	バックホリ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	37	m3			
埋戻し	機 械 バックホリ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	37	m3			
運搬機械運転 (トラック)	普通用 2 t 積	2	運転日			
【ボックス類】						
アルボックス (150×150×100) 鋼板製 錆止め塗装	A	1	個			
アルボックス (150×150×100) 溶融亜鉛めっき 防水型	a	4	個			
アルボックス (400×400×300) 溶融亜鉛めっき 防水型 接地端子付	(e)	1	個			
電動機結線	直入始動方式	2	台			

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
避難口誘導灯 BL級 カート		3	個			
【配線器具】						
2P15A×1 (金属プレート付)	1P 15A ×1 ネーム無 -	1	個			
2P15A×2 (金属プレート付)	1P 15A ×2 ネーム無 -	1	個			
2P15A×3 (金属プレート付)	1P 15A ×3 ネーム無 -	1	個			
スイッチ 1P15A×2 PL ランプ付・露出スイッチ ボックス 1個用		1	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×2 (一体形) 125V	6	個			
コンセント 2P15A×2 カ ートプレート付		3	個			
非常用コンセント 2P15 A×2 (赤色) カ ートプレート付		1	個			
コンセント (金属プレート付)	2P15A×1 (引掛形接地極付プラグ 共) 125V	8	個			
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (抜止め) 125V	2	個			
金属製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型 D44	2	個			
バスケットコントロール操作盤 キャビネット (スイッチ収 納用)		1	面			
【ボックス類】						
プレートボックス(150×15 0×100)鋼板製 錆 止め塗装 接地端	(A)					

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
子付		16	個			
プレートボックス(200×20 0×150)鋼板製 錆 止め塗装 接地端 子付	(B)	1	個			
プレートボックス(300×30 0×200)鋼板製 錆 止め塗装 接地端 子付	(D)	3	個			
【はつり工事】						
機械はつり(ダクト・イモ ント・カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 25mm	1	か所			
機械はつり(ダクト・イモ ント・カッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 28mm	2	か所			
【既存】						
電灯盤 L-2	【取外し再取付】	1	面			
避難口誘導灯 BL級 カート	【撤去】	7	個			
スイッチ 1P15A×1	【撤去】	1	個			
スイッチ 1P15A×2	【撤去】	1	個			
スイッチ 1P15A×3	【撤去】	1	個			
コンセント 2P15A×2	【撤去】	9	個			

電気設備工事		電灯設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
非常用コンセント 2P15A×2 (赤色)	【撤去】	1	個			
アルボックス(200×200×150)鋼板製	【撤去】	1	個			
CV14° -3C	【撤去】					
CVV3. 5° -5C (E51)	CV14° -3C分	4	m			
CV14° -3C	【撤去】					
CVV3. 5° -5C (E51)	CVV3. 5° -5C分	4	m			
CV14° -3C	【撤去】					
CVV3. 5° -5C (E51)	(E51)分	4	m			
5. 5° ×4 E2. 0 (PF36)	【撤去】					
5. 5° ×8 (PF36)	5. 5° ×12 分 立上り部分 (体育室照明用)	84	m			
5. 5° ×4 E2. 0 (PF36)	【撤去】					
5. 5° ×8 (PF36)	E2. 0 分 立上り部分 (体育室照明用)	14	m			
5. 5° ×12 (E31) ×2 配管再利用	【撤去】					
	5. 5° ×12 分	56	m			
5. 5° ×12 (51) 配管再利用	【撤去】					
	5. 5° ×12 分	662	m			
5. 5° ×8 (31) 配 管再利用	【撤去】					
	5. 5° ×8 分	139	m			
5. 5° ×6 (31) 配 管再利用	【撤去】					
	5. 5° ×6 分	238	m			
5. 5° ×4 (25) 配 管再利用	【撤去】					
	5. 5° ×4 分	158	m			
5. 5° ×2 (25) 配 管再利用	【撤去】					
	5. 5° ×2 分	79	m			

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【ケーブル】						
EM-HPケーブル	1.2 mm- 2C 管内	110	m			
EM-HPケーブル	1.2 mm- 2C ビット・天井	12	m			
EM-HPケーブル	1.2 mm- 2C FEP内 (PF・CD)	3	m			
EM-HPケーブル	1.2 mm- 3C 管内	8	m			
EM-AEケーブル	1.2 mm- 2C 管内	123	m			
EM-AEケーブル	1.2 mm- 2C ビット・天井	40	m			
EM-AEケーブル	1.2 mm- 2C FEP内 (PF・CD)	17	m			
EM-AEケーブル	1.2 mm- 3C 管内	32	m			
EM同軸ケーブル	EM-S-5C-FB 管内	23	m			
EM-MEESケーブル	0.75mm2- 2C 管内	33	m			
EM-MEESケーブル	0.75mm2- 2C FEP内 (PF・CD)	9	m			
【電線管】						
厚鋼電線管 (G)	露出配管 16mm	69	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 22mm	98	m			

電気設備工事 細目別内訳

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
厚鋼電線管 (G)	露出配管 28mm	9	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管 36mm	7	m			
合成樹脂製可とう電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	21	m			
2種金属線び (MM2)	A型 幅40×高さ30mm	13	m			
【拡声設備】						
ワイヤレススピーカー (防球ガード付)	【拡声設備】	2	台			
木製壁掛型スピーカー ATT付	【拡声設備】	3	台			
アンプ 6 W以下	【拡声設備】	1	台			
電源カトリレー	【拡声設備】	1	台			
【音響設備】						
アンプ 30 W以下	【音響設備】	1	台			
プロアマイクセント	【音響設備】	3	台			
【時刻表示設備】						
子時計調針器	【時刻表示設備設備】	1	台			
埋込型バックプレート	【時刻表示設備設備】	1	台			

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【機器姿図】						
P.A.アンプ 24 OW 2局	【音響設備】 チューナー(2波)(4波) 分配器 CDプレーヤー共	1	台			
ワイレスマイク ハンド型	【音響設備】	5	台			
ワイレスマイク テレビン型	【音響設備】	1	台			
ワイレスマイク 用充電器	【音響設備】	3	台			
マイクスタンド	スタンド形	1	個			
【凡例】						
メインスピーカー	【音響設備】	2	台			
ハネ返りスピーカー	【音響設備】	1	台			
壁取付用ワイレスアンテナ	【音響設備】	1	台			
壁取付用ワイレスアンテナ (防球ガード付)	【音響設備】	1	台			
壁取付型子時計(700Φ)	【時刻表示設備設備】	1	台			
【インターホン新設分】						
電話機子機		2	台			

電気設備工事 細目別内訳

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【ボックス類】						
アルボックス(150×150×100)鋼板製 錆止め塗装	A	7	個			
アルボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型	a	12	個			
アルボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型	b	3	個			
【はつり工事】						
機械はつり(パイプセ ンダカッターによる 配管用貫通口)	100～150mm 25mm	8	か所			
【既存】						
ホン型スピーカ(非常 放送用)	【撤去】	2	台			
アンプネーター	【撤去】	1	個			
マイクジャック(床埋込)	【撤去】	3	個			
インターホン(6局用親 機)	【撤去】	1	個			
調針器用ジャック	【撤去】	1	個			
災害用特設公衆電 話用端子盤	【取外し再取付】	1	面			
wifiアンテナ	【取外し再取付】	2	個			
モジュレーションジャック	【取外し再取付】	1	個			

電気設備工事		通信・情報設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
メインスイッチ	【撤去】	2	台			
壁掛け時計 撤去	【撤去】	1	個			
ワイレスアンテナ	【撤去】	1	台			
【配管配線】						
CPEV1. 2-3P (25)	【配線のみ撤去】	4	m			
HIV1. 2×2 (19)	【配線のみ撤去】	83	m			
HIV1. 2×3 (19)	【配線のみ撤去】	38	m			
MVVS0. 75-2C×2 (25)	【配線のみ撤去】 体育室のマイクジャック (床埋込)	40	m			
MVVS0. 75-2C×3 (25)	【配線のみ撤去】	15	m			
MVVS0. 75-2C×2 (25)	【配線のみ撤去】	15	m			
MVVS0. 75-2C×1 (25)	【配線のみ撤去】	7	m			
1. 2×4 (19)	【配線のみ撤去】 アンプへ	16	m			
MVVS0. 75-2C×5 (25) (31)	【配線のみ撤去】 アンプへ	20	m			
CPEV1. 2-5P (25)	【配線のみ撤去】	60	m			
UTP-4P (CAT6) (MM A)	【配管のみ撤去】 (MMA) 分	7	m			

電気設備工事 細目別内訳

[illegible]

機械設備		空調設備		機器設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ACP-1、-2 ヒートポンプマルチ 屋外機	ヒートポンプマルチ屋外機 冷房56.0KW 暖房63.0KW	2	台			
ACP-1-1、-2-1 ヒートポンプマルチ 屋内機	天吊り型 冷房14.0KW 暖房16.0KW	8	台			
ワイヤードリモコン		2	台			
集中リモコン		1	個			
コインタイマー		1	個			
防球ネット		8	個			
エアコン架台		8	台			
据付費		1	式			
搬入費		1	式			
計						

機械設備		空調設備		配管設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
冷媒用被覆銅管	15.9φ x 9.5φ	39	m			
冷媒用被覆銅管	22.2φ x 9.5φ	18	m			
冷媒用被覆銅管	28.6φ x 12.7φ	8	m			
冷媒用被覆銅管	28.6φ x 15.9φ	78	m			
空調ドレン用結露 防止塩化ビニル管	屋内一般 25A	12	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A	47	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 25A	6	m			
配管用防虫網	25A	2	個			
配管用架台		1	式			別紙 00-0015
保温工事		1	式			別紙 00-0016
はつり工事		1	式			別紙 00-0017
支持金物		1	式			別紙 00-0018
計						

[illegible]

機械設備 細目別内訳

[illegible]

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(内部改修)	複合改修	1,041	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
(外部)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	308	m ²			
養生(外壁改修)		335	m ²			
外部足場下 養生	t0.15 養生用お ^レ シート 端部養生用接着テープ 留め	332	m ²			
(内部)						
養生(内部改修)	複合改修	1,041	m ²			
計						

[illegible]

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用90日賃料 修理費含む *足場つなぎ設置時集じん機付きﾄﾞﾘ ﾙ使用(石綿含有仕上塗材面)	374	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用90日賃料 修理費含む *足場つなぎ設置時集じん機付きﾄﾞﾘ ﾙ使用(石綿含有仕上塗材面)	1,384	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用90日賃料 修理費含む	194	m			
脚立足場	供用30日賃料 修理費含む	333	m ²			
電気設備用 枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用30日賃料 修理費含む	25.2	m ²			
電気設備用 安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用30日賃料 修理費含む	3.6	m			
計						

建築工事 別紙明細

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0005
内部仕上足場	脚立足場 掛払・損料共 存置期間:2ヵ月	91.2	m ²			
枠組棚足場	階高7.4m以上9.1m未満 掛払・損料共 存置期間:2ヵ月	120	m ²			
枠組棚足場	階高9.1m以上10.8m未満 掛払・損料共 存置期間:2ヵ月	742	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0006
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 供用90日賃料 修理費含む	1,757	m ²			
小幅ネット張り	防災ボ リエステル 供用90日賃料 修理費含む	302	m			
電気設備用 ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 供用30日賃料 修理費含む	19.1	m ²			
電気設備用 小幅ネット張り	防災ボ リエステル 供用30日賃料 修理費含む	7.2	m			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0007
(外部)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	374	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,384	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	194	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	333	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,757	m ²			
仮設材運搬 (小幅ネット)		302	m			
電気設備用 仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	25.2	m ²			
電気設備用 仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	3.6	m			
電気設備用 仮設材運搬 (シート・ネット類)		19.1	m ²			
電気設備用 仮設材運搬 (小幅ネット)		7.2	m			
(内部)						
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	91.2	m ²			

[illegible]

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

電気設備工事		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処理		1	式			別紙 00-0013
発生材処分	金属くず	1	m3			
発生材処分	混合廃棄物	1	m3			
プラスチック		1	m3			
計						
運搬費		1	式			別紙 00-0014
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホ0.13m3 石こうボード類 DID区間有り 5.0km以下	3	m3			
計						

機械設備 別紙明細

機械設備		空調設備		配管設備		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管用架台		1	式			別紙 00-0015
配管用架台①		25	個			
配管用架台②		2	個			
配管用架台③		6	個			
計						
保温工事		1	式			別紙 00-0016
保温化粧ケース (銅板製)	100 × 70	8	m			
冷媒管保温	屋外露出、ステンレス銅板 100A	135	m			
計						
はつり工事		1	式			別紙 00-0017
機械はつり(ダイヤモ ントカッターによる 配管用貫通口)	200mm程度 75mm	16	か所			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員B		1	式			別紙 00-0019
ガードフェンス	H=1.8m 運搬共 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0020
クロスゲート	W6.0m×H1.8m 運搬共 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0021
室内環境測定	ホルム・VOC 事前・事後 7か所	1	式			別紙 00-0022
樹木伐採・伐根 枝払い		1	式			別紙 00-0023
水栓式仮設便所	2棟 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0024
ピアノ 体育器具庫移設再 設置	調律共	1	式			別紙 00-0025
仮設倉庫		1	式			別紙 00-0026
既存備品移動再設 置	体育備品他	1	式			
アスベスト粉塵濃度測 定費	2検体	1	式			別紙 00-0027
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員B		1	式			別紙 00-0019
交通誘導員B		40	人			
計						
ガードフェンス	H=1.8m 運搬共 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0020
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	92.7	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 供用1日賃料 修理費含む 設置期間6か月	92.7	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 基本料 修理費含む	92.7	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		92.7	m			
計						
クロスゲート	W6.0m×H1.8m 運搬共 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0021
クロスゲート	W6.0m×H1.8m	1	か所			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
室内環境測定	ホルム・VOC 事前・事後 7か所	1	式			別紙 00-0022
室内環境測定	ホルム・VOC 事前・事後 7か所	1	式			
計						
樹木伐採・伐根 枝払い		1	式			別紙 00-0023
高木伐採	枝払い	10	本			
計						
水栓式仮設便所	2棟 設置期間6か月	1	式			別紙 00-0024
水栓式仮設便所		2	棟			
計						
ピアノ 体育器具庫移設再 設置	調律共	1	式			別紙 00-0025
ピアノ 体育器具庫移設再 設置	調律共	1	か所			
計						

[illegible]

海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事

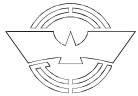
図 面 リ ス ト					
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
No. A - 00	表紙・図面リスト	No. A - 26	ステージ ブドウ棚 舞台装置 詳細図	No. E - 01	電気設備改修工事特記仕様書
No. A - 01	特記仕様書(1)	No. A - 27	既存改修 1階天井伏せ図	No. E - 02	キュービクル単線結線図
No. A - 02	特記仕様書(2)	No. A - 28	既存改修 吹抜部天井伏せ図	No. E - 03	分電盤結線図
No. A - 03	特記仕様書(3)	No. A - 29	1階 キープラン表	No. E - 04	配置図
No. A - 04	特記仕様書(4)	No. A - 30	吹抜け部 キープラン表	No. E - 05	動力設備 改修 1階平面図
No. A - 05	案内図・配置図	No. A - 31	建具表(1)	No. E - 06	電灯設備 既存 1階平面図
No. A - 06	特記事項・外壁改修内容一覧表	No. A - 32	建具表(2)	No. E - 07	電灯設備 改修 1階平面図・詳細図
No. A - 07	仕上表	No. A - 33	玄関ホール 既存改修平面図・改修展開図	No. E - 08	電灯設備 既存 2階平面図
No. A - 08	既存 1階平面図	No. A - 34	既存改修 体育室床改修平面図	No. E - 09	電灯設備 改修 2階平面図
No. A - 09	改修 1階平面図	No. A - 35	体育室床 詳細図	No. E - 10	拡声設備・時刻表示設備 機器姿図
No. A - 10	既存 吹抜部平面図	No. A - 36	コートライン詳細図・基礎配置図	No. E - 11	音響設備 システムブロック図・機器姿図
No. A - 11	改修 吹抜部平面図	No. A - 37	椅子収納台車・移動階段詳細図	No. E - 12	通信・情報設備 既存 1階平面図
No. A - 12	既存 屋根伏せ図	No. A - 38	電動吊上式バスケットゴール詳細図	No. E - 13	通信・情報設備 改修 1階平面図
No. A - 13	改修 屋根伏せ図	No. A - 39	壁面折畳みバスケットゴール 詳細図	No. E - 14	通信・情報設備 既存 2階平面図
No. A - 14	既存改修 東側立面図	No. A - 40	防水改修標準図	No. E - 15	通信・情報設備 改修 2階平面図
No. A - 15	既存改修 西側立面図	No. A - 41	外壁の改修工法ディテールシート(1)	No. E - 16	自動火災報知設備 既存 2階平面図
No. A - 16	既存改修 南側立面図	No. A - 42	外壁の改修工法ディテールシート(2)	No. E - 17	自動火災報知設備 改修 2階平面図
No. A - 17	既存改修 北側立面図	No. A - 43	改修塗料等仕様書	No. E - 18	改修 1階・2階平面図
No. A - 18	既存 断面図	No. A - 44	雑詳細図	No. E - 19	電動吊上式バスケットゴールの制御盤(参考)
No. A - 19	改修 断面図	No. A - 45	仮設計画図(参考)	No. M - 01	機械設備特記仕様書
No. A - 20	既存 矩計図			No. M - 02	空調設備 改修 1階平面図
No. A - 21	改修 矩計図			No. M - 03	換気設備 改修 2階平面図
No. A - 22	既存 体育室展開図(1)			No. M - 04	計装設備 改修 1階平面図
No. A - 23	既存 体育室展開図(2)				
No. A - 24	改修 体育室展開図(1)				
No. A - 25	改修 体育室展開図(2)				



[illegible]

9 ― 1 環境配慮改修工事（石綿含有建材の処理工事）	① 一般事項	石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。 施工調査 ・ 行わない。 ※ 行う（調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。） 調査箇所 ※ 図示 調査事項 ※ 石綿含有建材等の使用部位 ※ 石綿含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 ・ ・ 石綿含有分析 ○ 行わない ・ 行う(分析結果は監督職員に提出する。) 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 <table><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析</th><th>定量分析</th></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr><tr><td></td><td>・(試料数:)</td><td>・(試料数:)</td></tr></table> 石綿粉じん濃度測定 ・ 行わない。 ※ 行う(測定する時期・場所等は下表による) 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－ :光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。 <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点 (各施工箇所ごと)</th><th>室 名 等</th></tr><tr><td rowspan="10"></td><td>・ 測定1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定2</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定4</td><td></td><td>セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)</td><td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定5</td><td></td><td>負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)</td><td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>○ 測定6</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ○1点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>○ 測定7</td><td>処理作業後 シート撤去前</td><td>処理作業室内</td><td>※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定8</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td>・ 測定9</td><td>処理作業後 シート撤去後</td><td>処理作業室内</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">測 定 点 総 計</td><td>点</td></tr></table> 注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)石綿粉じん濃度測定方法 <table><tr><th></th><th>測点3</th><th>測点1, 2, 4, 6, 7, 8</th><th>測点5</th></tr><tr><td>計数機器</td><td colspan="2">位相差・分散顕微鏡</td><td></td></tr><tr><td>メンブレンフィルタの直径</td><td colspan="2">25mm</td><td>47mm</td></tr><tr><td>試料の吸引流量</td><td>1L/min</td><td>5L/min</td><td>10L/min</td></tr><tr><td>試料の吸引時間</td><td>5min</td><td>120min</td><td>240min</td></tr><tr><td>試料の透明化</td><td colspan="3">アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法</td></tr><tr><td>計数条件</td><td colspan="3">総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</td></tr><tr><td>計数アスベスト</td><td colspan="3">幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上</td></tr><tr><td>定量限界</td><td>50本/L</td><td>0. 47本/L</td><td>0. 3本/L</td></tr></table> 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の 天候、温度、湿度、外気の風速及び風量 測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成	材 料 名	定性分析	定量分析		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等		・ 測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・ 測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点		・ 測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・ 測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		・ 測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		○ 測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ○1点 ※2点 ・点		○ 測定7	処理作業後 シート撤去前	処理作業室内	※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・ 測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		・ 測定9	処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測 定 点 総 計				点		測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5	計数機器	位相差・分散顕微鏡			メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法			計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野			計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上			定量限界	50本/L	0. 47本/L	0. 3本/L
	材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																																											
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																											
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																											
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																											
		・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																											
	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等																																																																																																								
		・ 測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																									
		・ 測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																									
		・ 測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																									
・ 測定4			セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																										
・ 測定5			負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																										
○ 測定6			施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ○1点 ※2点 ・点																																																																																																										
○ 測定7		処理作業後 シート撤去前	処理作業室内	※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																										
・ 測定8			施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																										
・ 測定9		処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																										
測 定 点 総 計				点																																																																																																										
	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5																																																																																																											
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																													
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm																																																																																																											
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min																																																																																																											
試料の吸引時間	5min	120min	240min																																																																																																											
試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法																																																																																																													
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野																																																																																																													
計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上																																																																																																													
定量限界	50本/L	0. 47本/L	0. 3本/L																																																																																																											
② 除去工事 共通事項	専門工事業者 石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。 3. 石綿含有吹付け材の除去 石綿含有吹き付け材の除去工事 ・ 行う（適用範囲・図示 ・ 行わない ・ 集塵機付高圧洗浄工法 作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。 <table><tr><th colspan="2">隔離シートの性能</th></tr><tr><td>※ 床面</td><td>※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重</td></tr><tr><td>※ 壁面</td><td>※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承認を得ること。 セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による <table><tr><th>適用</th><th>室名</th><th>状態</th><th></th></tr><tr><td rowspan="4">※</td><td>更衣室</td><td></td><td>※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・</td></tr><tr><td>※ 洗浄室</td><td>負圧</td><td>※ エアシャワー(温水シャワー) ・</td></tr><tr><td>※ 前室</td><td>負圧</td><td>・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご</td></tr></table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承認を得ること。 除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 4. 石綿含有保温材等の除去 石綿含有保温材の除去工事 ・ 行う（適用範囲・図示 ・ 行わない 養生等 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う(<9.1.3>「石綿含有吹き付け材の除去」による) 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。 ⑤ 石綿含有成形板の処理 石綿含有成形板の除去工事 ○ 行う（適用範囲○ 図示 ・ 行わない 養生 ・ 行う（適用範囲・図示 ・ 行わない ○ 行わない 除去工法 ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。 ⑥ 石綿含有仕上塗材の除去 石綿含有仕上塗材の除去工事 ○ 行う（適用範囲○ 図示 ・ 行わない 養生 ○ 行う（適用範囲○ 図示 ・ 行わない 除去工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン方法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ○ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ※ 除去物の保管、運搬及び処分は、<9.1.5(3)>による。 ※ 確認及び後片付けは、<9.1.5(4)>による。 ※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付きドリルを使用する。	隔離シートの性能		※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重	※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等	適用	室名	状態		※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・	※ 洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・	※ 前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																									
隔離シートの性能																																																																																																														
※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重																																																																																																													
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等																																																																																																													
適用	室名	状態																																																																																																												
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・																																																																																																											
	※ 洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・																																																																																																											
	※ 前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																											
	9 ― 2 環境配慮改修工事（断熱材）	① 断熱材 断熱材の打込み及び現場発泡工法 <table><tr><th>種類</th><th>箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">※ ポリスチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b</td><td>下配以外</td><td>※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>※A種押出法 3種b (スキン層付き)</td><td>接合部分及び屋根防水部分 ビット内部</td><td></td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム保温材</td><td>※A種</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フェノールフォーム保温材</td><td>※A種</td><td>・</td><td>JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>○ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材</td><td>※A種1</td><td>・</td><td>※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 <table><tr><th>種類</th><th>箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">・ JISA発泡プラスチック保温材</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b</td><td>下配以外</td><td>※ 25 JIS表示認証製品</td></tr><tr><td>※A種押出法 3種b (スキン層付き)</td><td>接合部分及び屋根防水部分 ビット内部</td><td></td></tr><tr><td>・ グラスウール保温材</td><td></td><td>※ 100</td><td>※ 24K品 ・</td></tr></table> ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)	種類	箇所	厚さ(mm)	備考	※ ポリスチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下配以外	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品	※A種押出法 3種b (スキン層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ビット内部		・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種	・	・ フェノールフォーム保温材	※A種	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品	○ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級	・	・	・	・	種類	箇所	厚さ(mm)	備考	・ JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下配以外	※ 25 JIS表示認証製品	※A種押出法 3種b (スキン層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ビット内部		・ グラスウール保温材		※ 100	※ 24K品 ・																																																																			
種類	箇所	厚さ(mm)	備考																																																																																																											
※ ポリスチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下配以外	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																											
	※A種押出法 3種b (スキン層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ビット内部																																																																																																												
	・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種	・																																																																																																											
・ フェノールフォーム保温材	※A種	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																											
○ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級																																																																																																											
・	・	・	・																																																																																																											
種類	箇所	厚さ(mm)	備考																																																																																																											
・ JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b	下配以外	※ 25 JIS表示認証製品																																																																																																											
	※A種押出法 3種b (スキン層付き)	接合部分及び屋根防水部分 ビット内部																																																																																																												
・ グラスウール保温材		※ 100	※ 24K品 ・																																																																																																											
10 土工事	① 埋戻し及び盛土の種別 ・ A 種 ※ B 種 C種の場合 ・ C 種 ・ D 種 (3.2.3)(表3.2.1) m3 ② 建設発生土の処理 ・ 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・住所(km) ○ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。																																																																																																													
11 コンパシブル・押出成形ブロック・A L板・C 土工事	1. コンクリートブロック塀壁及び塙 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。) ② 押出成形セメント板 ○ 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)																																																																																																													

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

特記仕様書（４）

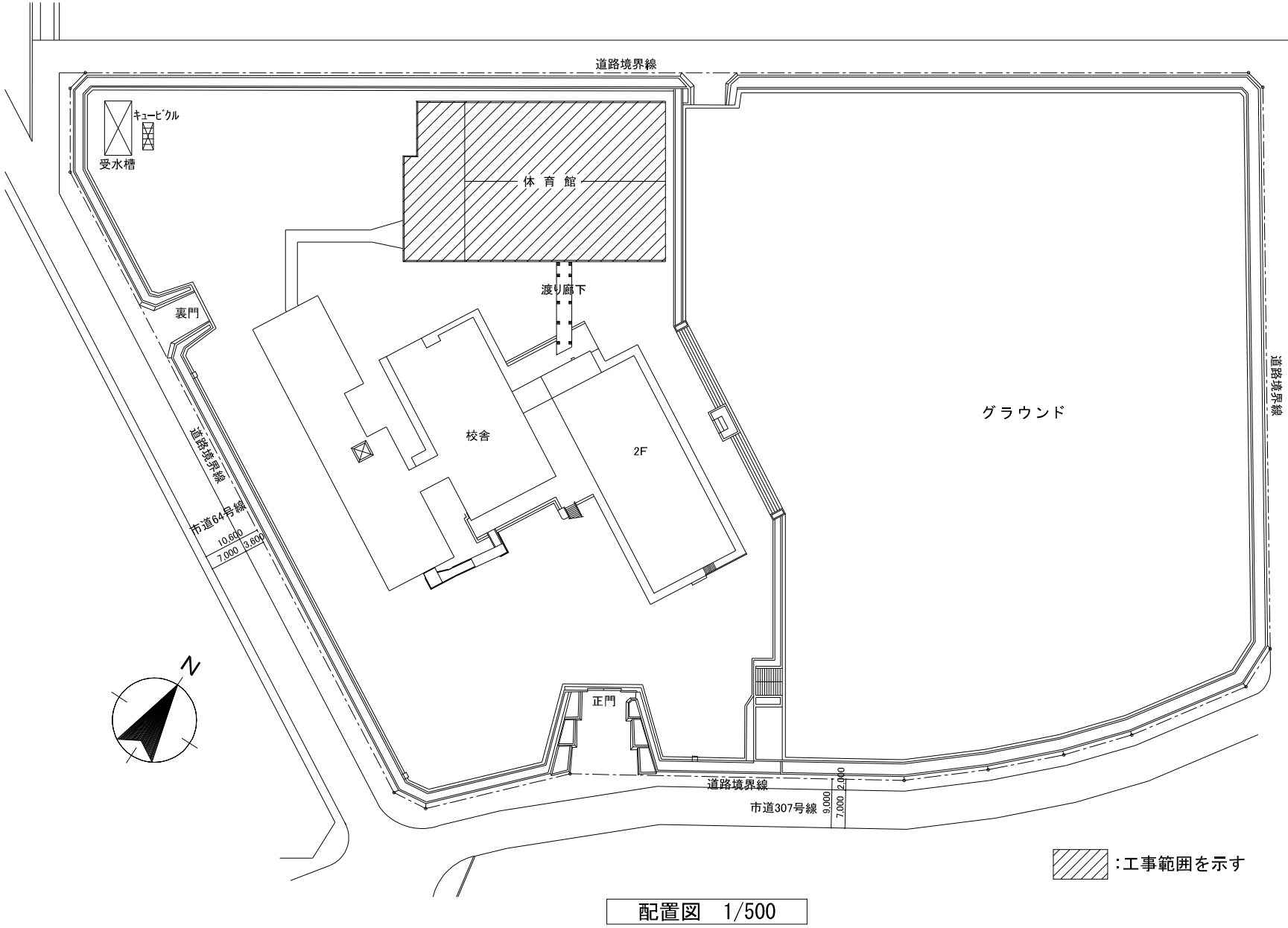
縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 04

工 事 概 要		
工 事 名 称	工事名称	海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事
	工事場所	海老名市上今泉1840番地
	建物用途	屋内運動場
	工事種別	大規模改修工事
構 造 ・ 規 模	敷地面積	24,860.67 m ²
	階 数	平屋建
	構 造	鉄骨造
	建築面積	1,247.02 m ²
	延床面積	1,186.98 m ²



■ 特記事項

【安全対策】 1. 工事搬入出車両の出入りは児童・生徒の登下校時、施設利用者の時間を極力避けること。 2. 敷地内での工事車両安全速度は15km/h以下とすること。 3. 外部足場の昇降口や資材置き場の出入口は常に施錠し第三者の工事エリア進入を防ぐこと。 4. 外部仮囲い等は強固に固定し、施設利用者が触れても危険が無いよう設置すること。 仮囲い等の仮設物の設置後は常に点検を行い、不備が認められた際には速やかに是正処置を講ずること。 5. 火気使用時(アーク溶接等)には床・壁共防災シートの養生を行い消火器を設置する。 また、火気使用2時間後に、作業場所の安全を確認すること。 6. 急な暴風雨、豪雨等にも迅速に対応出来るよう、予め体制を整備しておくこと。 7. 震度4以上の地震発生時や暴風・大雨警報などの「悪天候」が予想される時は、事前に点検し対策を実施して災害防止に備えるとともに点検結果を報告すること。 8. 搬出入に伴う工事車両の運用、荷揚げ等、やむを得ず一時的に工事エリア外での作業を行う際には、カラーコーン・コーンバー等にて区画を行うこと。 9. 関係法令、各種規準を遵守し、第三者の安全確保対策を充分に行うこと。	【一般事項（共通）】 1. 工事着手に先立ち本図を参考とし、監督員・施設管理者ほかの関係機関と綿密な協議の上施設運営に支障のない工事計画を行うこと。 2. 工事区域及び周囲の作業通路ほか、工事関連箇所は既存部分の養生を行い、完成検査（引渡し）前に清掃（クリーニング）を行うこと。 3. コンクリートの壁及び床のはつりやコア抜きを行う場合は、事前に施設で保管している図面等を参照し、現場調査を入念に行うこと。また作業前にレントゲン調査等を行うなど、埋設物を破壊させない準備を行うこと。 土間解体及び、掘削等の作業には以下に注意すること。 ・範囲内の地中埋設物を損傷させないよう、解体掘削は慎重に行い急激な作業を行わないこと。 ・状況に応じ重機を使わず、手はつり、手堀で作業を行うこと。 4. 自動火災報知機感知器が誤発報しないよう、以下による適切な対応を行うこと。 また、工事範囲内の感知器への対応は以下とすること。 ・感知器には専用カバー等で養生を行う。作業時間帯以外は取り外すこと。 ・室内温度差等により感知器が作動しないよう、投光器等の熱源は感知器から距離を置き熱の影響を受けないよう考慮すること。 ・万一自動火災報知機感知器が発報した際、工事によるものか否かを確認する方法や発報を停止する措置（施設側対応）に関して、事前に施設管理者と協議を行うこと。
【足場設置基準】 <外部足場> 1. 枠組足場・くさび緊結式足場は手すり先行据置方式とすること。 2. 壁つなぎの設置は以下とすること。（推奨） 垂直方向：根がらみから2スパン毎に取り付ける。 水平方向：外壁角から近い縦地から2スパン毎及び最上部は全縦地に取り付ける。 鉄骨造：鉄骨から直に壁つなぎを取るものとし、ALC版等の外壁部材からとらないこと。 □ 壁つなぎ穿孔作業は石綿作業主任者が常駐のうえ、「石綿作業主任者」又は「石綿作業従事者特別教育修了者」が行い集塵機及び、HEPAフィルタ付きドリルを使用し既存外壁塗材の飛散を防止すること。 3. 壁つなぎ用後施工アンカーはコンクリート躯体にしっかり固定すること。 4. 足場の脚部には、短・長辺方向に根がらみを設置すること。 5. 外部足場の外側には防災1頻ネット状養生シートをGLまで設置し、下記養生枠を設置すること。 □ H1,800までは金網式養生枠を設置する。 □ H2,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 □ H3,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 6. 手すり、下棧、幅木は四方に設置すること。 7. 層間ネットは専用金具を使用し、2層毎に設置すること。 8. 足場の隅隅は緩衝材等で養生を行うこと。 9. 足場の外部に金物等の突出物が出る場合は緩衝材や既製の養生材で養生を行うこと。 10. 外部足場は設置場所を汚さないようシート養生を行った上に設置する。 11. 足場組立等作業主任者の掲示、最大荷重の表示を行うこと。	■ 一般事項-2(屋根改修) 1. 「金属板カバー工法」で施工した屋根に関しては引き渡し日より10年間の防水保証、シーリング材を施工した部分に関しては引き渡し日より5年間の防水保証、（請負業者、施工工学会社、材料製造会社）を行う。 2. 工事に先立ち、施工計画、施工仕様、安全対策等を記載した「施工計画書」を提出し、監督員の承認を得ること。 3. 屋根での作業は、JIS A 8971、屋根工用足場及び施工方法に準じて行うこと。 4. 作業動線全ての屋上周囲に安全手すり設置等の壁落、また屋根面には踏み抜き防止ネットを敷設すること。 5. 体育館天井面作業の際、破損の恐れのある空気管（自動火災報知設備）は、事前に空気管の保護や注意喚起表示を行うこと。 6. 既存屋根大波スレート葺きについては、石綿含有として作業を行うこと。 <特記事項> ・ 既存耐酸被覆鋼板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。
<移動式足場（ローリングタワー）> 1. 組立高は制限高さ（7.7m×（足場の短辺幅÷枠出寸法）-5m）かつ5段以下。 2. 使用中はキャスターのブレーキを4か所確実に効かせる。 3. 手すりは90cm以上とし中棧を設置する。 4. はしごでの昇降には安全ブロックを使用すること。 5. 作業床でははしごや脚立は使用しない。 6. 作業者を乗せたままで移動は絶対行わない。 7. 作業者は安全帯を確実に使用する。 8. 最大積載量の表示を行う。	■ 一般事項-3(外壁改修) 1. 外壁モルタルの浮き処理に使用するアンカーピンの長さは、試し孔をあけ決定すること。 試験体は各面100m2ごと及びその端数につき1か所以上、かつ各面3か所以上行い、モルタル部を穿孔してその最大厚みを確認し、その厚さに30mmを加えた長さをピンの長さとする。 2. 監視面下検査時膜厚計を用意すること。測定位置として上階部・中階部・下階部とする。（膜厚基準として1mm以上を目安とする。） 3. 雑物周囲には三方シーリング打ちを行う。 4. 原則として0.2mm未満のクラック補修は、下地調整材・アクリル系塗膜防水による処理とする。ただし、漏水等があり補修方法が前記では不十分と判断される部分は、監督員と協議の上、工法を変更する。 5. 足場架設後、改修範囲の外壁施工数量調査を実施し、調査報告書を作成し監督員と協議の上、作業は施工範囲及び、数量を計画に確定した上で着手すること。なお設計数量に変更が生じた場合、原則設計変更をおこなう。 ※ 施工面が多い場合は、一定の範囲を調査後、上記を行うこととする。 6. 施工完了後、施工数量報告書を提出すること。 <特記事項> ・ 既存外壁小波スレート、石綿大平板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。

■ 外壁改修内容一覽表

※本工事に関係する項目のみ適用するものとする。

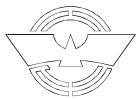
[illegible]

外 部 仕 上 表						
部 位		改 修 前	改 修 後	部 位	改 修 前	改 修 後
屋 根		ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼、アスファルトルーフィング17kg 木毛セメント板 厚20+厚40、銅製タルキ	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整	樋	軒樋：耐酸被膜銅板 厚0.5 受金物：口=30×60×23@600 防球ネット付（撤去） 堅樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 堅樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
軒 裏		フレキシブルボード 厚5（※） EP塗装 撤去	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6	外部建具	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：強化ガラス厚4.0） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
1階屋根		平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）ドレン 100φ 3か所 撤去 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）：撤去、モルタル金ゴテ下地、アルミ笠木：取外し、アルミ水切 デッキプレート 厚1.6 H=30、シンダーコンクリート 厚30・見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）、下地処理、改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）、下地調整、アルミ笠木：再取付、アルミ水切：リニギ 見付部：防水型複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	手洗い場	人造石研出し	クリーニング
庇		DP塗装 ガルバリウム鋼板瓦葺葺 厚0.4、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 厚20+厚40、銅製タルキ 見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15	耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整 見付部：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	タラップ	ステンレス製	クリーニング
外 壁		防水型複層塗材E（△）、セメント中空押出成形材 厚15 軽鉄下地、板間目地シール撤去	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa、板間目地シール打 ※クラックのあるセメント中空押出成形材は貼替	踊場・階段 スロープ・犬走	塗床塗装 コンクリート金ゴテ押え	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
		防水型複層塗材E（△）、ALC板 厚100、板間目地シール撤去	防水形複層塗材E（凹凸模様）、下地調整、高圧水洗10～15Mp、板間目地シール打 建具廻りシーリング打替え（PU-2）	踊場・階段 犬走	コンクリート金ゴテ押え	既存のまま
巾 木		防水型複層塗材E（△） モルタル金ゴテ、コンクリート打放	防水形複層塗材E（ゆず肌）、下地調整、高圧水洗10～15Mpa			

内 部 仕 上 表							
室 名	区 分	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	備 考
体 育 室	改 修 前	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装 耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	木毛セメント板あらわし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装 ブドウ棚鋼材：OP塗装	コートライン引き・体育器具床金物：撤去、サングラムマー：撤去、姿見：撤去 吊り上げバスケットゴール（2カ所）：撤去、手動折畳みバスケットゴール（4カ所）：撤去、室名札：撤去 肋木：移設、防球ネット・校章：校内移設
	改 修 後	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回 カバ 単層フローリング厚18、パーテイクルボード厚15 鋼製床下地 一部復旧（全体10%程度）	ラワン材 厚30 100H EP塗装	EP塗装、ラワン合板 厚9 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗料 下地調整 鉄骨部：SOP塗装 下地調整	コートライン引き直し、体育器具床金物・室名札・収納フック（30カ所）携帯用スロープ 長さ90cm（アルミ2折式）：新設 電動耐震型吊り上げバスケット板（2カ所）：新設、手動折畳みバスケットゴール（4カ所）：新設、姿見：新設 肋木：再設置、防球格子（枠共）：鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、防球ネット・校章：再設置
ステージ	改 修 前	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装 耐水ラワン合板 厚15下地	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	木毛セメント板あらわし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装	各種幕：撤去、舞台装置：撤去 木製可動式階段2か所 OSV塗装：撤去 三方枠：OSUC塗装、ブドウ棚・鉄部：OP塗装、グランドピアノ：体育器具室移設
	改 修 後	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共） サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、ラワン合板 厚5.5 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗料 下地調整 鉄骨部：SOP塗装 下地調整 ブドウ棚鋼材：SOP塗装 下地調整	各種幕：新設、吊りバー等の舞台装置：新設 可動式階段2か所：新設 三方枠：OSUC塗装 下地調整の上、ブドウ棚・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、グランドピアノ：再設置（観律共）
放 送 室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	木毛セメント板あらわし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装	タラップ OP塗装、手摺 OP塗装、笠木 OP塗装 アンプ収納戸棚 OP塗装 暗幕：撤去、室名札：撤去
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、ラワン合板 厚5.5 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗料 下地調整 鉄骨部：SOP塗装 下地調整	タラップ・手摺・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、笠木下地補修の上 EP塗装 アンプ収納戸棚 EP-G塗装 室名札：新設、暗幕：新設
控 室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） 撤去 モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	木毛セメント板あらわし 鉄骨部：OP塗装、垂木： OP塗装	タラップ OP塗装、手摺 OP塗装、笠木 OP塗装 暗幕：撤去、室名札：撤去
	改 修 後	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、ラワン合板 厚5.5 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗料 下地調整 鉄骨部：SOP塗装 下地調整	タラップ・手摺・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装、笠木下地補修の上 EP塗装 室名札：新設、暗幕：新設
体育器具室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚15 100H OP塗装	――	吹付タイル（△） ラスモルタル金ゴテ押え、ALC板	ラワン合板 厚9 目透貼 OP塗装 軽量鉄骨下地	器具棚 OSV塗装 器具掛けプレート、竿掛け金物、室名札：撤去
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま、建具周り：EP塗装、下地調整 建具周り：石綿含有塗材撤去（下地調整材） （はく離剤併用手工具ケレン）	既存のまま	室名札：新設
玄 関 ホ ー ル 廊 下	改 修 前	ウレタン樹脂塗料 モルタル金ゴテ押え 長尺塩ビシート貼（※） 撤去	モルタル金ゴテ 100H ラワン材 厚25 100H OP塗装	――	ラワン合板 厚9.0 OP塗装 ALC板下地	化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 撤去 軽量鉄骨下地	下駄箱、ステンレス製手洗い流し
	改 修 後	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上） 長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地調整	EP塗装、下地調整	――	EP塗装、下地調整	化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 新設	下駄箱：EP塗装、ステンレス製手洗い流し：クリーニング 掃除用具用：EP塗装、掲示板：掲示用クロス張替
男子更衣室 女子更衣室	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ VP塗装	――	吹付タイル（△） ラスモルタル金ゴテ押え、ALC板	フレキシブルボード 厚5 目透貼 VP塗装 軽量鉄骨下地	更衣棚 OSV塗装、室名札
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま、建具周り：EP塗装、下地調整 建具周り：石綿含有塗材撤去（下地調整材） （はく離剤併用手工具ケレン）	既存のまま	
男子手洗室 女子手洗室	改 修 前	長尺塩ビシート貼 モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ VP塗装	――	可とう型改修塗材E ラスモルタル金ゴテ押え、ALC板	フレキシブルボード 厚5 目透貼 VP塗装 軽量鉄骨下地	床下点検口、ピクトサイン
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま	
男子トイレ（A） 女子トイレ（A）	改 修 前	長尺塩ビシート貼 防水モルタル金ゴテ押え	防水モルタル金ゴテ	――	可とう型改修塗材E ラスモルタル金ゴテ押え、ALC板	フレキシブルボード 厚5 目透貼 VP塗装 軽量鉄骨下地	トイレブース、ピクトサイン
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま	
男子トイレ（B） 女子トイレ（B）	改 修 前	防水モルタル金ゴテ押え	防水モルタル金ゴテ	――	可とう型改修塗材E ラスモルタル金ゴテ押え、ALC板	フレキシブルボード 厚5 目透貼 VP塗装 軽量鉄骨下地	トイレブース、ピクトサイン
	改 修 後	既存のまま	既存のまま	――	既存のまま	既存のまま	
ギャラリー	改 修 前	長尺塩ビシート貼（※） モルタル金ゴテ押え	ラワン材 厚30 100H OP塗装 撤去	――	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り OP塗装 撤去	木毛セメント板あらわし 鉄骨部 OP塗装、垂木 OP塗装	カーテンボックス OP塗装・カーテンレール：撤去、暗幕：撤去、平均台2台：撤去 防球ネット：移設 手摺 OP塗装
	改 修 後	長尺塩ビシート貼替	ラワン材 厚30 100H EP塗装	――	EP塗装、有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷沙裏打） 目透し張り 外壁面：発泡ウレタン吹付 厚25	EP塗料 下地調整 鉄骨部：SOP塗装 下地調整	カーテンボックス・カーテンレール：新設、暗幕：新設 防球ネット：再設置 手摺・ブレース・鉄部：SOP塗装 錆止め塗装
ステージ下部 台車入れ	改 修 前	モルタル金ゴテ押え	――	――	――	――	台車9台 収納装置：撤去
	改 修 後	台車入れ新設部 補修	――	――	――	――	台車9台 収納装置：新設

・（※）石綿含有建材（みなし）、（△）石綿含有仕上塗材（下地調整材）

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

仕上表

縮尺

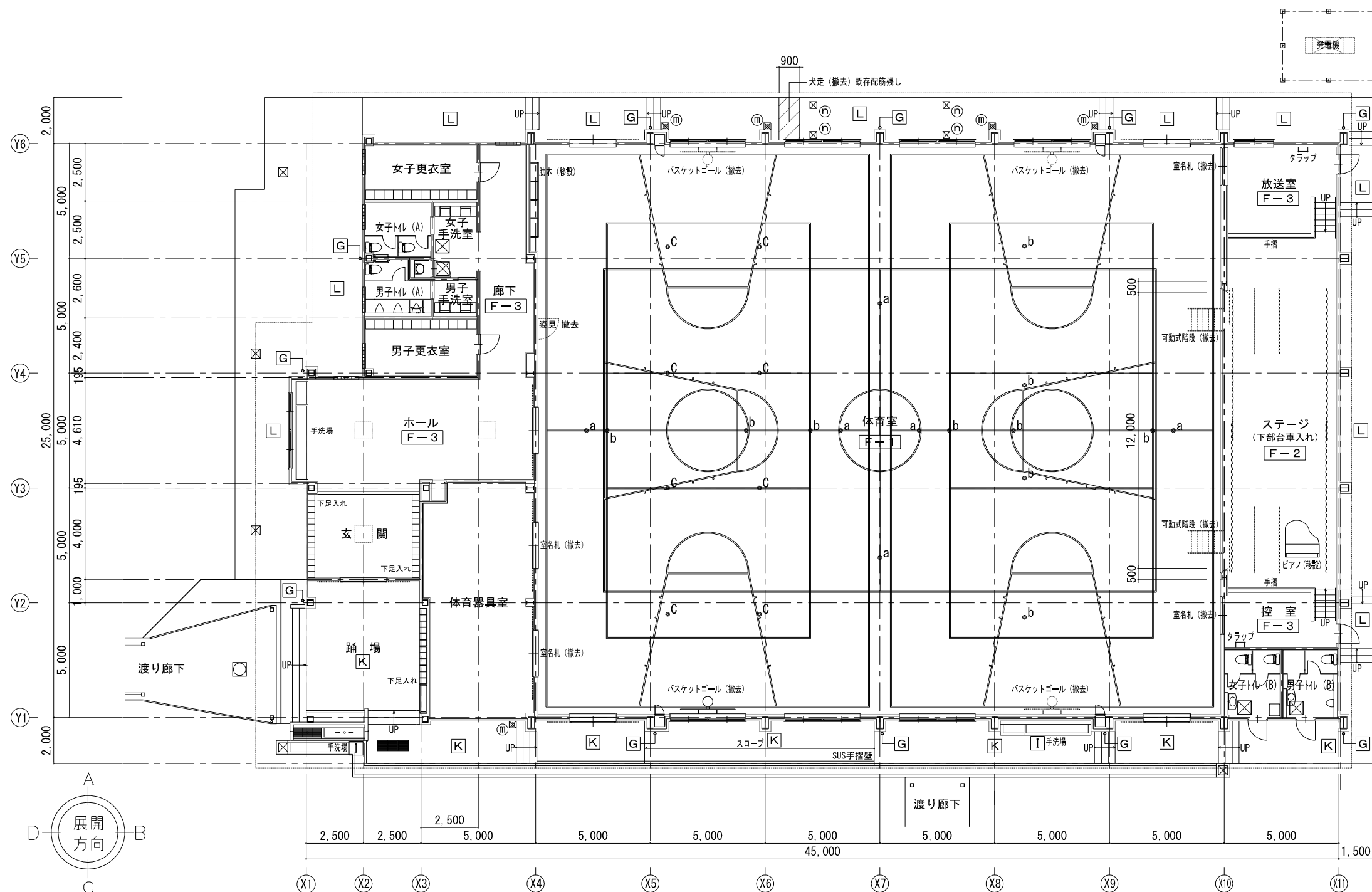
NO SCALE

図面番号

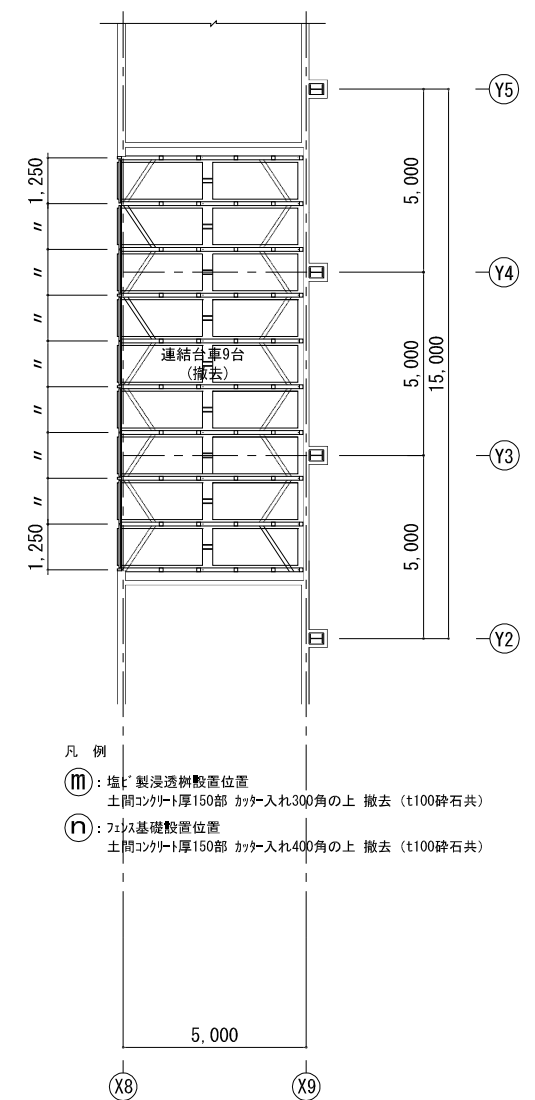
A - 07

外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	人造石研出し	床	F-1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去、銅製床下地 一部撤去（全体10%程度）
踊場・階段 スロープ・犬走	K	コンクリート金ゴテ押え、塗床塗装		F-2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地
踊場・階段 犬走	L	コンクリート金ゴテ押え		F-3	長尺塩ビシート貼 撤去、モルタル金ゴテ押え

凡 例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	6
b	バドミントン用 撤去	10
c	移動用鉄棒用 撤去	8



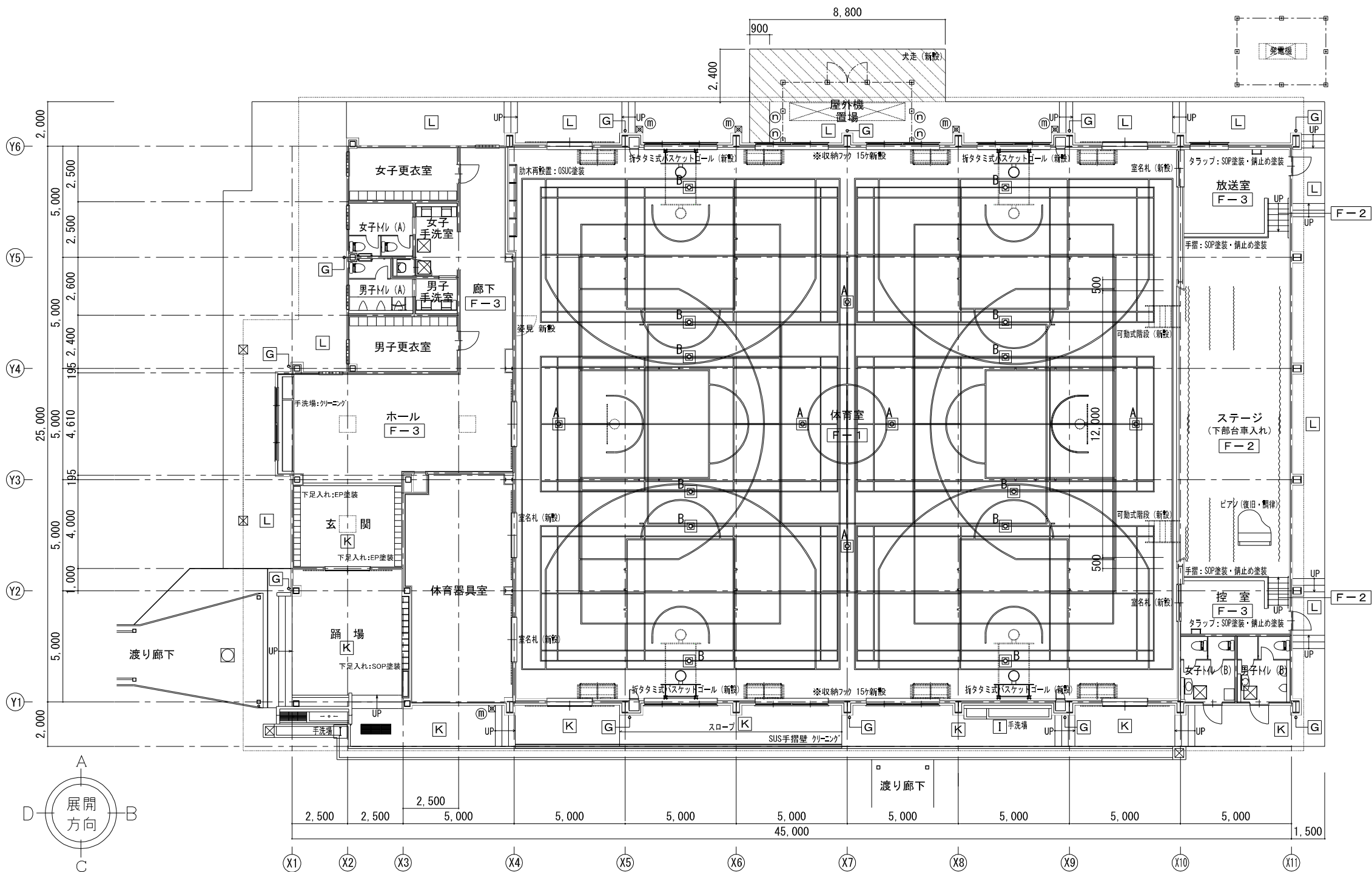
既存 1 階平面図 1/100



既存 1 階下部台車入れ部平面図 1/100



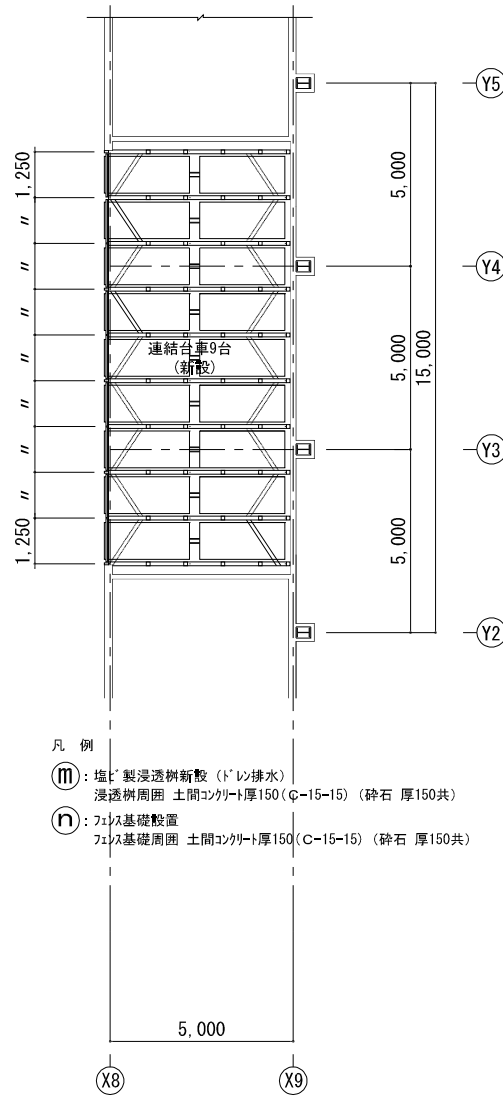
外 部 改 修 仕 上 表			内 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	クリーニング	床	F-1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修		F-2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け
踊場・階段 犬走	L	既存のまま		F-3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修



改修 1 階平面図 1/100

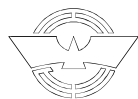
支柱基礎(ボルト上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
A	バレーボール用 新設	6
B	バトミントン用 新設	12



改修 1 階下部台車入れ部平面図 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 1 階平面図

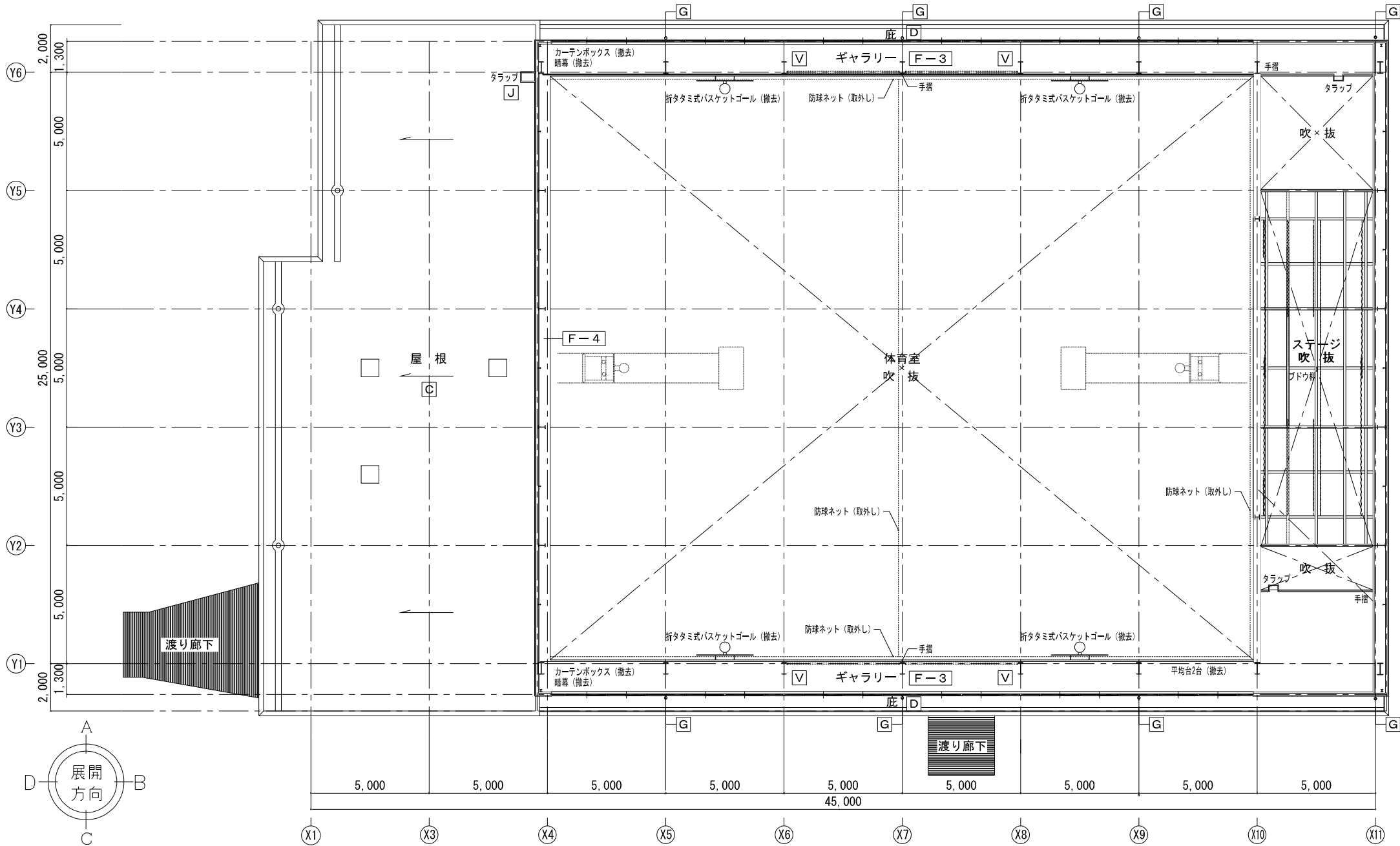
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 09

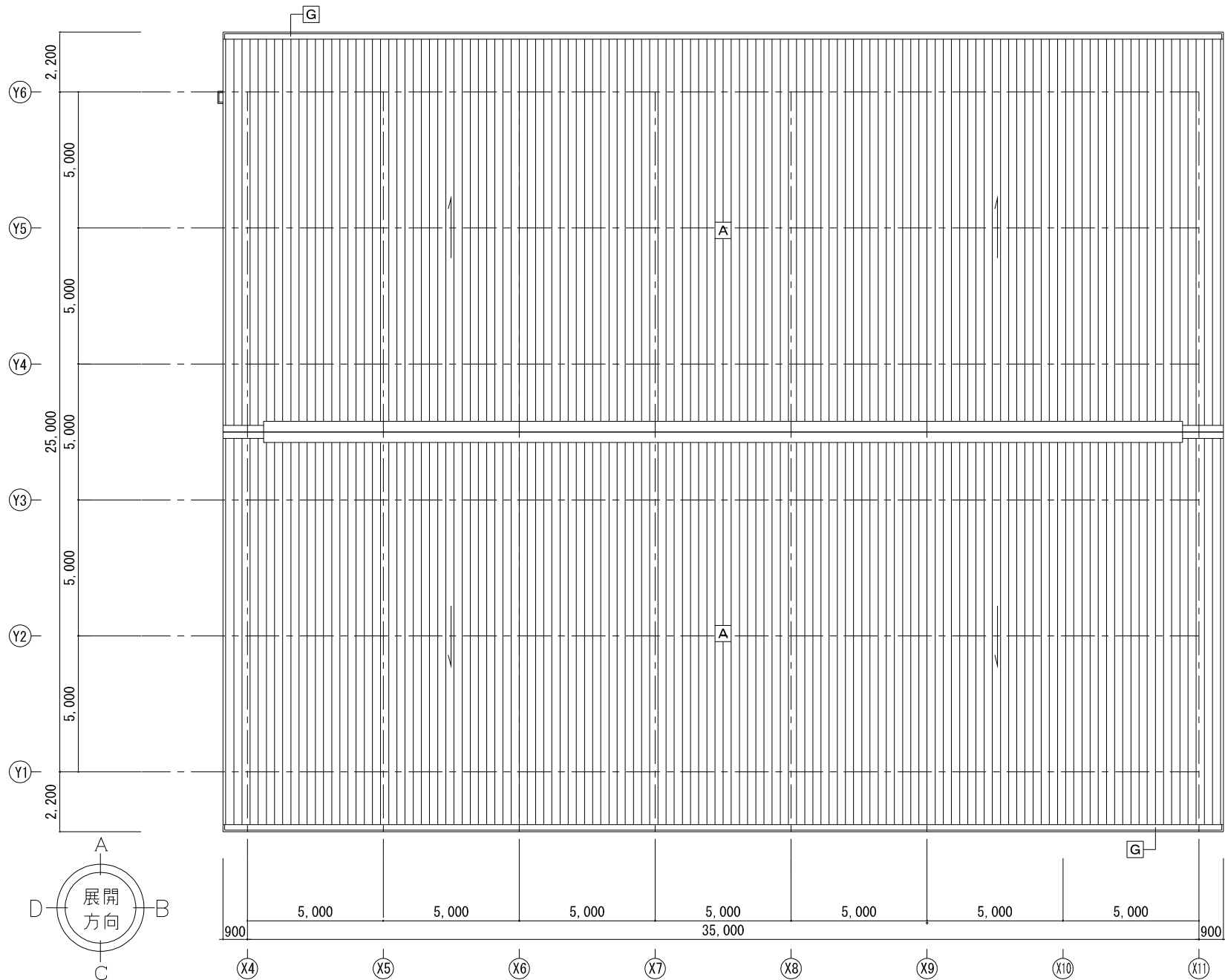
外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）；撤去、モルタル金ゴテ下地、アルミ笠木；取外し、アルミ水切 デッキプレート 厚1.6 H=50、シンダーコンクリート 厚80・見付部：防水型板層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15	床	F-3	長尺塩ビシート貼 撤去、モルタル金ゴテ押え
庇	D	DP塗装 ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ 見付部：防水型板層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15		F-4	モルタル金ゴテ押え
タラップ	J	ステンレス製	壁ブレース	V	L-75×75×6



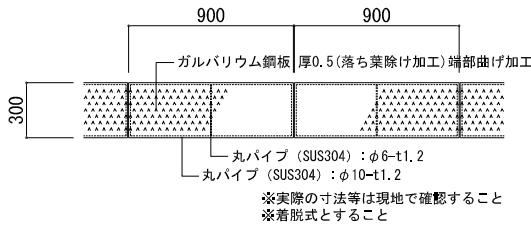
既存吹抜部分平面図 1/100



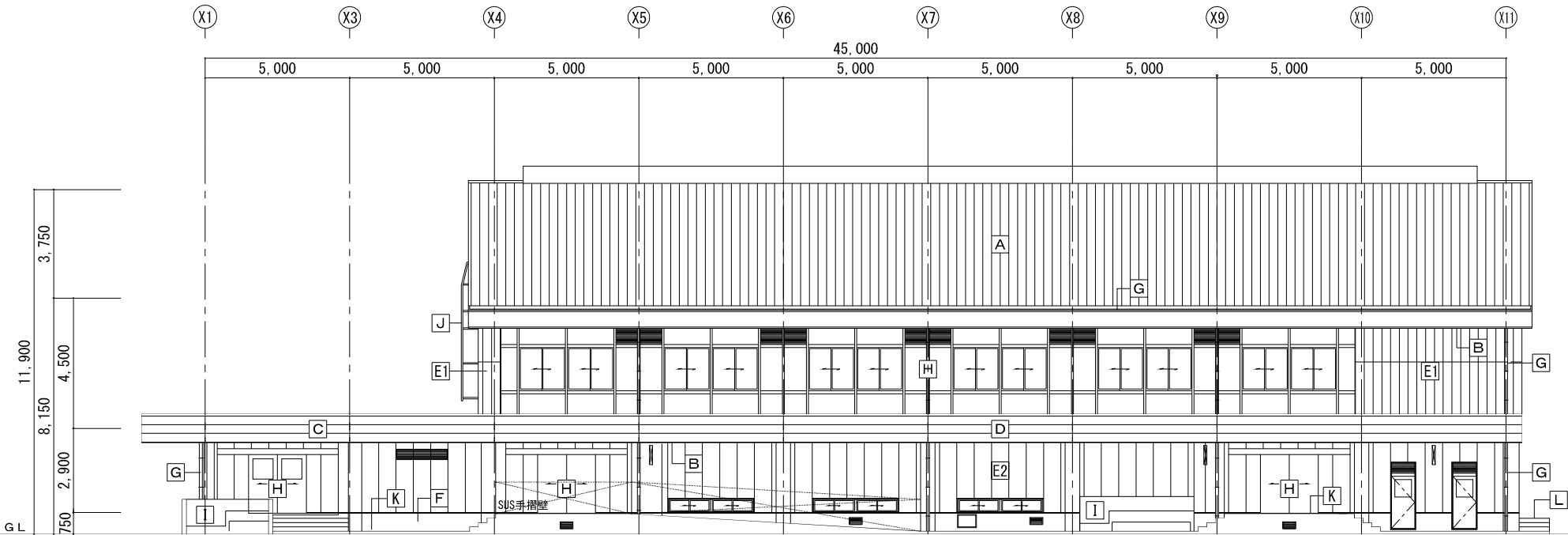
外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整	樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装



改修屋根伏せ図 1/100

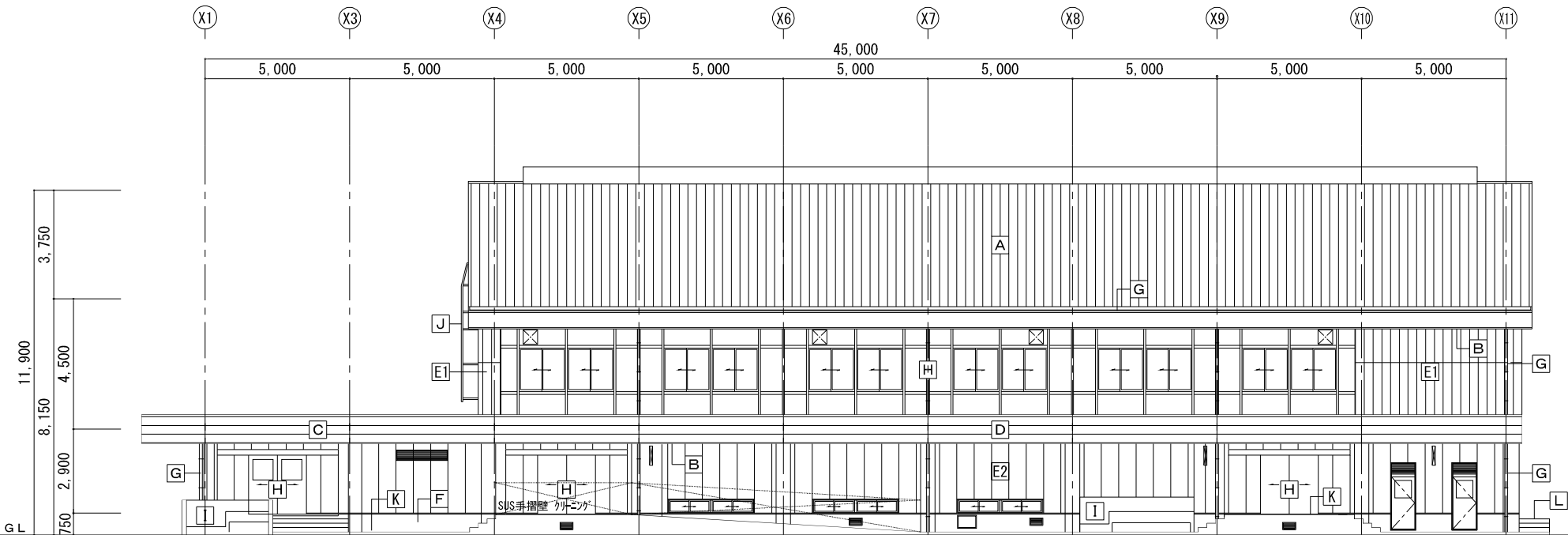


【防球ネット詳細図 1/20】



既存東側立面図 1/100

外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼、アスファルトルーフィング17kg 木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ
軒 裏	B	フレキシブルボード 厚5 EP塗装 撤去
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）：撤去、モルタル金ゴテ下地、アルミ笠木：取外し、アルミ水切 デッキプレート 厚1.6 H=50、シンダーコンクリート 厚80・見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
庇	D	DP塗装 ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ 見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
外 壁	E1	防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15 軽鉄下地、板間目地シール撤去
	E2	防水型複層塗材E、ALC板 厚100、板間目地シール撤去
巾 木	F	防水型複層塗材E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.5 受金物：ロ-30×60×23φ600 防球ネット付（撤去） 縦樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：強化ガラス厚4.0） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 足洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	コンクリート金ゴテ押え、塗床塗装
踊場・階段 犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修東側立面図 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）、下地処理、改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）、下地調整、アルミ笠木：再取付、アルミ水切：クリーニング 見付部：防水型複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
庇	D	耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整 見付部：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa、板間目地シール打 ※クラックのあるセメント中空押出成形材は貼替
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mp、板間目地シール打
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 足洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
踊場・階段 犬走	L	既存のまま

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

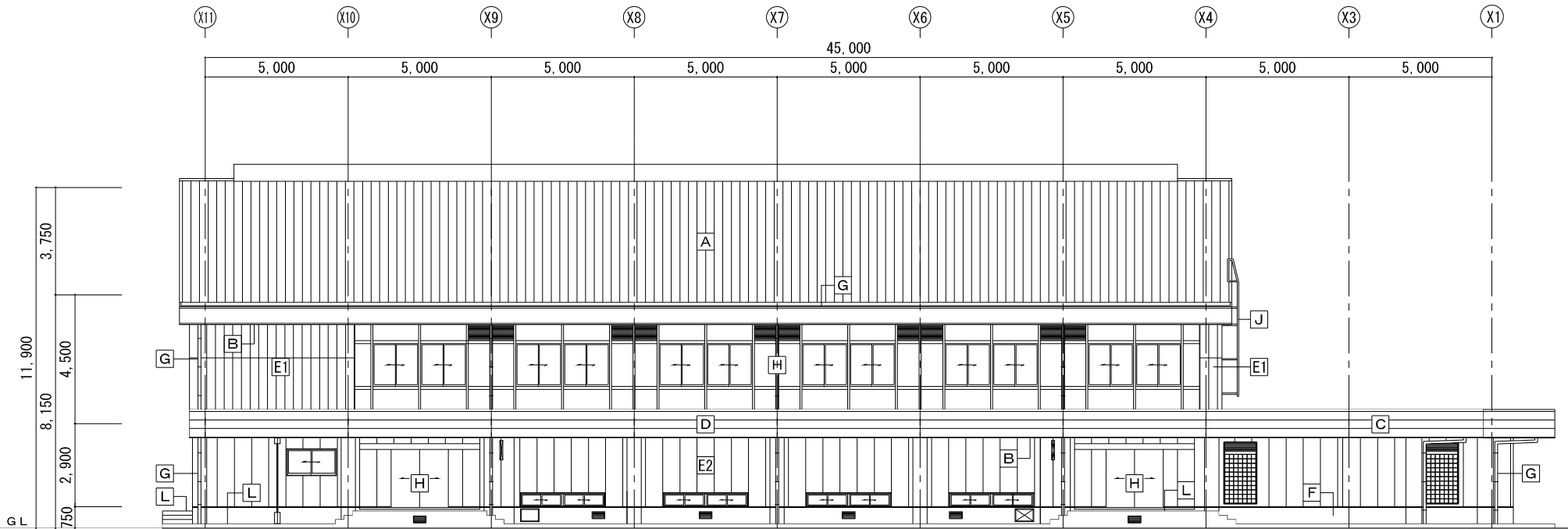
既存改修 東側立面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

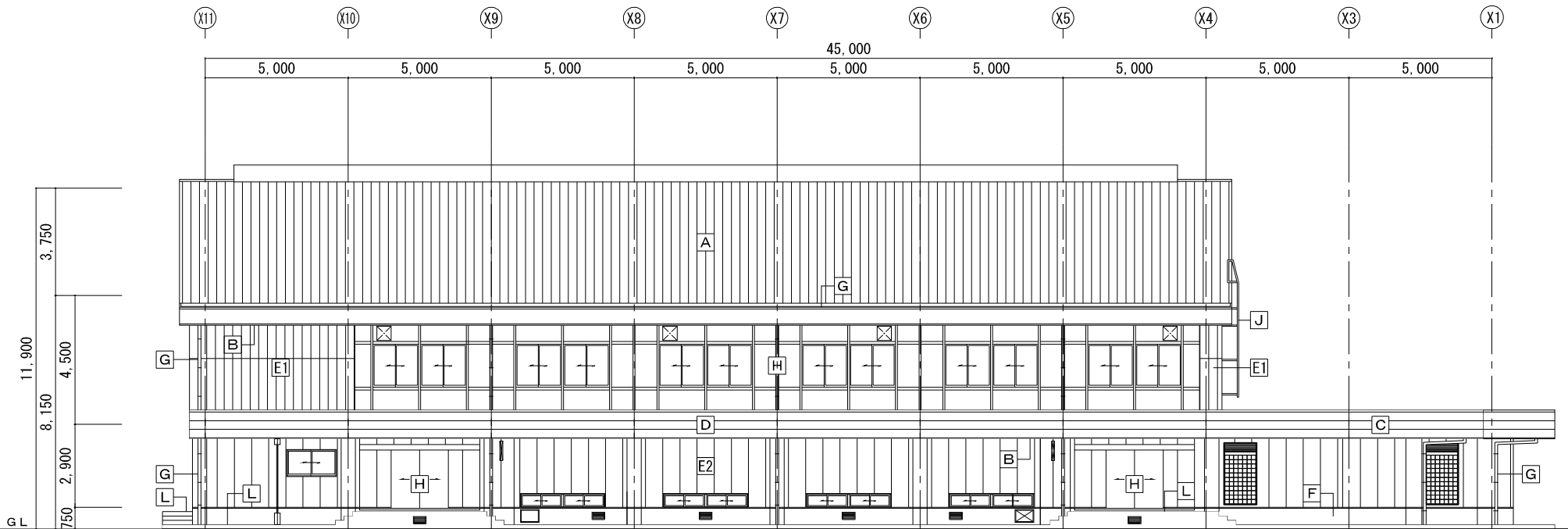
図面番号

A - 14



既存西側立面図 1/100

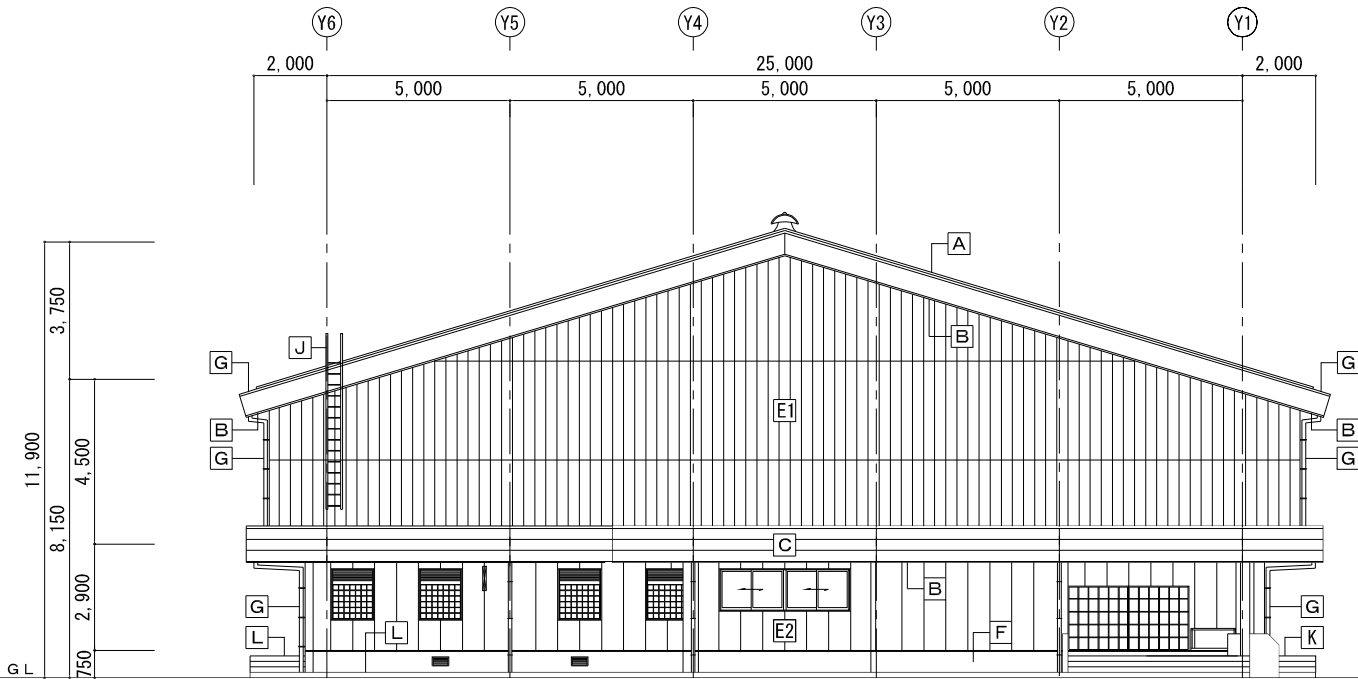
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼、アスファルトルーフィング17kg 木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ
軒 裏	B	フレキシブルボード 厚5 EP塗装 撤去
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）：撤去、モルタル金ゴテ下地、アルミ笠木：取外し、アルミ水切 デッキプレート 厚1.6 H=50、シンダーコンクリート 厚80・見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
庇	D	DP塗装 ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ 見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
外 壁	E1	防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15 軽鉄下地、板間目地シール撤去
	E2	防水型複層塗材E、ALC板 厚100、板間目地シール撤去
巾 木	F	防水型複層塗材E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.5 受金物：ロ-30×60×23φ600 防球ネット付（撤去） 壁樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：強化ガラス厚4.0） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 足洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	コンクリート金ゴテ押え、塗床塗装
踊場・階段 犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修西側立面図 1/100

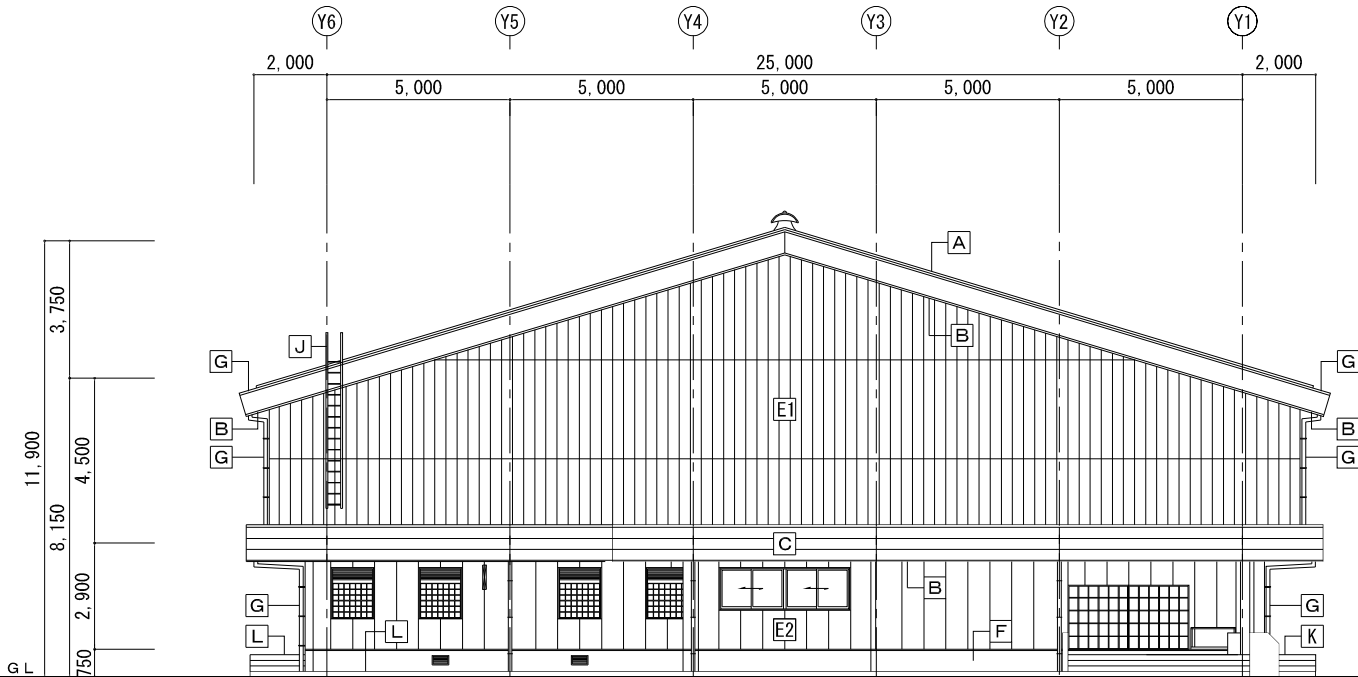
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）、下地処理、改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）、下地調整、アルミ笠木：再取付、アルミ水切：クリーニング 見付部：防水型複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
庇	D	耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整 見付部：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa、板間目地シール打 ※クラックのあるセメント中空押出成形材は貼替
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mp、板間目地シール打
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 壁樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 足洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
踊場・階段 犬走	L	既存のまま





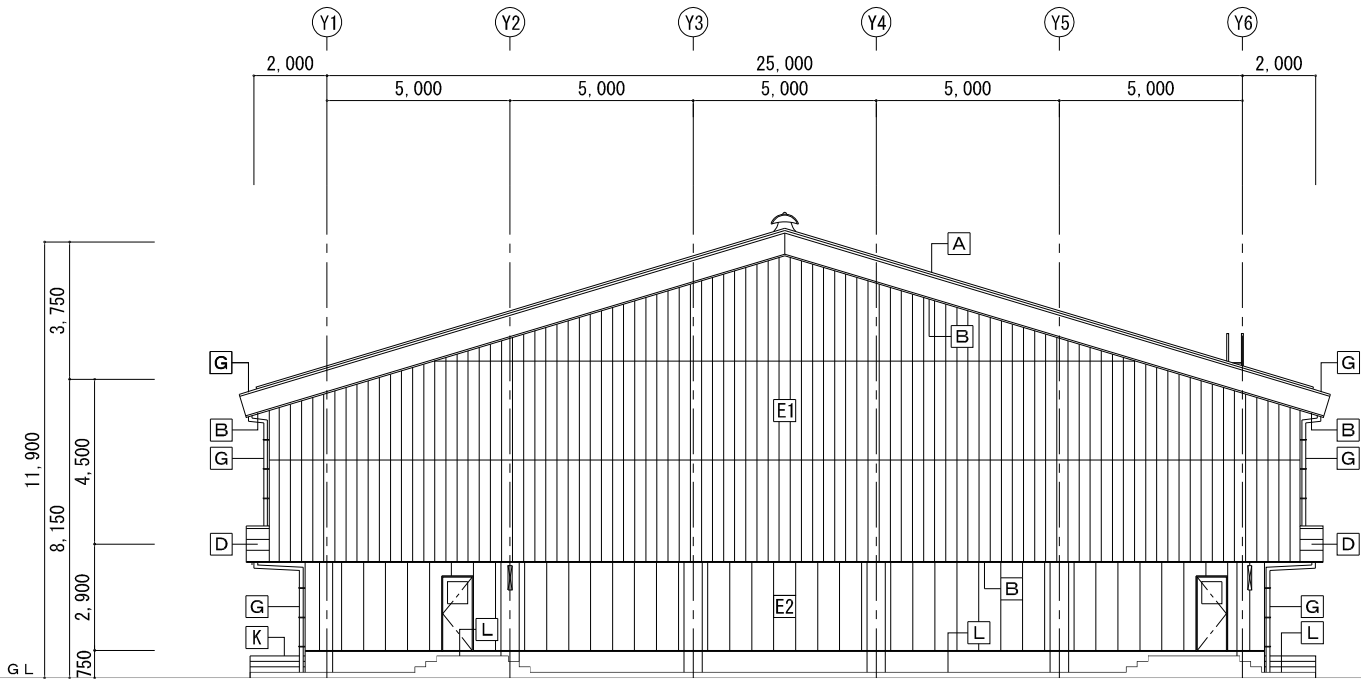
既存南側立面図 1/100

外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼、アスファルトルーフィング17kg 木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ
軒 裏	B	フレキシブルボード 厚5 EP塗装 撤去
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）：撤去、モルタル金ゴテ下地、アルミ笠木：取外し、アルミ水切 デッキプレート 厚1.6 H=50、シンダーコンクリート 厚80・見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
庇	D	DP塗装 ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ 見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
外 壁	E1	防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15 軽鉄下地、板間目地シール撤去
	E2	防水型複層塗材E、ALC板 厚100、板間目地シール撤去
巾 木	F	防水型複層塗材E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.5 受金物：ロ-30×60×23φ600 防球ネット付（撤去） 縦樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：強化ガラス厚4.0） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 足洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	コンクリート金ゴテ押え、塗床塗装
踊場・階段 犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



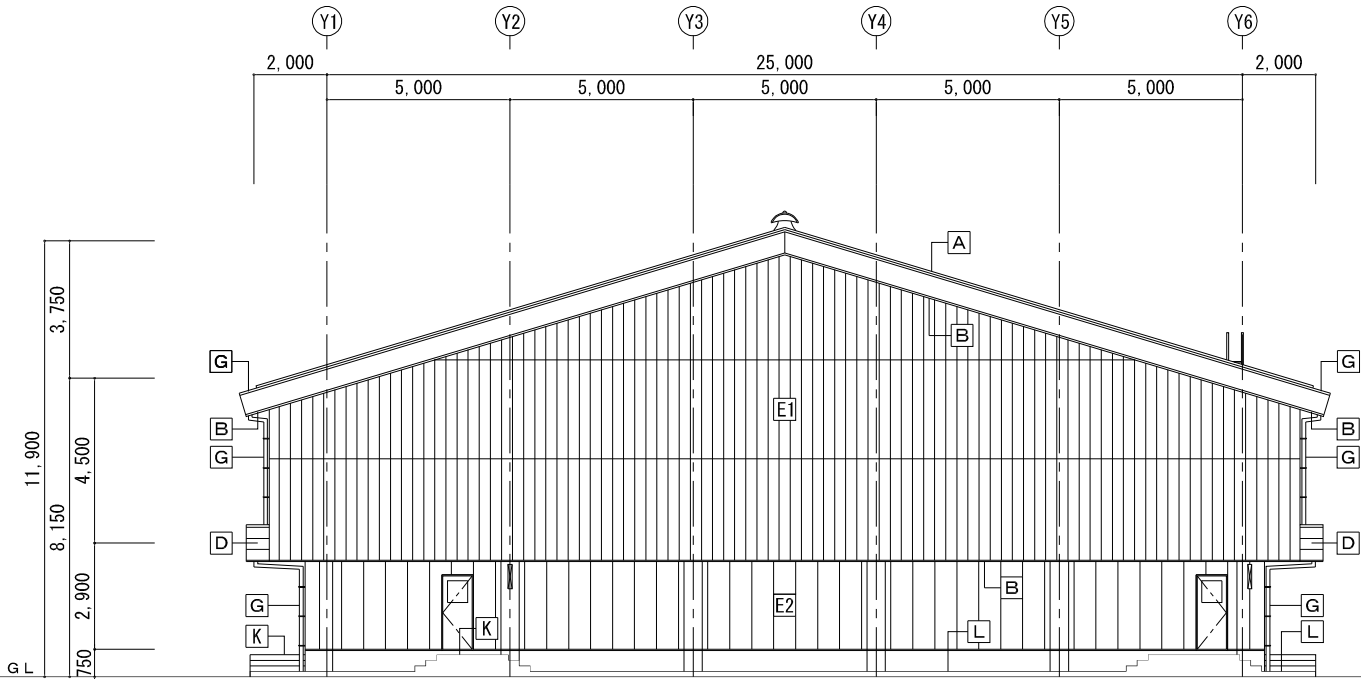
改修南側立面図 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）、下地処理、改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）、下地調整、アルミ笠木：再取付、アルミ水切：クリーニング 見付部：防水型複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
庇	D	耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整 見付部：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa、板間目地シール打 ※クラックのあるセメント中空押出成形材は貼替
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mp、板間目地シール打
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 足洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
踊場・階段 犬走	L	既存のまま



既存北側立面図 1/100

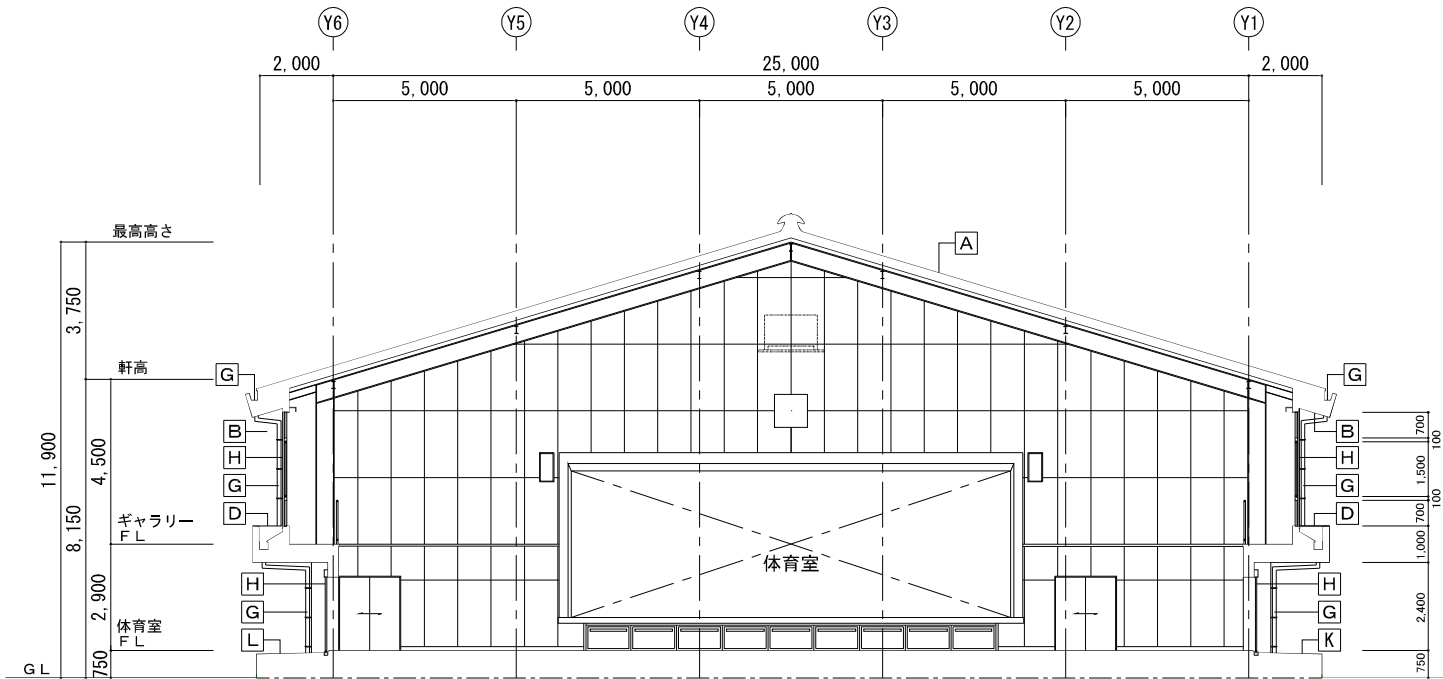
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 表貼、アスファルトルーフィング17kg 木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ
軒 裏	B	フレキシブルボード 厚5 EP塗装 撤去
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）：撤去、モルタル金ゴテ下地、アルミ笠木：取外し、アルミ水切 デッキプレート 厚1.6 H=50、シンダーコンクリート 厚80・見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
庇	D	DP塗装 ガルバリウム鋼板瓦棒葺 厚0.4、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ 見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
外 壁	E1	防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15 軽鉄下地、板間目地シール撤去
	E2	防水型複層塗材E、ALC板 厚100、板間目地シール撤去
巾 木	F	防水型複層塗材E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.5 受金物：ロ-30×60×23φ600 防球ネット付（撤去） 壁樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：強化ガラス厚4.0） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 足洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	コンクリート金ゴテ押え、塗床塗装
踊場・階段 犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



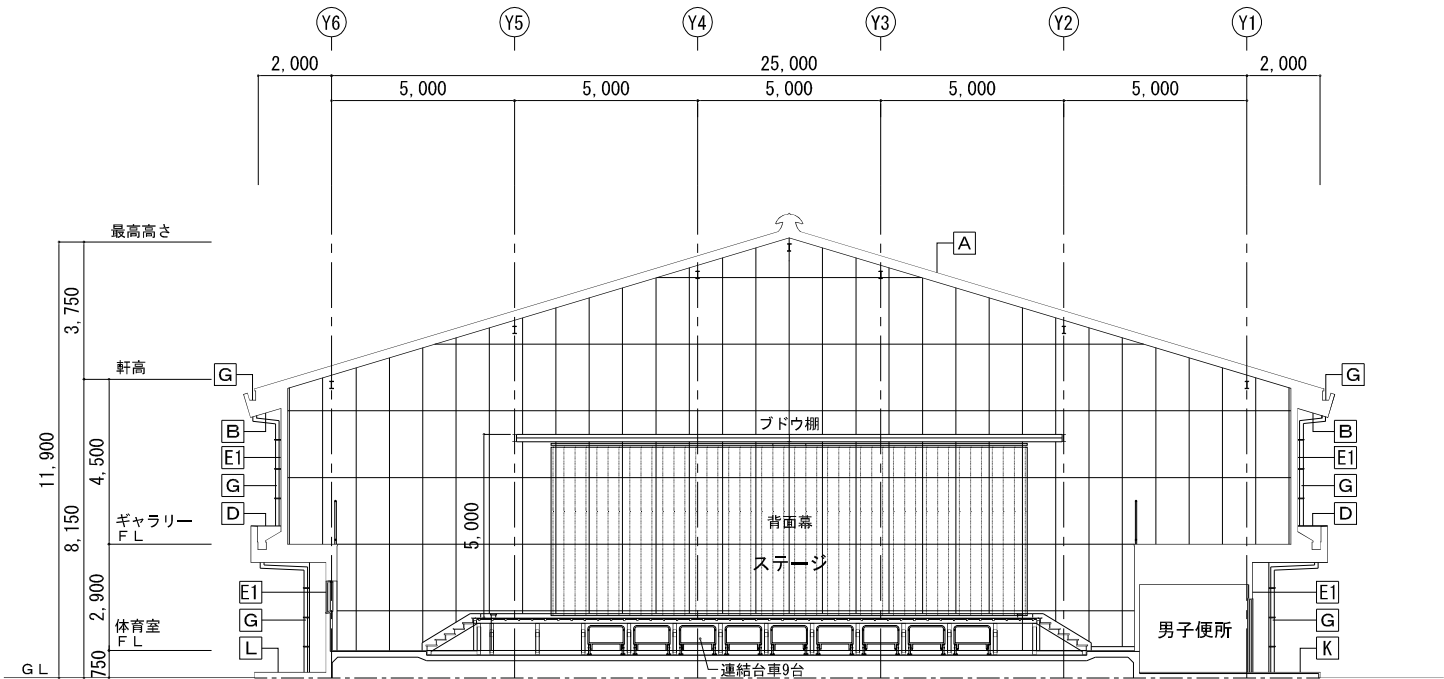
改修北側立面図 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）、下地処理、改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）、下地調整、アルミ笠木：再取付、アルミ水切：クリーニング 見付部：防水型複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
庇	D	耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整 見付部：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa、板間目地シール打 ※クラックのあるセメント中空押出成形材は貼替
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mp、板間目地シール打
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 壁樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場 足洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
踊場・階段 犬走	L	既存のまま

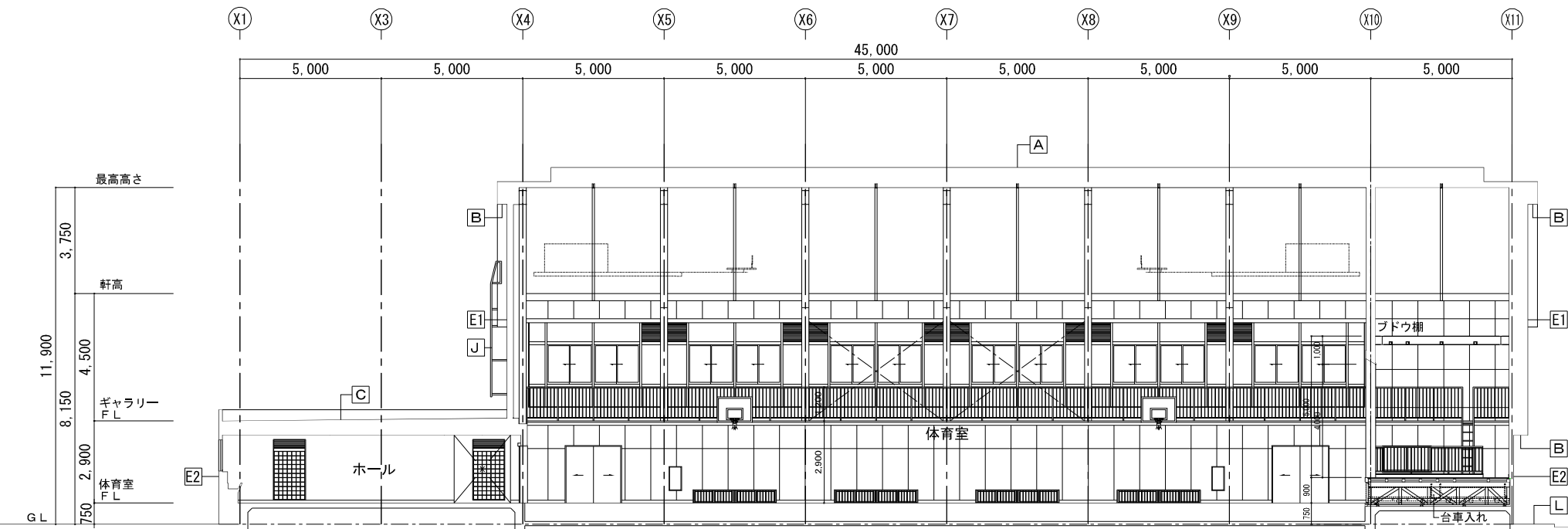




既存断面図 (1) 1/100



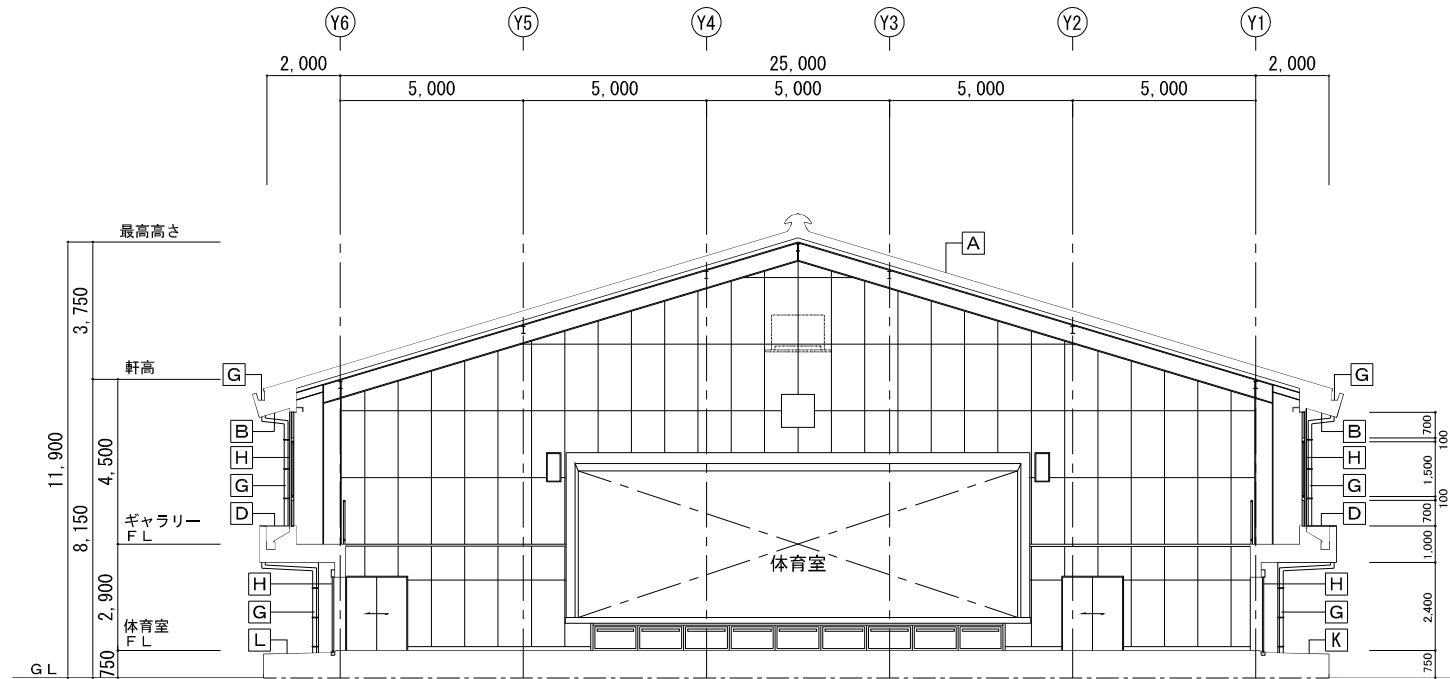
既存断面図 (2) 1/100



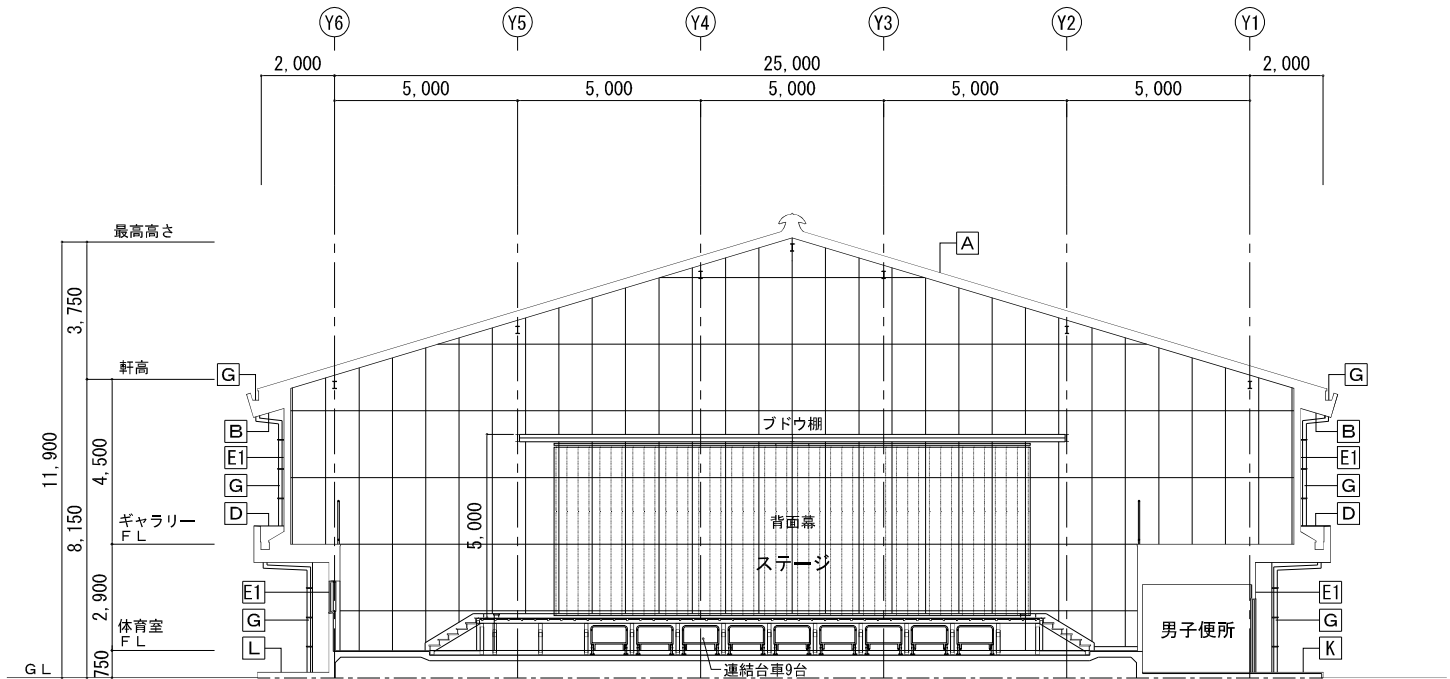
既存断面図 (3) 1/100

外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺 厚0.4（カバー工法）、発泡ポリエチレン 厚25 カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼、アスファルトルーフィング17kg 木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ
軒 裏	B	フレキシブルボード 厚5 EP塗装 撤去
1階屋根	C	平場：シート防水（S-M2 機械的固定工法）改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水（S-F2 接着工法）：撤去、モルタル金ゴテ下地、アルミ笠木：取外し、アルミ水切 デッキプレート 厚1.6 H=50、シンダーコンクリート 厚80・見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
庇	D	DP塗装 ガルバリウム鋼板瓦格葺 厚0.4、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 厚20+厚40、鋼製タルキ 見付部：防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15
外 壁	E1	防水型複層塗材E、セメント中空押出成形材 厚15 軽鉄下地、板間目地シール撤去
	E2	防水型複層塗材E、ALC板 厚100、板間目地シール撤去
巾 木	F	防水型複層塗材E モルタル金ゴテ、コンクリート打放
樋	G	軒樋：耐酸被膜鋼板 厚0.5 受金物：ロ-30×60×23φ600 防球ネット付（撤去） 縦樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・FIX窓 撤去（ガラス：強化ガラス厚4.0） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場 足洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	ステンレス製
踊場・階段 スロープ・犬走	K	溶剤系アクリルウレタン樹脂塗（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修
踊場・階段 犬走	L	既存のまま

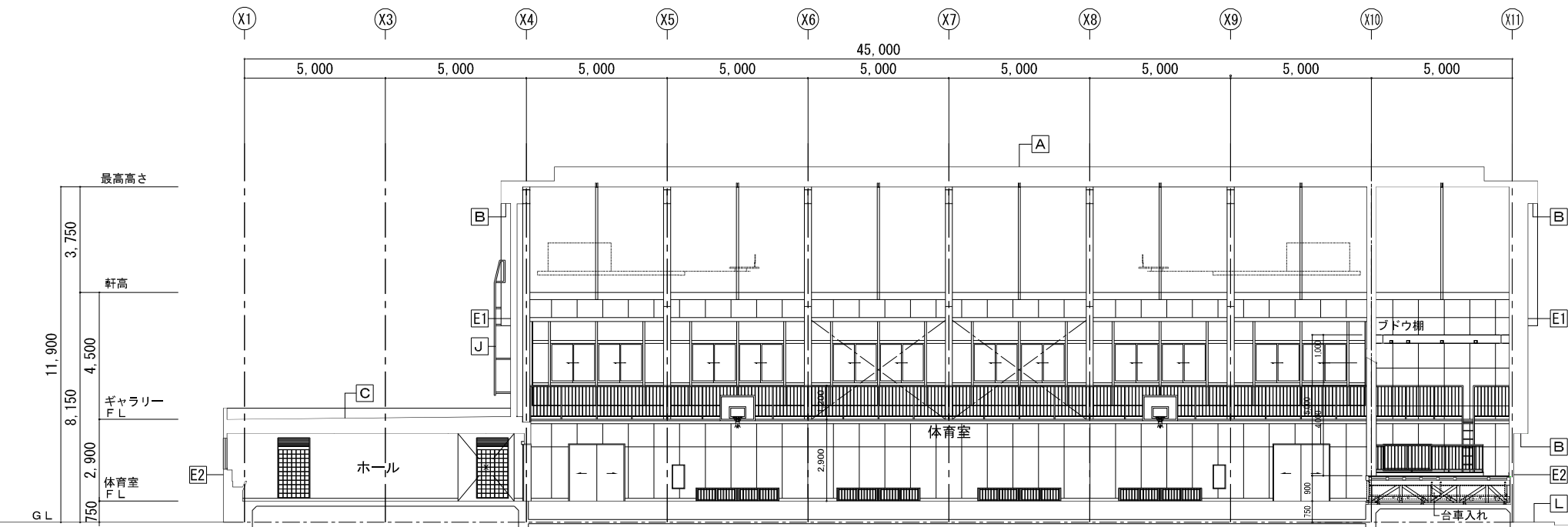




改修断面図 (1) 1/100

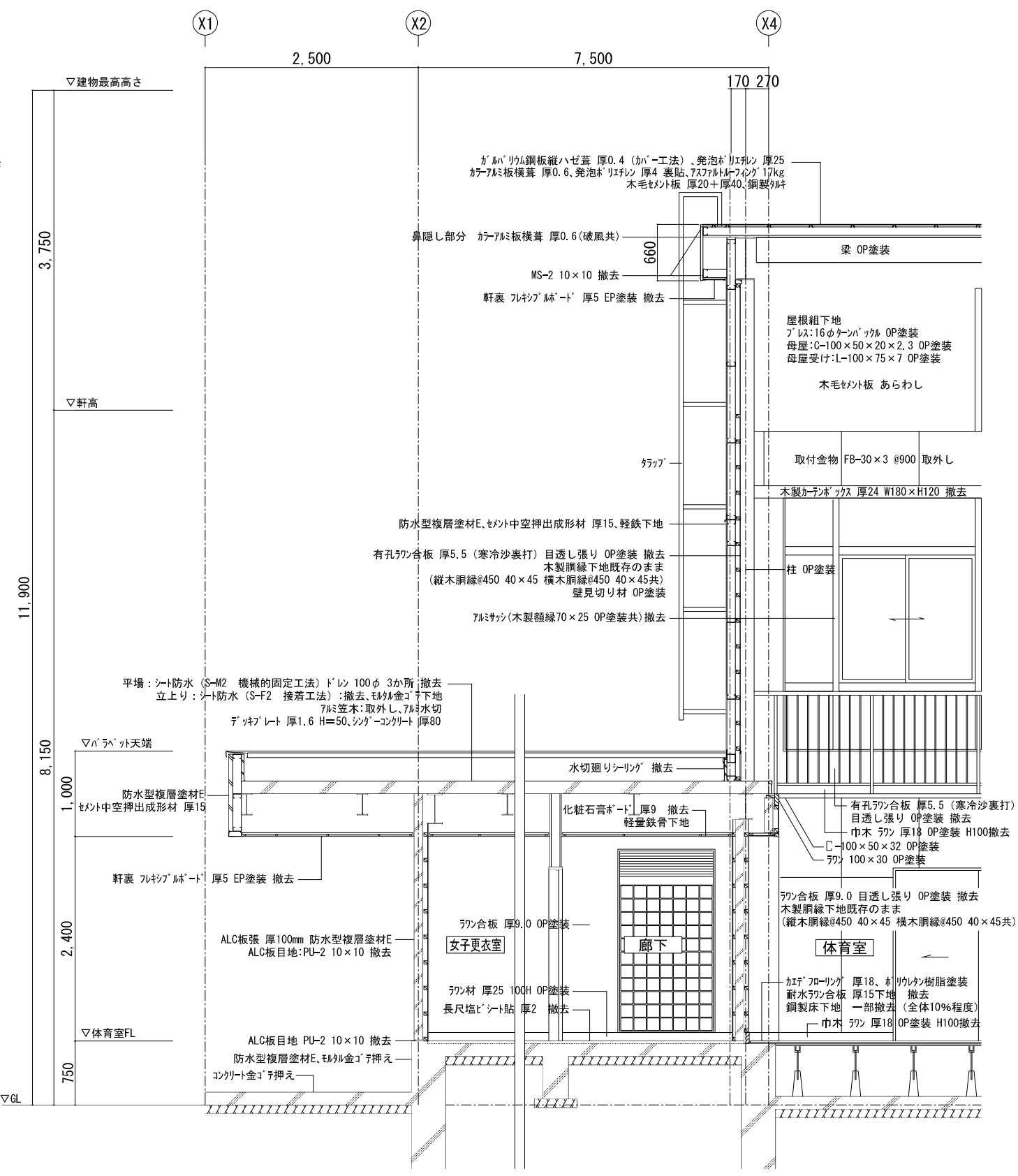


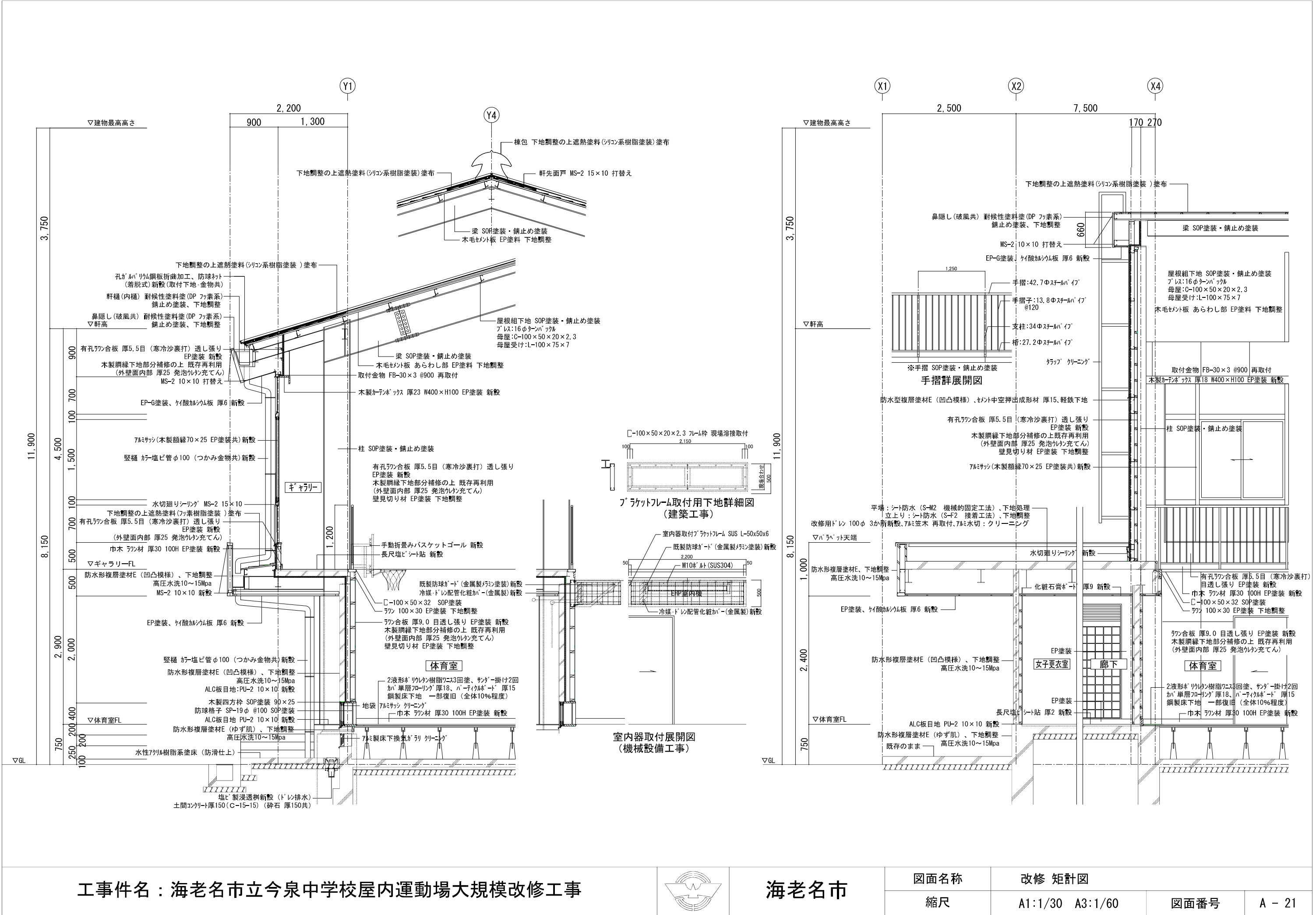
改修断面図 (2) 1/100



改修断面図 (3) 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	遮熱塗料塗布、下地調整 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	平場：シート防水 (S-M2 機械的固定工法)、下地処理、改修用ドレン 100φ 3か所 立上り：シート防水 (S-F2 接着工法)、下地調整、アルミ笠木:再取付、アルミ水切:クリーニング 見付部：防水型複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
庇	D	耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整 見付部：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa、板間目地シーล打 ※クラックのあるセメント中空弾出成形材は貼替
	E2	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mp、板間目地シーล打
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 縦樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・FIX窓 新設 (建具表による) スチールドア：引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場 足洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ・犬走	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修
踊場・階段 犬走	L	既存のまま





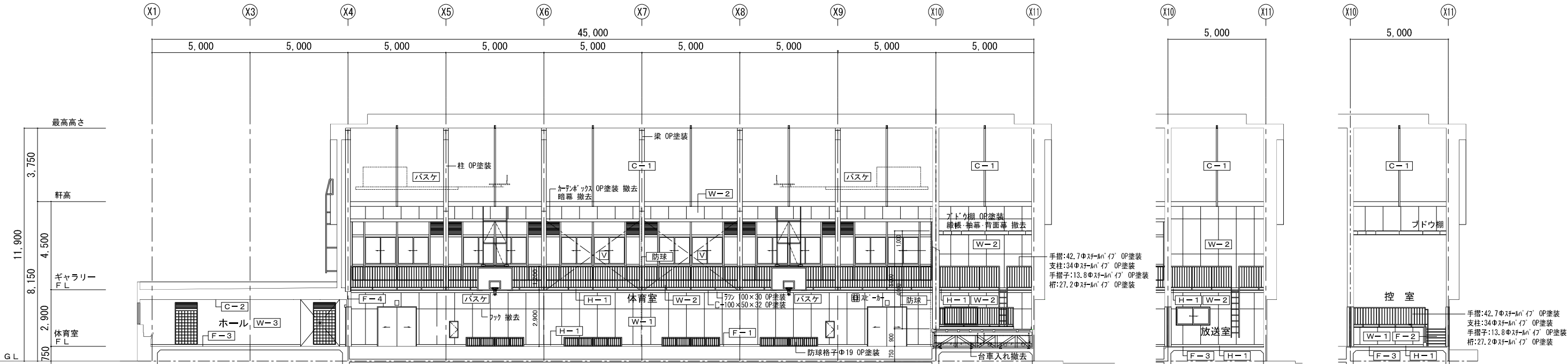
工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

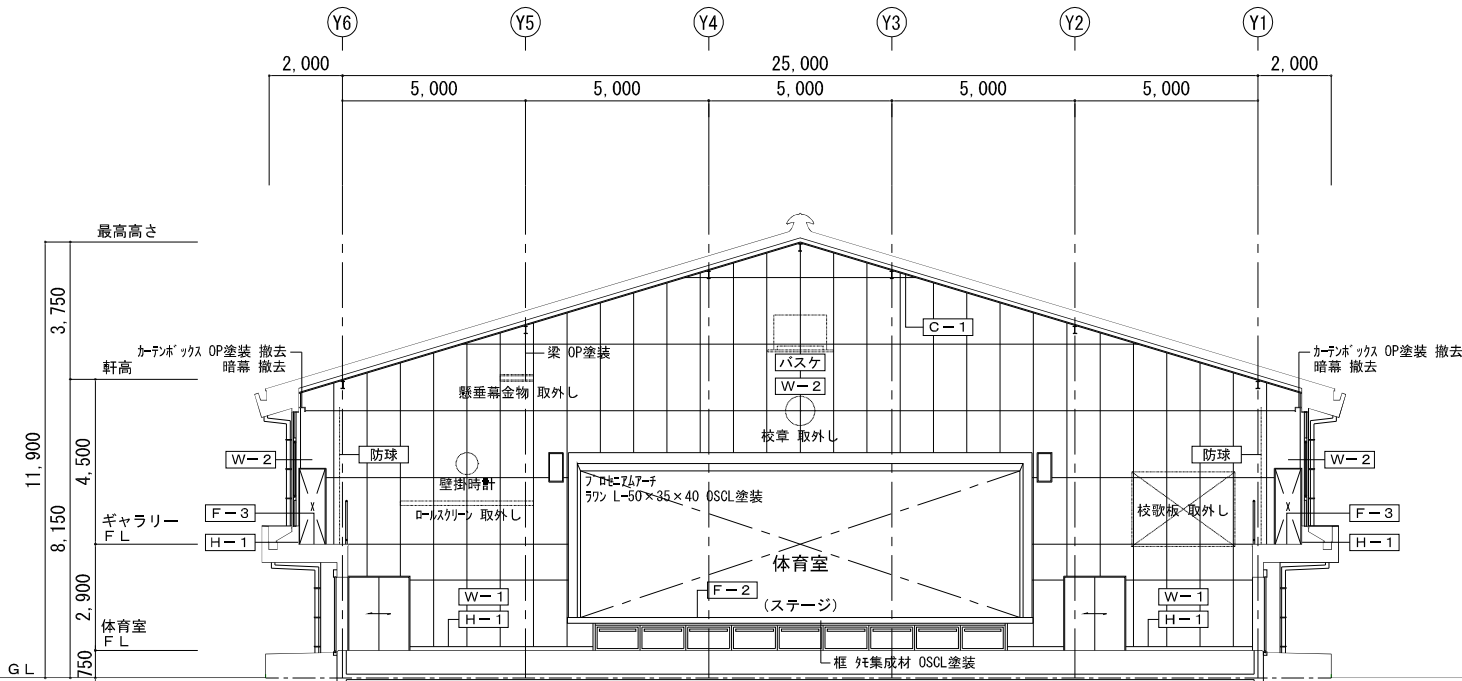
図面名称		改修 矩計図	
縮尺		A1:1/30 A3:1/60	図面番号
			A - 21

内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F-1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	壁	W-1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケット ゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール 撤去・手動折畳みバスケットゴール 撤去
	F-2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地		W-2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	F-3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		W-3	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装	壁ﾌﾞﾚｰｽ	V	L-75×75×6
	F-4	モルタル金ゴテ押え	天井	C-1	木毛セメント板 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装			
巾木	H-1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去		C-2	化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 撤去、軽量鉄骨下地			

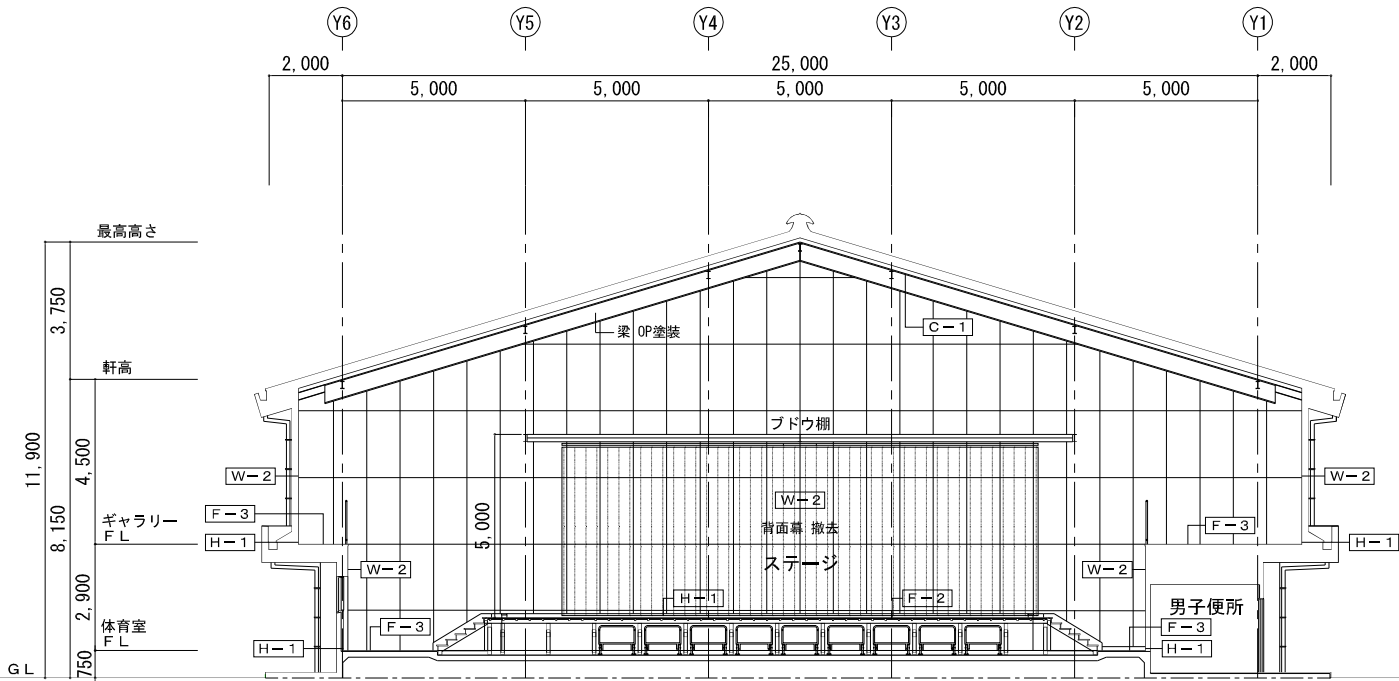


既存体育室 展開図 A面 1/100

既存放送室・控室 展開図 A面 1/100

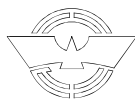


既存体育室 展開図 B面 1/100



既存放送室・控室 展開図 B面 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 体育室展開図 (1)

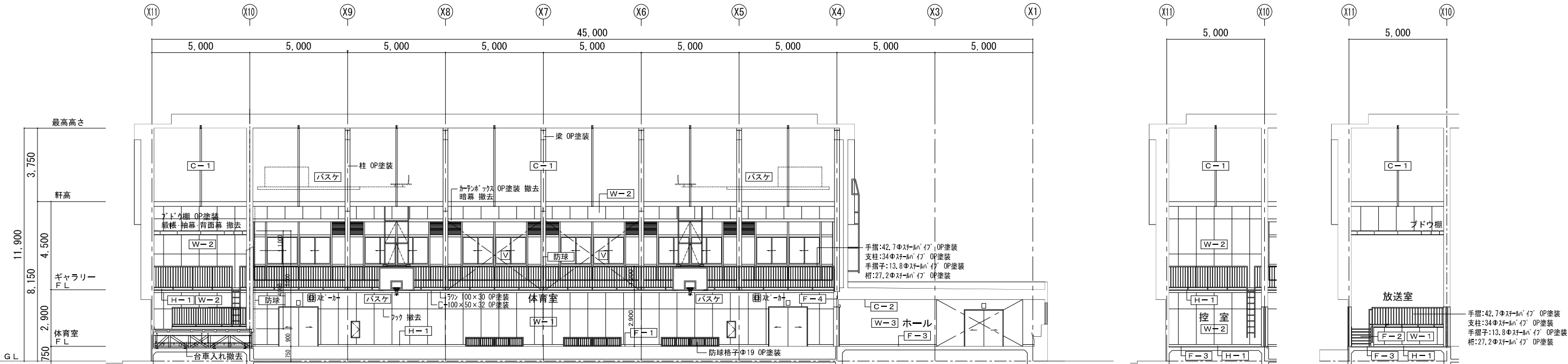
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

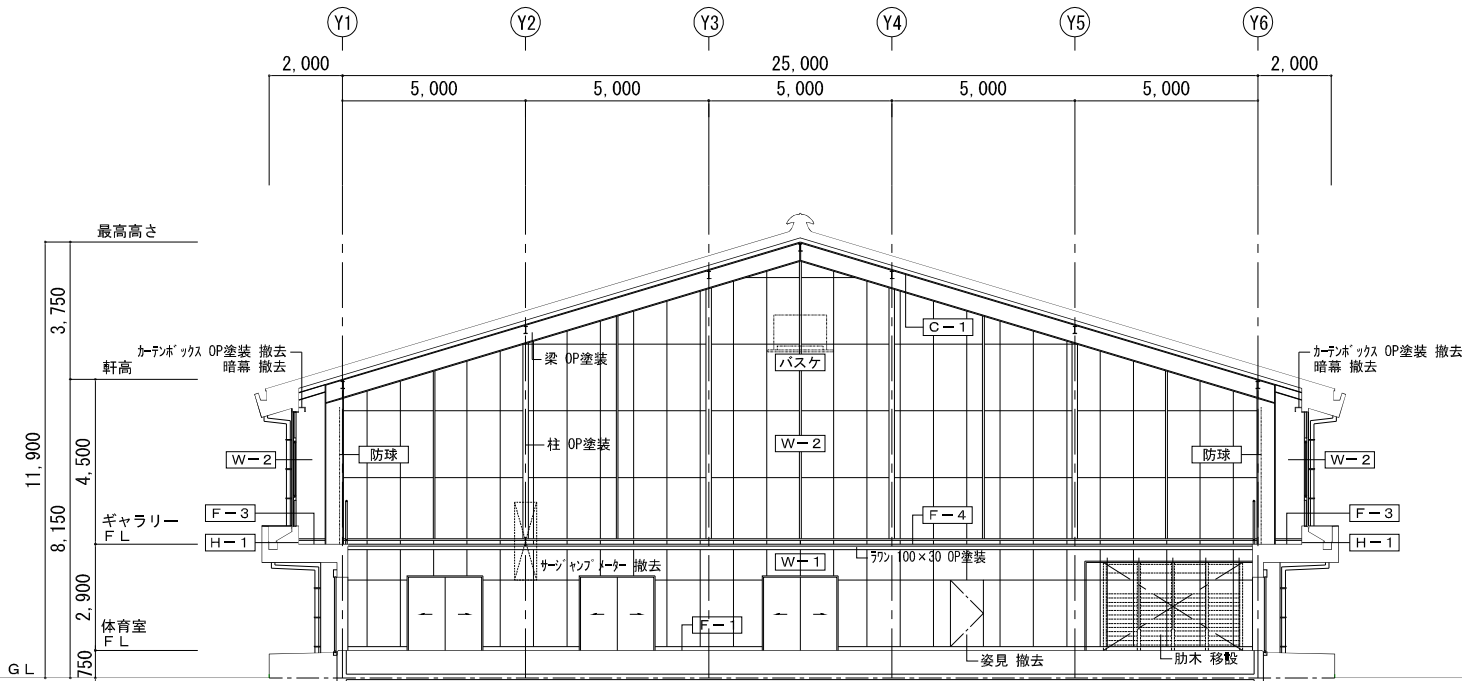
A - 22

内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F-1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 銅製床下地 一部撤去（全体10%程度）	壁	W-1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケット ゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール 撤去・手動折畳みバスケットゴール 撤去
	F-2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地		W-2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	F-3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		W-3	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装	壁ﾌﾞﾚｰｽ	V	L-75×75×6
	F-4	モルタル金ゴテ押え	天井	C-1	木毛セメント板 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装			
巾木	H-1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去		C-2	化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 撤去、軽量鉄骨下地			

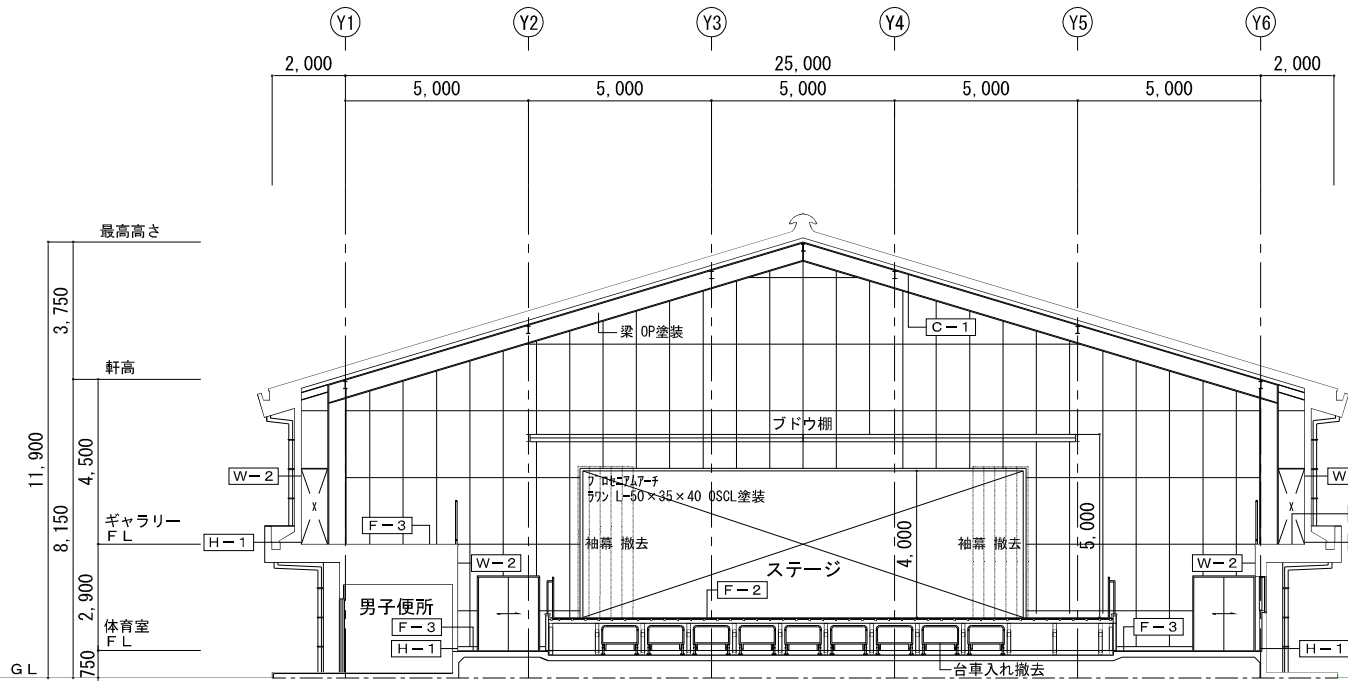


既存体育室 展開図 C面 1/100

既存放送室・控室 展開図 C面 1/100

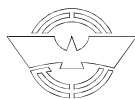


既存体育室 展開図 D面 1/100



既存放送室・控室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 体育室展開図（2）

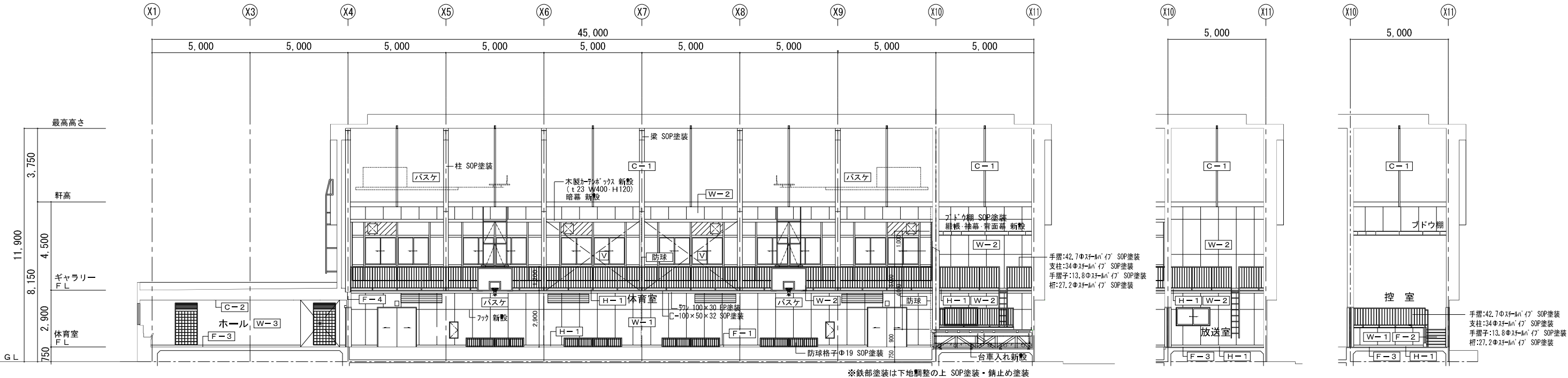
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

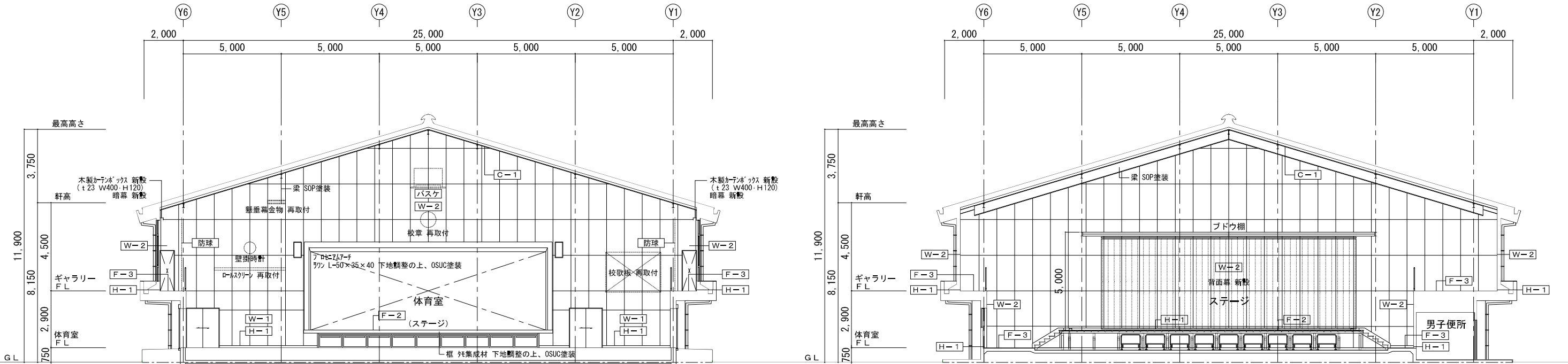
A - 23

内 部 改 修 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	壁	W－1	ラワン合板 厚9 目透し張り EP塗装 新設、外壁面:発泡ウレタン 厚25充填	バスケット ゴール	バスケ	電動吊上式バスケットゴール 新設、手動折畳みバスケットゴール 新設
	F－2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、外壁面:発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付
	F－3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修		W－3	EP塗装 下地調整（巾木共）	壁ブレース	V	L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装
	F－4	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修 既存バスケットゴール固定金物部 補修	天井	C－1	木毛セメント板 あらわし部：EP塗料 下地調整、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装			
巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 EP塗装 新設		C－2	化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 新設			



改修体育室 展開図 A面 1/100

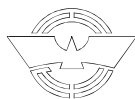
改修放送室・控室 展開図 A面 1/100



改修体育室 展開図 B面 1/100

改修放送室・控室 展開図 B面 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 体育室展開図（1）

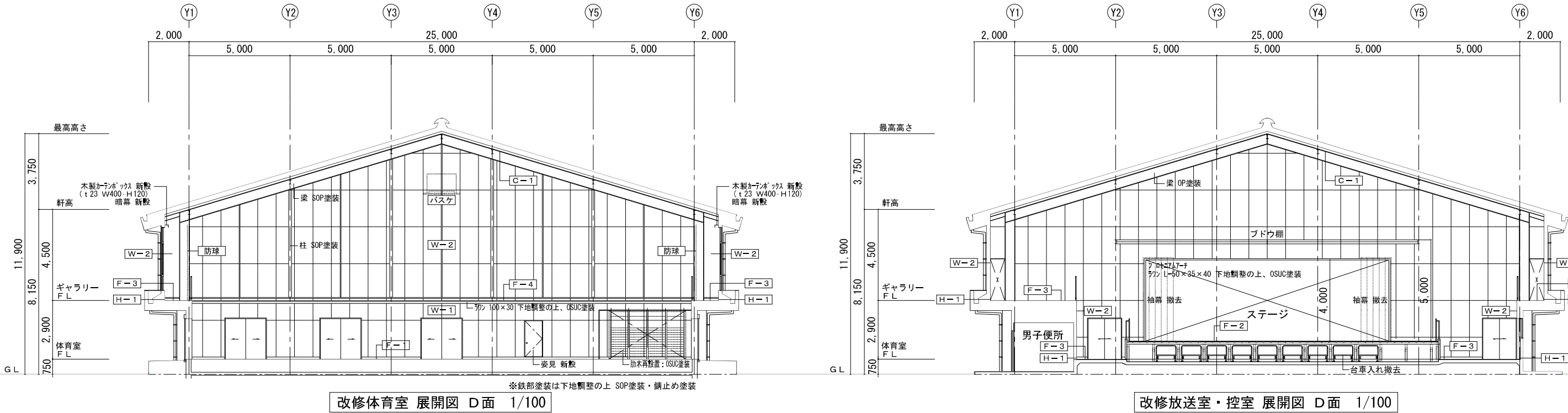
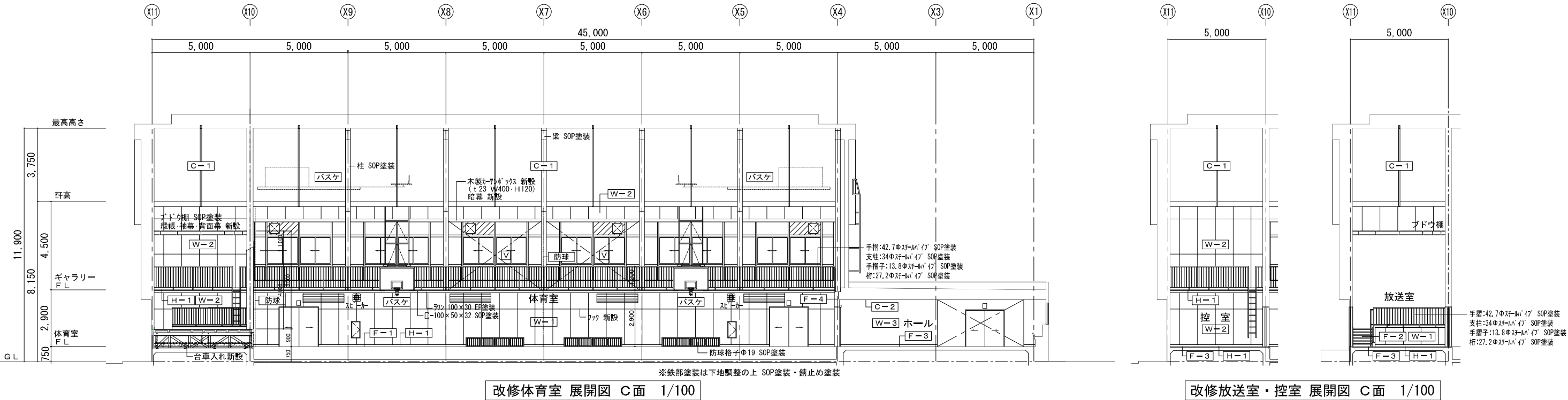
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

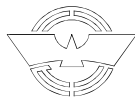
図面番号

A - 24

内 部 改 修 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F-1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	壁	W-1	ラワン合板 厚9 目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	バスケット ゴール	バスケ	電動吊上式バスケットゴール 新設、手動折畳みバスケットゴール 新設
	F-2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け		W-2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付
	F-3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修		W-3	EP塗装 下地調整（巾木共）	壁ブレース	V	L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装
	F-4	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修 既存バスケットゴール固定金物部 補修	天井	C-1	木毛セメント板 あらわし部：EP塗料 下地調整、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装			
巾木	H-1	ラワン材 厚30 H100 EP塗装 新設		C-2	化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 新設			



工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事

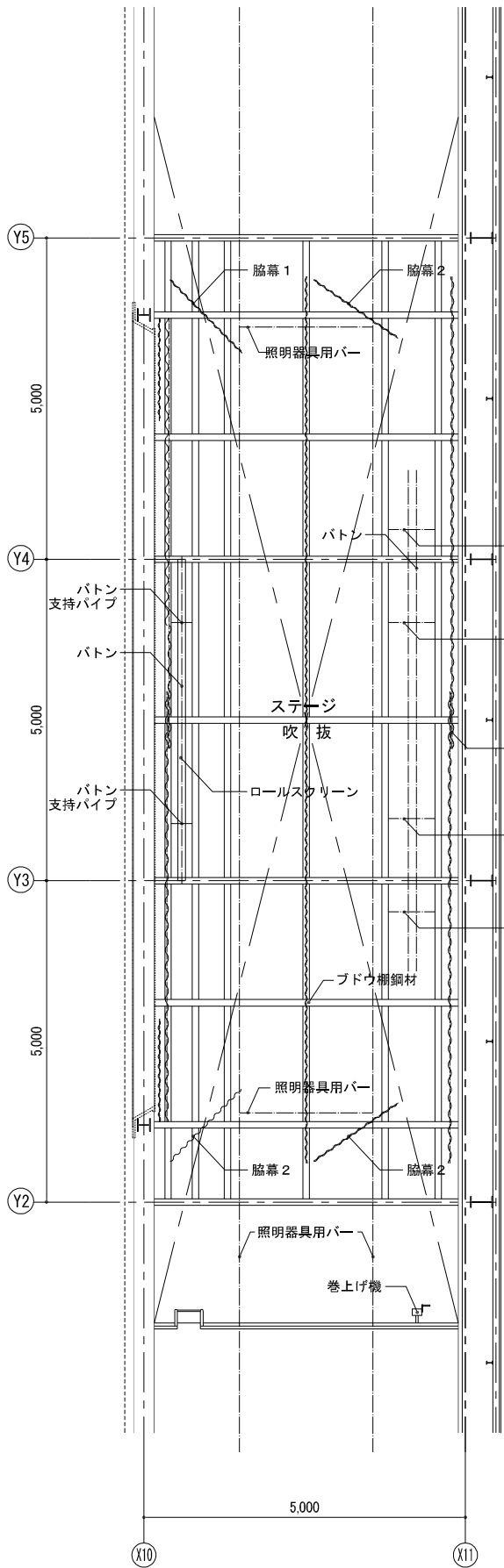


海老名市

図面名称	改修 体育室展開図 (2)		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A - 25

舞台装置 リスト

名 称	サイズ (W × H)	数量	駆動方式他
袖幕：撤去新設	W850×H4,100	2	右側 学校名 「海老名市立今泉中学校」刺繍
引割緞帳：撤去新設	W7,000×H4,100	2	
一文字幕：撤去新設	W12,500×H850	1	校章 φ450 本刺繍
脇幕 1：新設	W1,800×H4,000	2	
脇幕 2：新設	W1,800×H4,000	2	
かすみ幕：新設	W14,000×H1,100	1	
引割背面膜：新設	W7,000×H4,500	2	
バトン：撤去新設 支持パイプ・ワイヤー共	6m	2	昇降ウインチ×2
ロールスクリーン：取外し再取付		1	
暗幕（ギャラリー）：撤去新設	W29,540×H3,100（撤去） W600×H3,100（新設） W1,670×H2,400（新設） W8,330×H3,100（新設） W5,000×H3,100（新設）	2 4 8 4 2	
暗幕（控室・放送室）：撤去新設	W1,700×H900	1	



ステージ ブドウ棚 舞台装置 平面図 1/50

バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

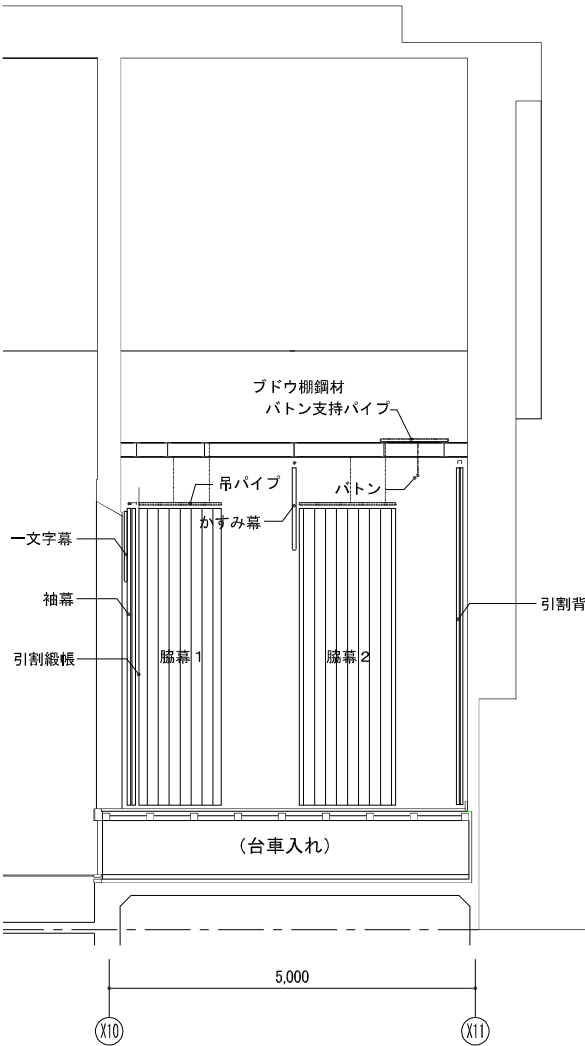
バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

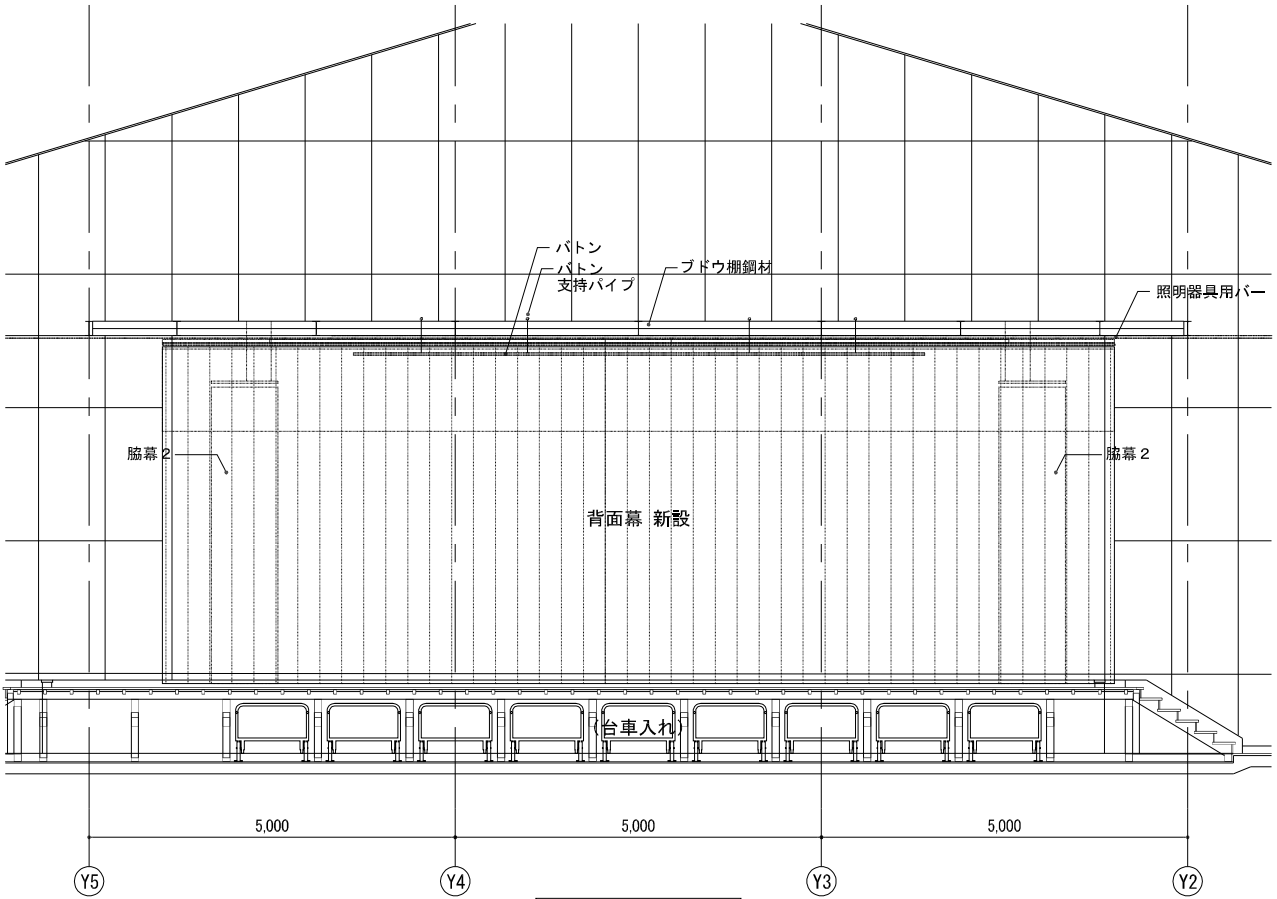
バトン
支持パイプ

バトン
支持パイプ

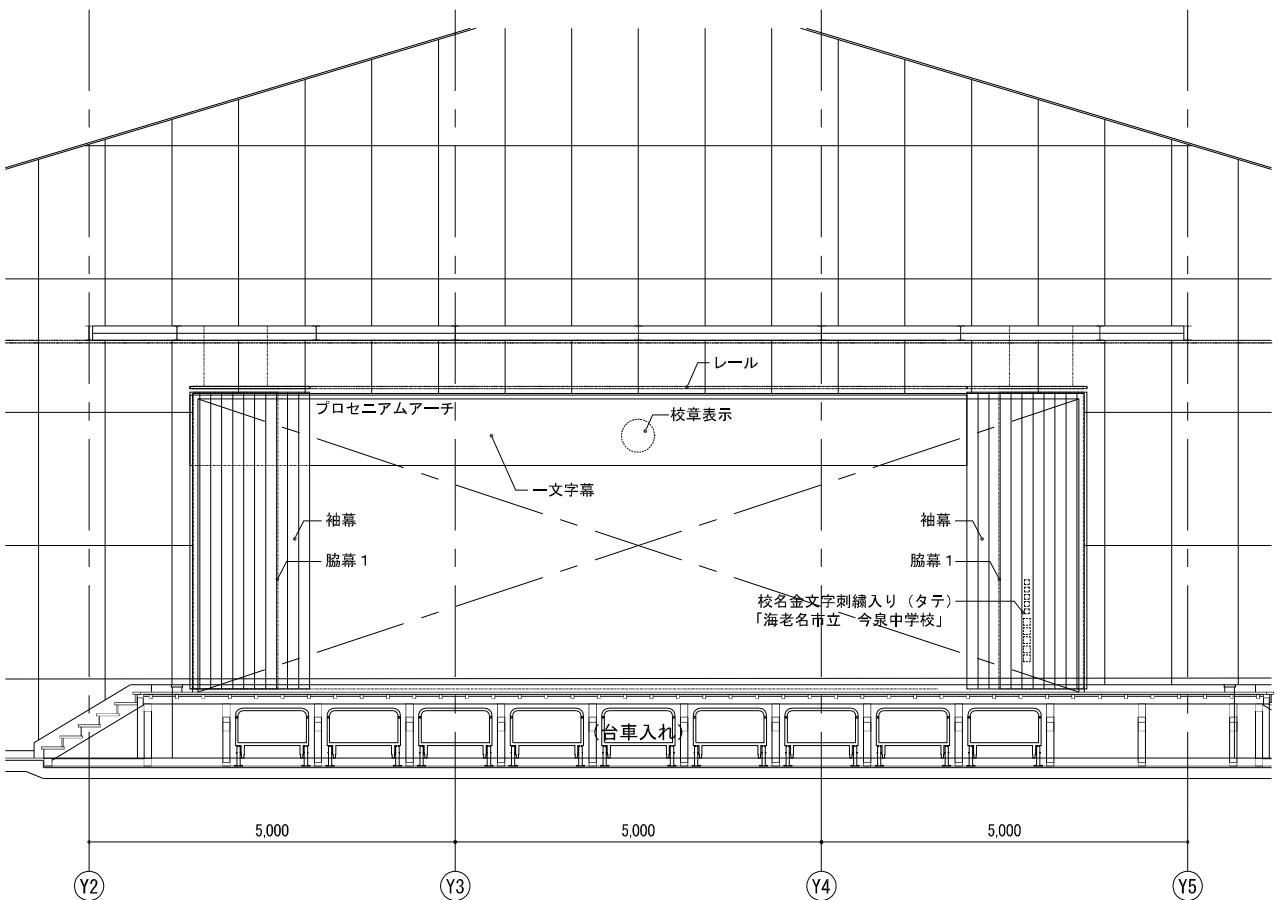
バトン
支持パイプ



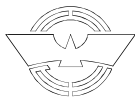
A面（C面）展開図 1/50

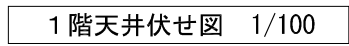


B面 展開図 1/50

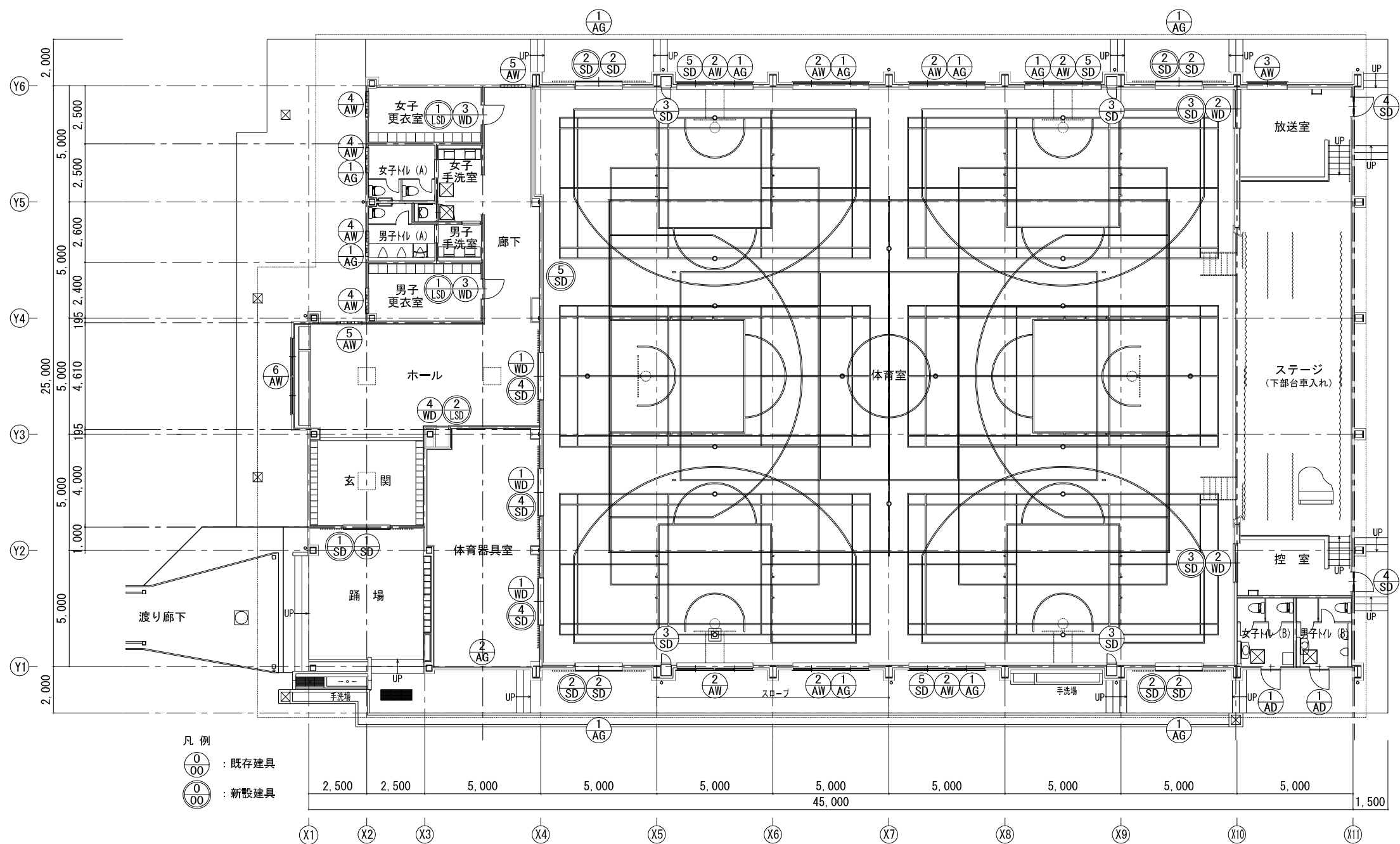


D面 展開図 1/50

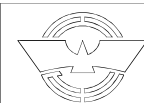


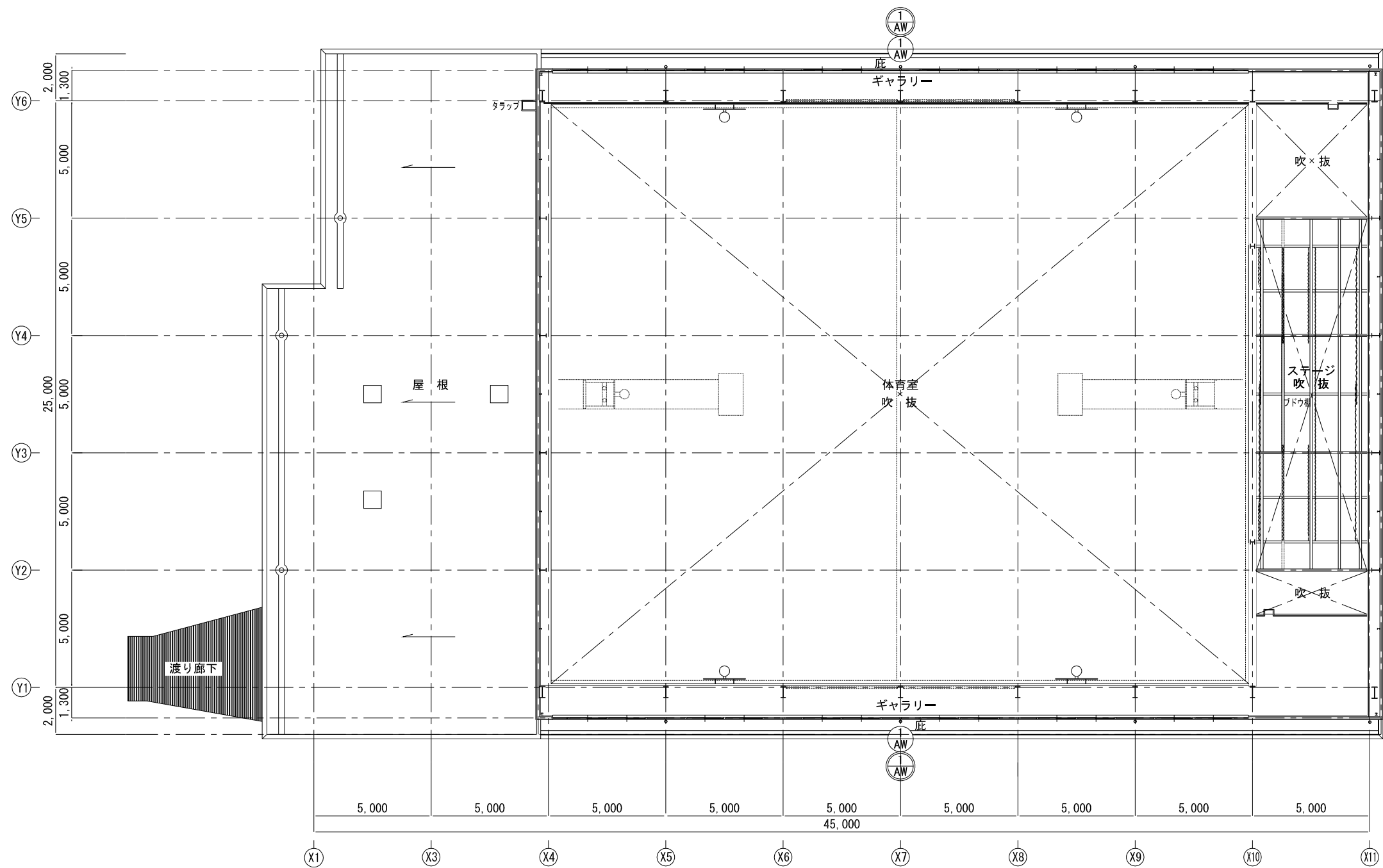


外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
軒裏・庇	B	既存：フレキシブルボード 厚5 EP塗装 撤去 改修：EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6 新設	天 井	C-2	既存：化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 撤去 改修：化粧石膏ボード 厚9・天井廻縁 新設
樋	G	既存（堅樋）：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 改修（堅樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設	バスケット ゴール	バスケ	手動折畳みバスケットゴール 撤去新設



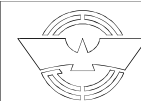
1階キープラン表 1/100





吹抜け部キープラン表 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

吹抜け部 キープラン表

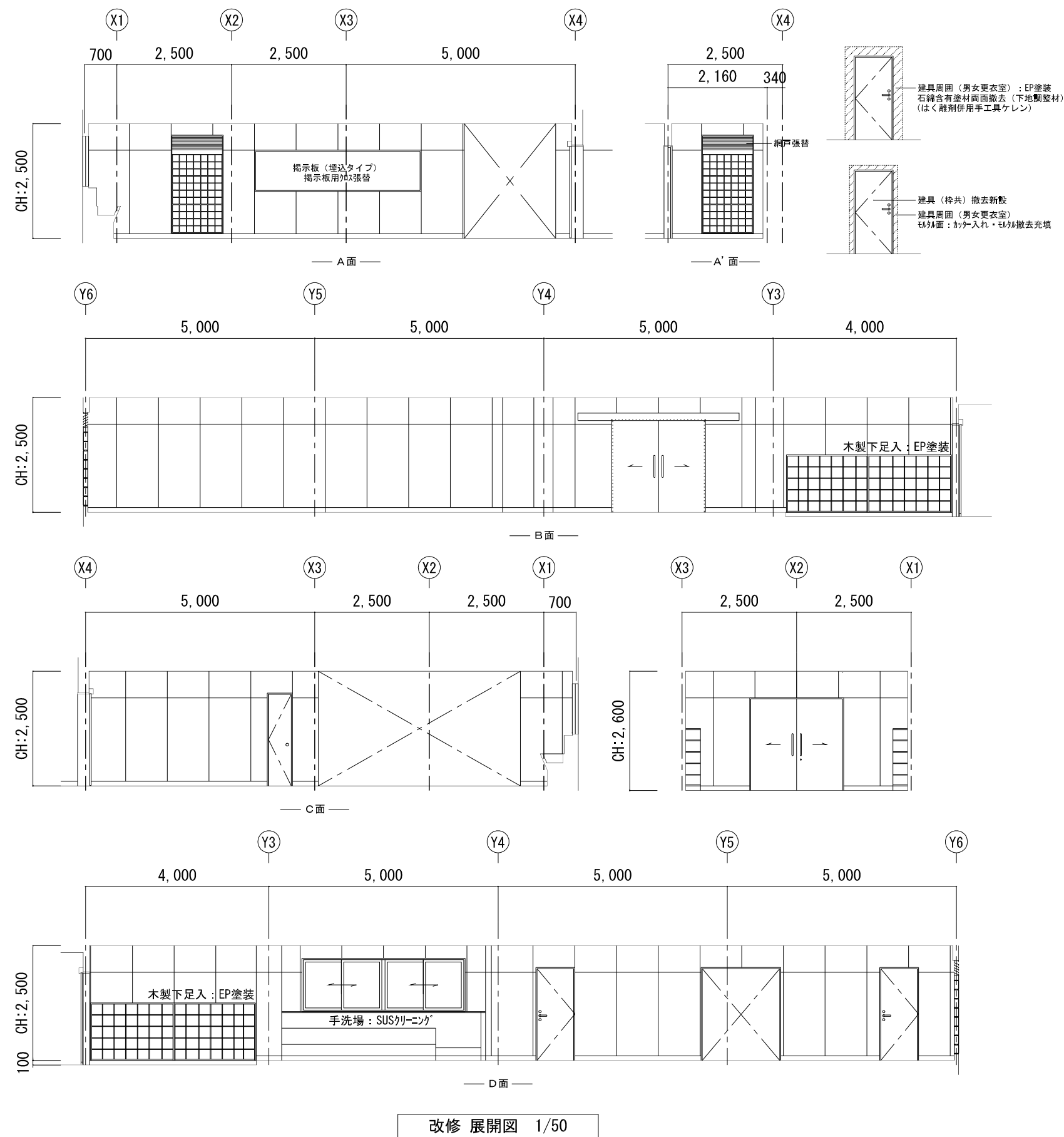
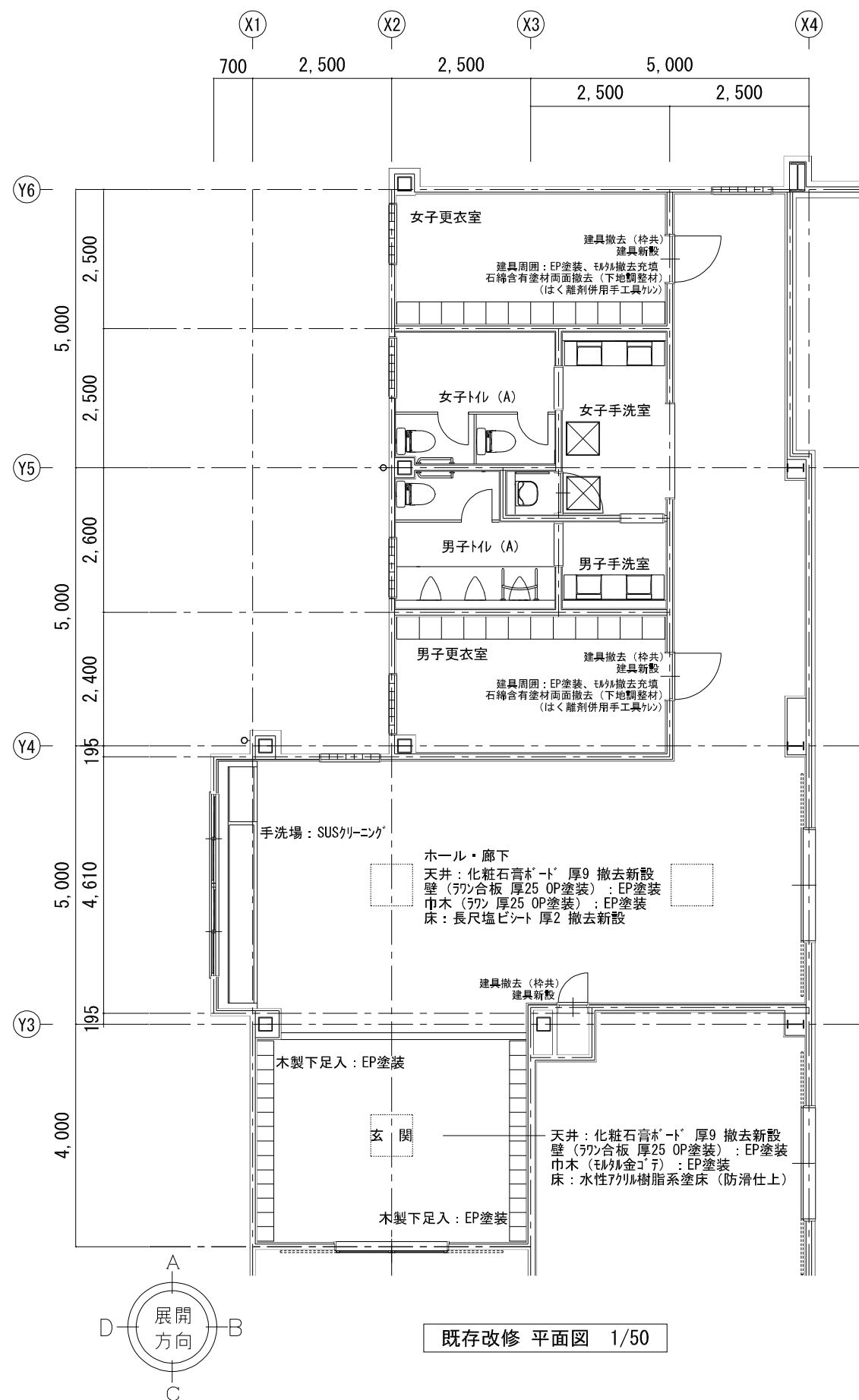
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 30

符 号 名 称	①AW連窓、アルミサッシ 引違窓(嵌殺し窓・ガラリ付)(撤去)											
姿 図	29,540 565701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,6007076070760701,600701,60070565 7001001,500100700 FIX											



床仕上表	体育室	ステージ
仕上	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 カ- 単層フローリング 厚18 端部周囲緩衝材：EXPゴム18×25	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 既存仕上 サタ-掛け
下地材	バ-チャ-ド 厚15	
床組	置床式鋼製床下地 一部撤去新設（全体10%） 根太：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@300 JL-29×34×64×t1.2 大引：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@900 J-50×50×t2.3 支持脚@900（簡井製作所GT707-同等品以上） ※亜鉛メッキ処理 撤去部分の床もれ補修	

床平面図（改修前）1/100

撤去リスト					
体育室床	加デ-フローリ- 厚18張り ：撤去	捨張り板 厚15合板 ：撤去	大引、根太、束共デ-ル製 ：一部撤去	緩衝材全周 クロ-レコ-ム ：撤去	幅木：撤去
ステージ床	加デ-フローリ- 厚18張り ：既存残置 框：既存残置	捨張り板 厚15合板 ：既存残置	大引、根太：既存残置	緩衝材 クロ-レコ-ム ：既存残置	幅木：撤去

支柱基礎（床仕上蓋・中筒金物共）リスト		
凡例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	6
b	バトミントン用 撤去	10
c	移動用鉄棒用 撤去	8

床平面図（改修後）1/100

改修リスト					
No.	項目	摘要	No.	項目	摘要
①	鋼製床組一部撤去新設	仕上表による	⑥	椅子収納台車：撤去新設	詳細図参照
②	床フローリング（下地合板共）撤去新設	仕上表による	⑦	既存ステージ框：塗替え	下地調整R8種 OSUC塗装
③	床点検口：新設	600角 4周囲フローリング 共（PU-2 20×20）	⑧	ビ-7：移動再設置	調律共
④	ステージ階段：撤去新設	詳細図参照			
⑤	既存ステージ手摺・ラッパ・キャットウォーク手摺：塗替	SOP塗装 錆止め塗装下地調整			

支柱基礎（床仕上蓋・中筒金物共）リスト		
凡例	競技名	か所
A	バレーボール用 新設	6
B	バトミントン用 新設	12

※詳細は、各部詳細図 参照
※支柱共新設

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事

海老名市

図面名称

既存改修 体育室床改修平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 34

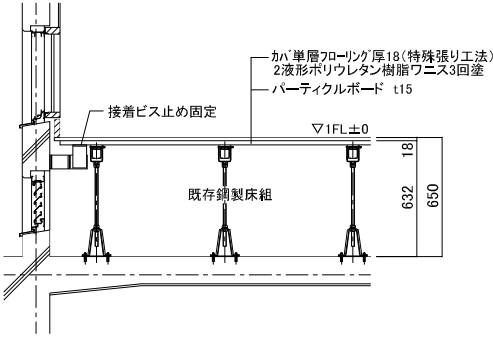
【特記仕様】

フローリングは単層フローリング特殊張り工法
許容荷重は上記を基準とする

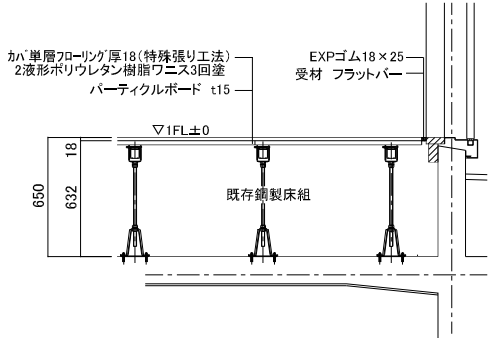
○2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗
F☆☆☆☆
※荒掛け・中掛け・仕上研磨をした上

【体育館床使用フローリング】

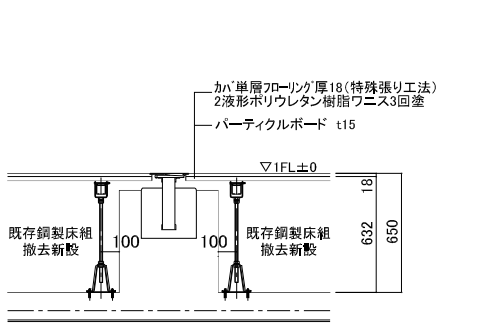
カバ単層フローリング
75×500以上 ×t18(2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗)
F☆☆☆☆



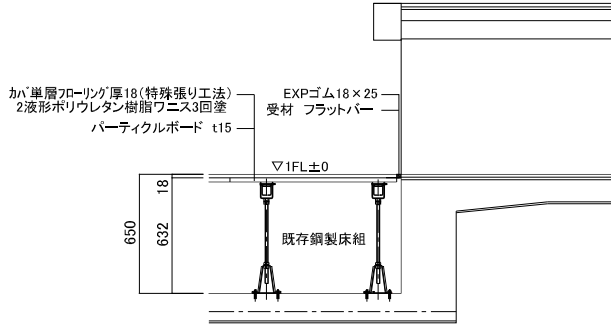
【壁廻り納まり図 S=1/20】



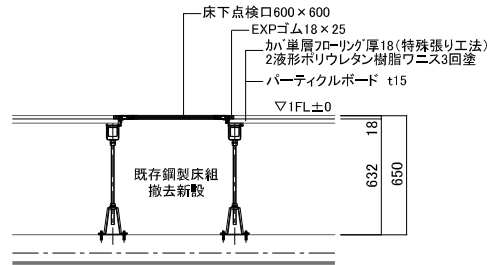
【出入口廻り納まり図 S=1/20】



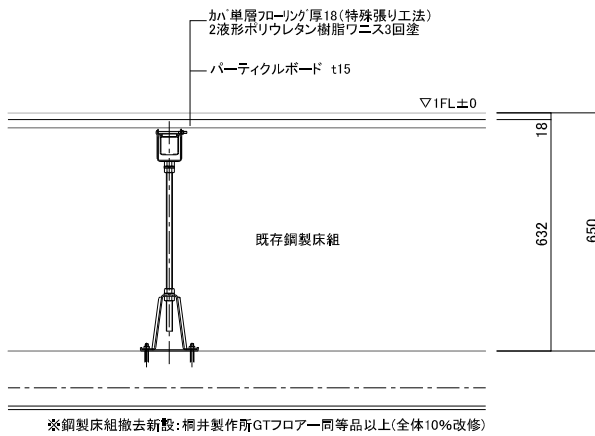
【体育館体育器具基礎廻り納まり S=1/20】



【体育館～ステージ廻り納まり S=1/20】

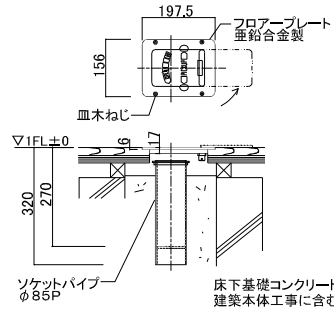


【体育館床下点検口廻り納まり S=1/20】



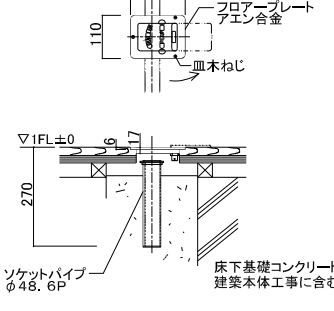
【体育館床基本断面 S=1/10】

バレーボール用支柱 3セット
ベベルギア式
日本バレーボール協会推薦品
鋼管 φ76.3 アルミ製
底部ゴム・ネット巻器付
床下250

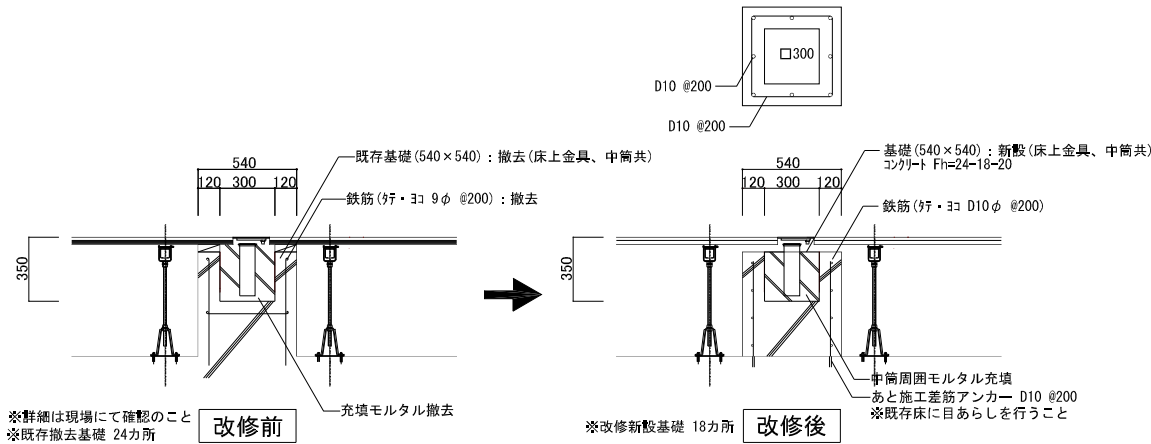


【バレー用床金具 S=1/10】

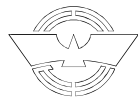
バドミントン用支柱 6セット
差込式
日本バドミントン協会検定品
鋼管 φ40 t3.5
床下150

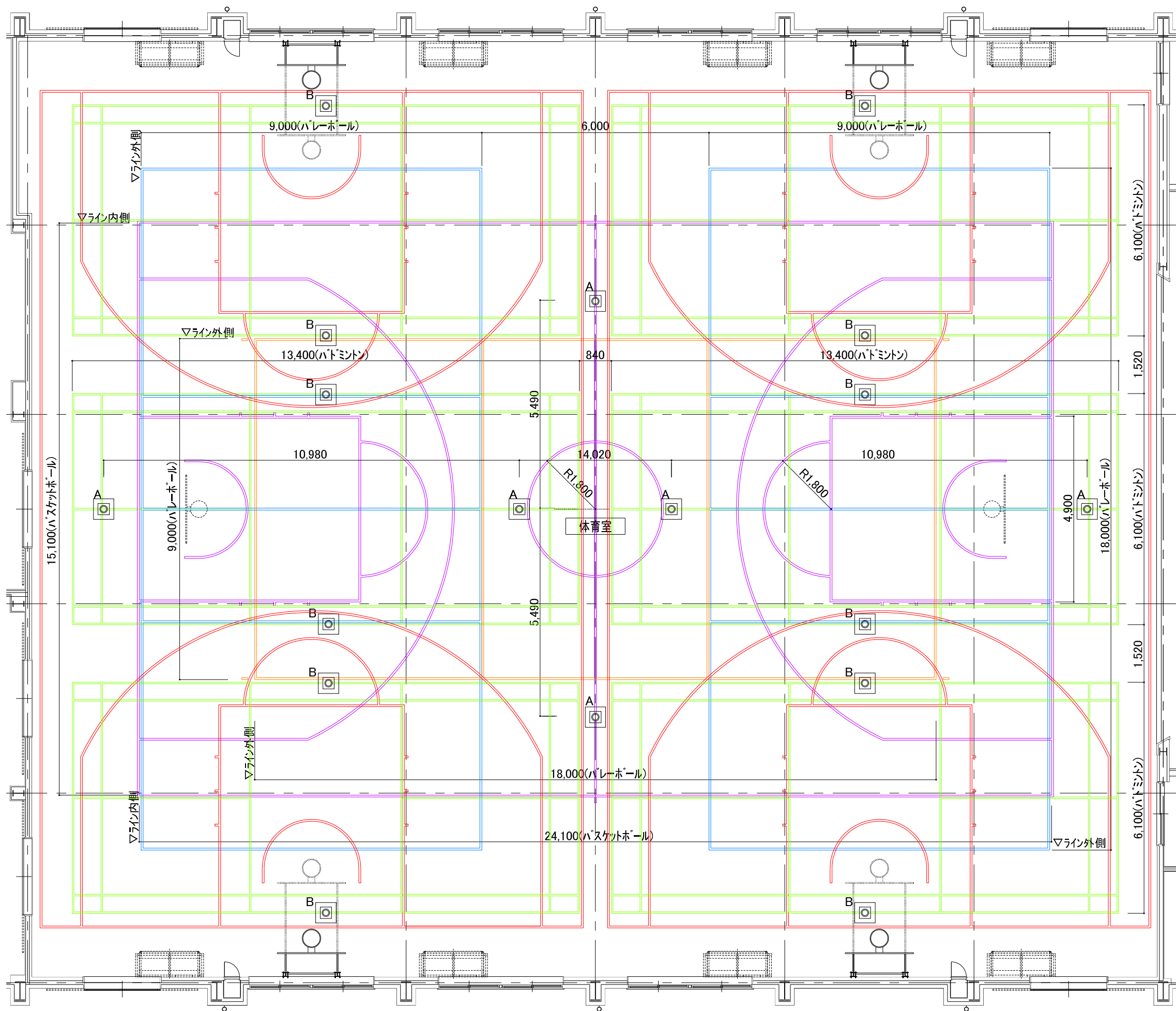


【バドミントン用床金具 S=1/10】



【体育館体育器具基礎納まり S=1/20】





支柱基礎(ポスト上蓋・中筒金物共) リスト

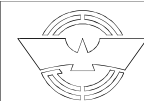
凡 例	競技名	か所
A	バレーボール	6
B	バドミントン	12

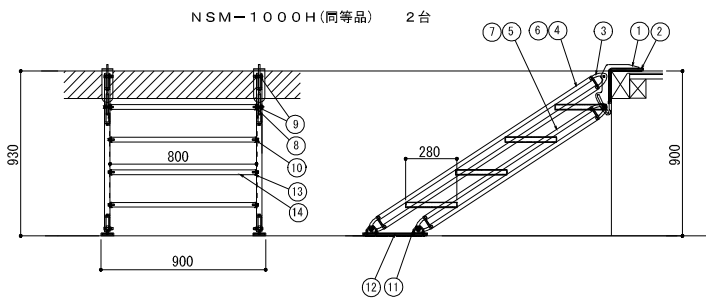
※ 詳細は、各部詳細図 参照
※ 支柱共新設

コートライン一覧表

優先順位	表示	コートライン名	線幅・色	コート寸法	コート数
①		メインバスケットコートライン	50mm 白線	24,100×15,100	1面
②		バスケットコートライン	50mm 青線		2面
③		バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	1面
④		バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	2面
⑤		バドミントンコートライン	50mm 黄線	13,400×6,100	6面

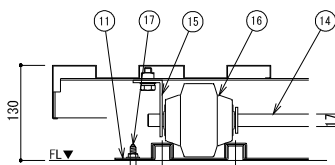
※ 各コートラインは既存位置優先とする
※ 各コートラインの交差部は重ね塗りとする
※ コートライン寸法は、競技用ポスト及び既存バスケットゴールと整合するよう十分調査の上、監督員の承諾を受けること
※ ホール等の基礎の位置とコートラインについては施工図を作成し、監督員の承諾を受けること



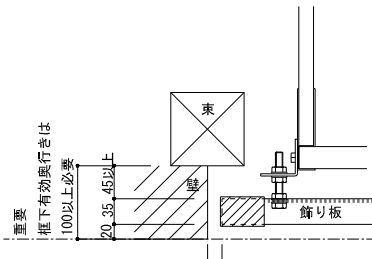


アルミ製移動階段主要構成部品仕様書			
品番	名称	材料・加工等	表面処理
1	フック	ALMダイキャスト製	粉体塗装
2	滑り止めゴム	成形品 6ミリ 差込	
3	Bkt 1	強化プラスチック製 (成型)	
4	支柱材 1	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
5	支柱材 2	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
6	支柱用フタ 1	ALM押し出し成形品	粉体塗装
7	支柱用フタ 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
8	カラー 1	φ22×5t 穴径φ8.5	
9	カラー 2	鋼スベーサー (G0800)	
10	カラー 3	φ22×3t 穴径φ8.5	
11	Bkt 2Bkt 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
12	脚ベース	ALM押し出し成形品	粉体塗装
13	ステップカバー	ALM押し出し成形品	粉体塗装
14	ステップ材	ALM押し出し成形品	粉体塗装

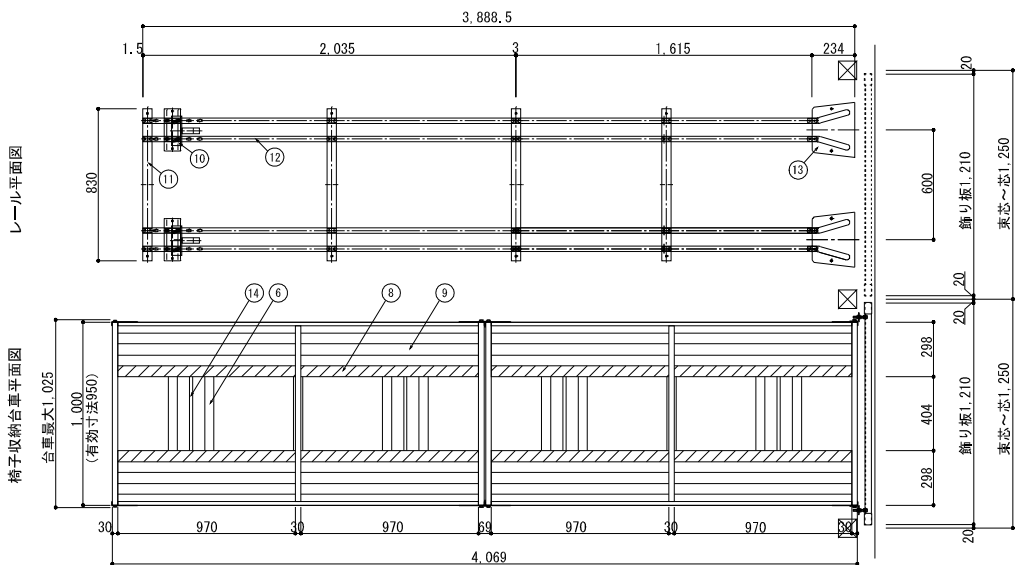
アルミ製移動階段 1/20



車輪部詳細 1/5



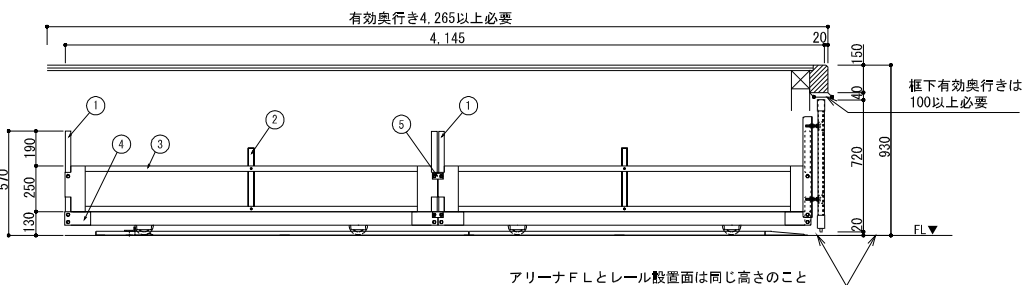
A部詳細 1/5



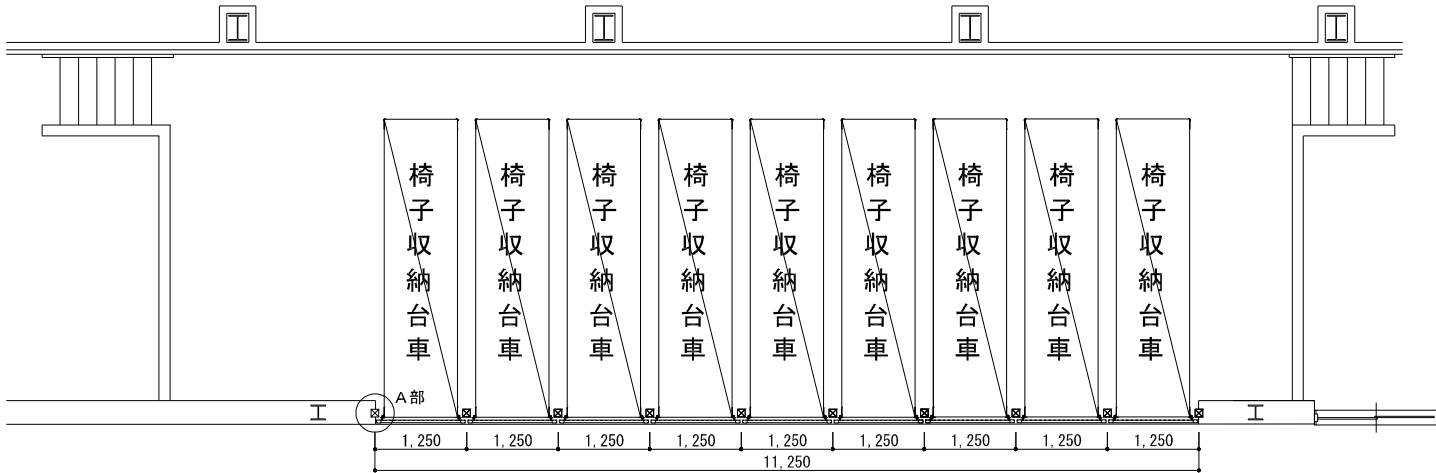
レール平面図

椅子収納台車平面図

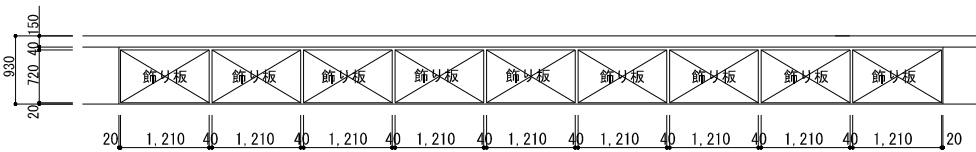
椅子収納台車側面図



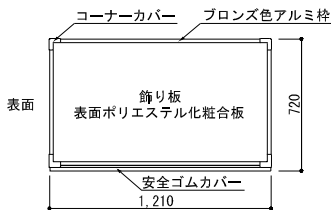
収納台車 1/20



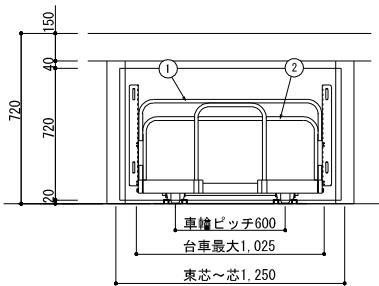
台車収納時平面配置図 1/50



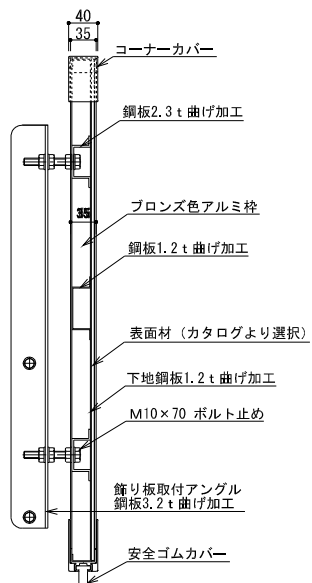
ステージ正面図 1/50



飾り板詳細図 1/20



台車正面図 1/25



飾り板断面図 1/5

仕様	
1.	MTトラック (同等品) 椅子収納台車 8ビット8枚
寸法	W1,000×L4,000×H570
2.	飾り板 8ビット8枚
3.	アルミ製移動階段NSM-1000H (同等品) 2台
4.	レール下地 モルタル金ゴテ仕上げ

主要構成部品仕様書			
品番	品名	材料・加工等	表面処理
1	押手	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
2	椅子倒れ止め	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
3	サイド枠	角鋼管 30×20×1.2	亜鉛メッキ
4	コーナーガセット	鋼板 2.3t	黒色焼付
5	連結プレート	鋼板 2.3t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
8	椅子滑り止め	ポリエチレンシート	
9	床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
13	車輪ガイドベース	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
14	車輪	丸棒 φ17	亜鉛メッキ
15	軸受	鋼材 4.5t	黒色焼付
16	車輪	車輪外径 φ100 MTトラック専用車輪	本体は 亜鉛メッキ
17	オールアンカー	M8×40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面材 (カタログより選択) 下地鋼板 1.2t	黒色焼付

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

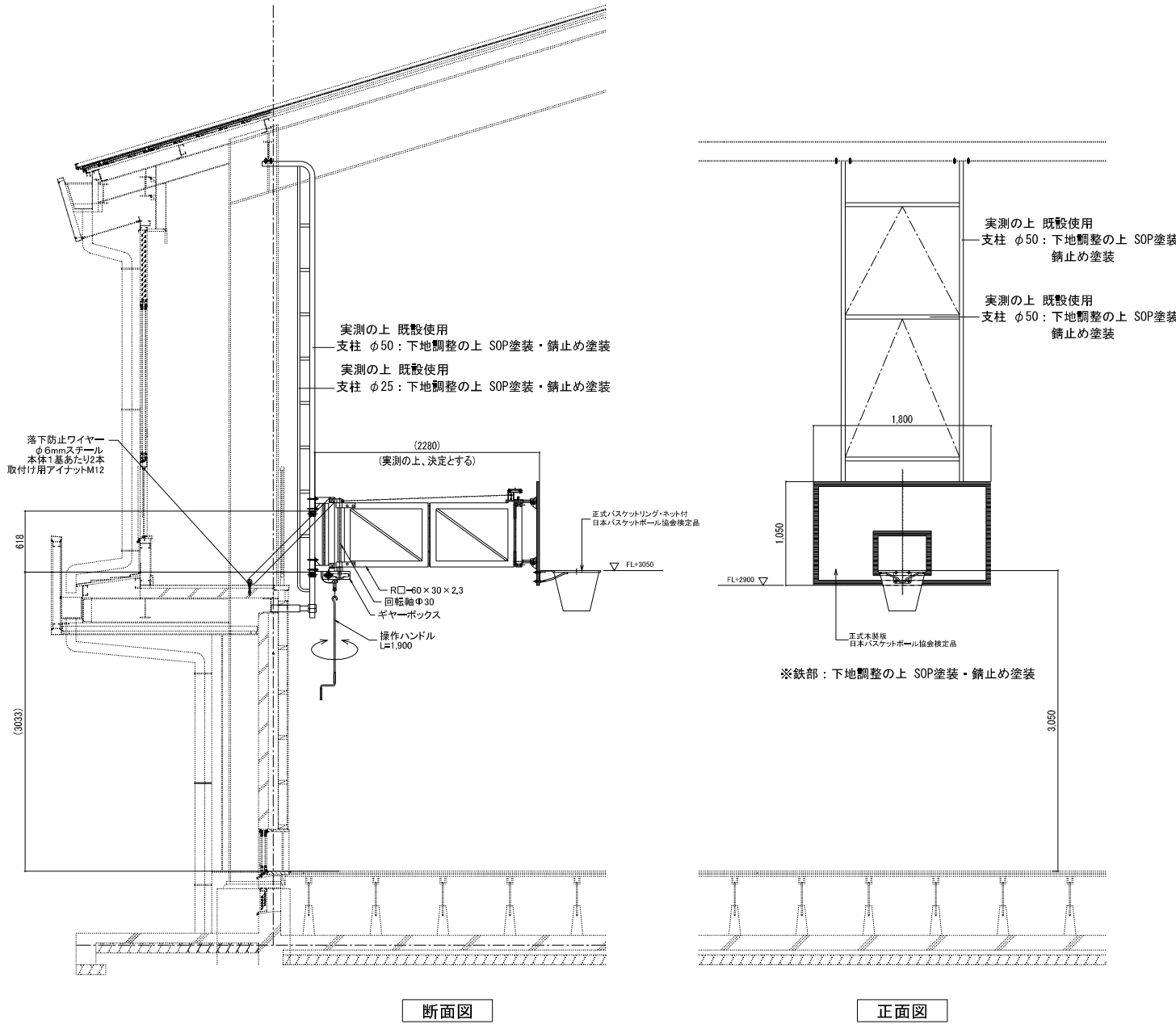
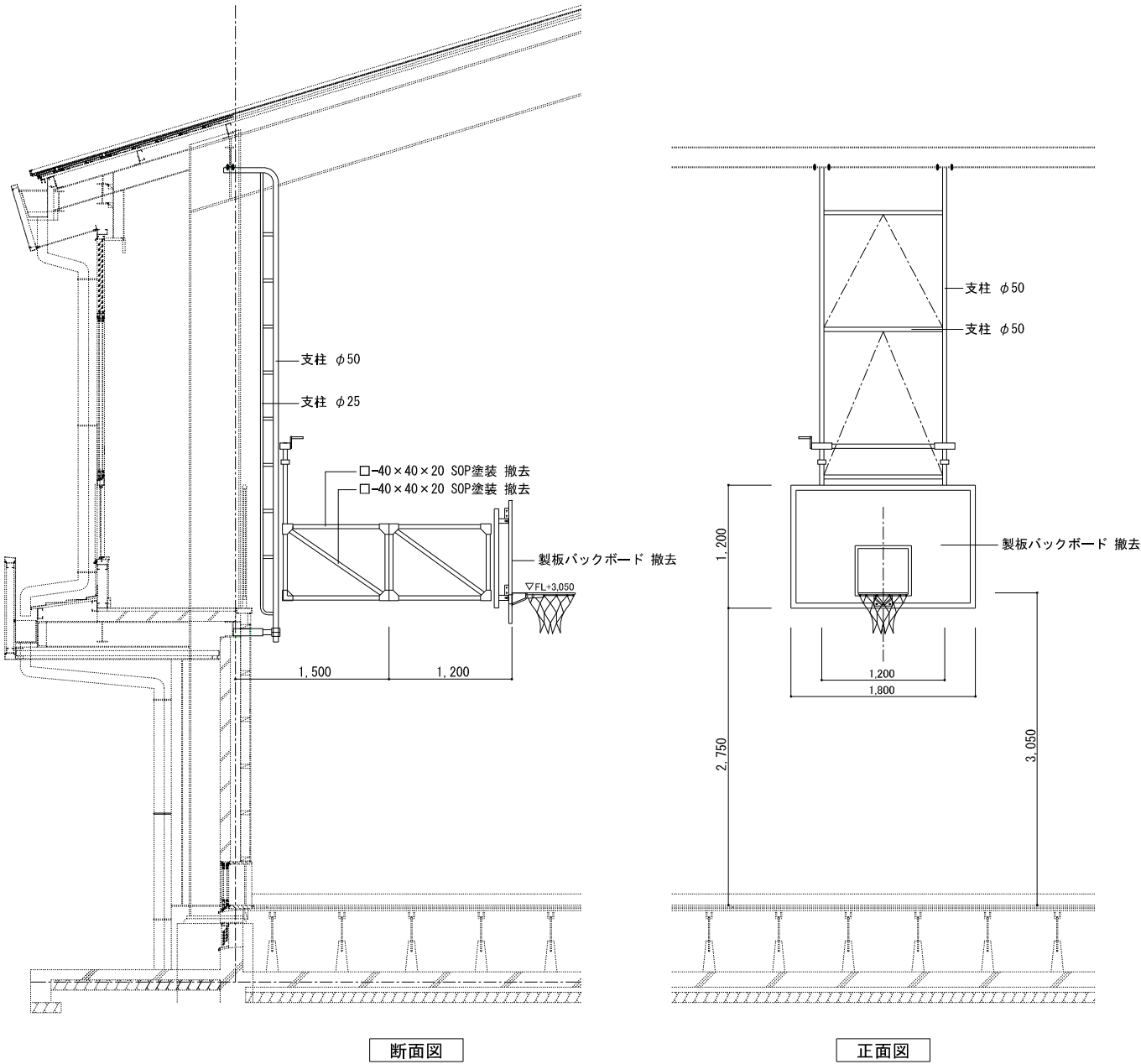
椅子収納台車・移動階段詳細図

縮尺

A1:1/5,20,50 A3:1/10,40,100

図面番号

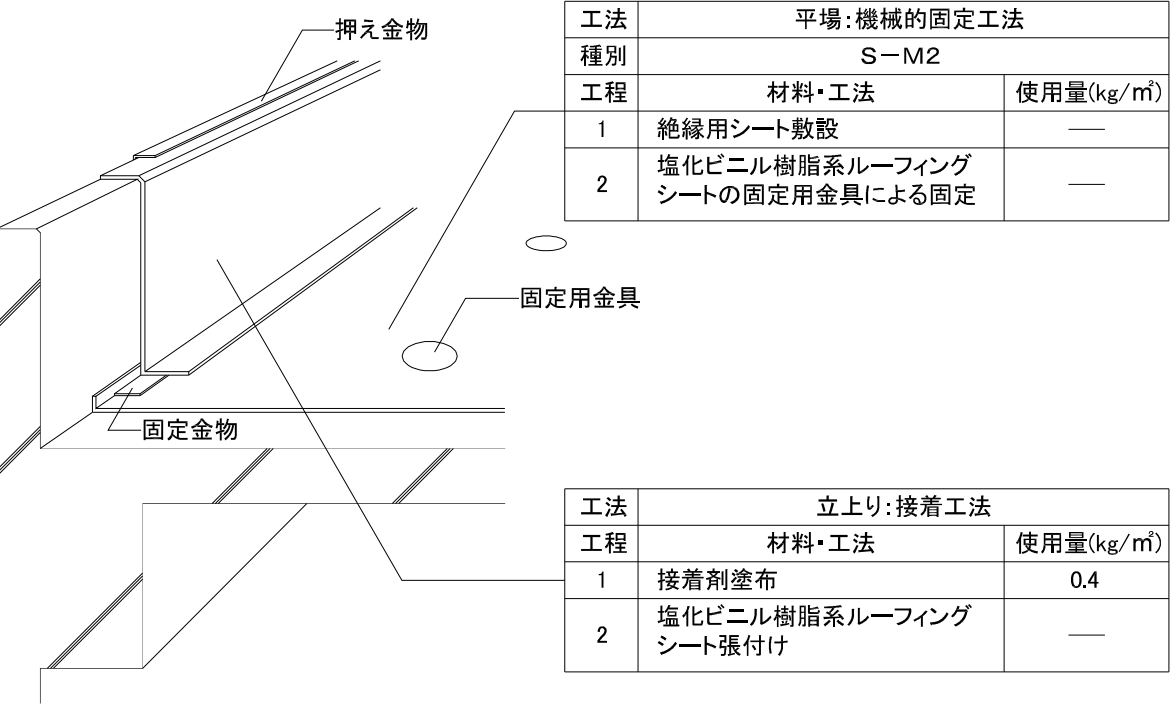
A - 37



吊下げスライド折畳式バスケット装置 (S=1/30)
イノコ BGR-12AM(同等品以上)
日本バスケットボール協会装置普及検定品
壁面固定式バスケット装置取り換え
既設バスケット装置 撤去処分

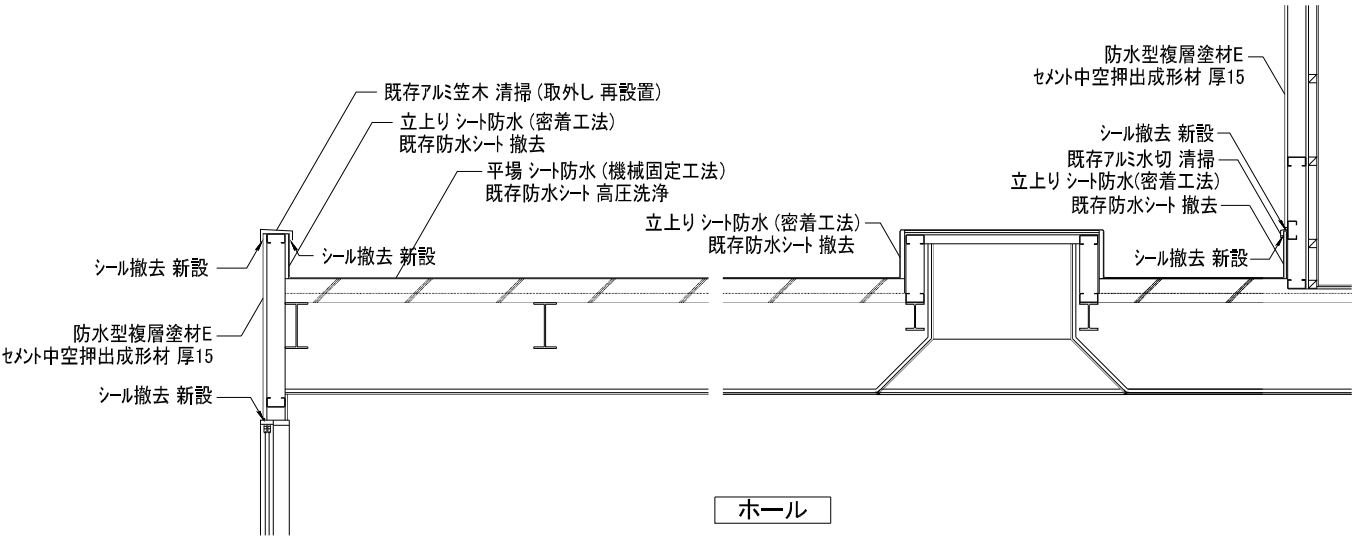
1. 標準仕様

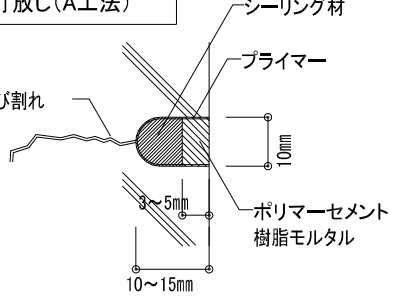
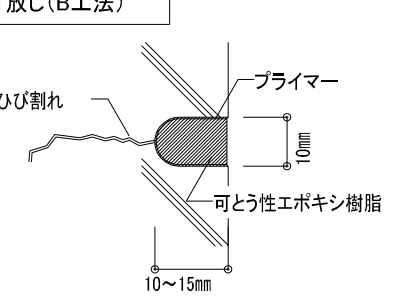
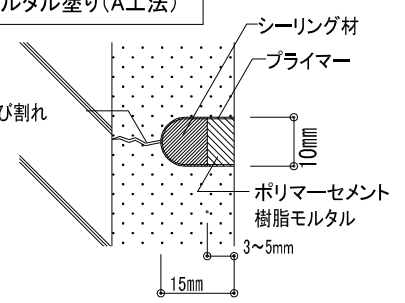
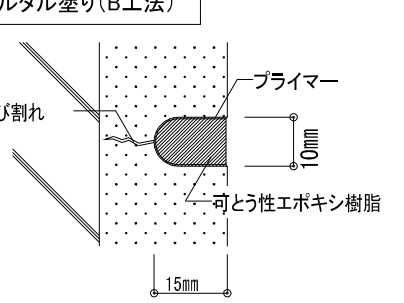
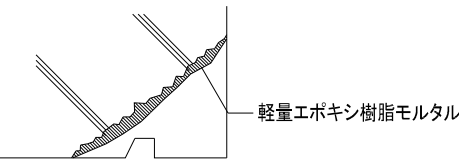
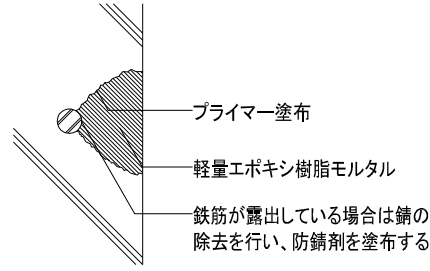
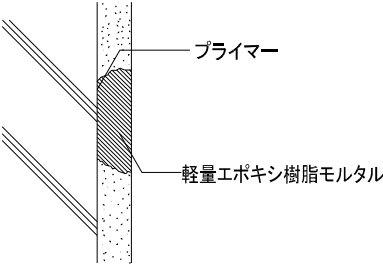
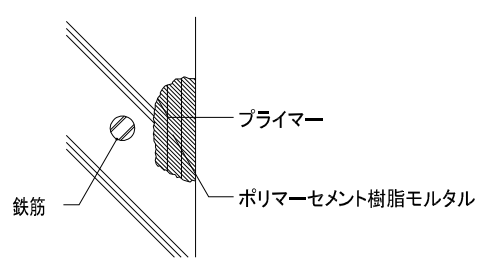
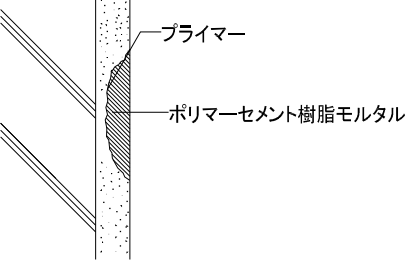
- 1) 平 場:合成高分子系ルーフィングシート(機械的固定工法)+絶縁シート
- 2) 立上り:合成高分子系ルーフィングシート(接着工法)



2. 下地処理:公共建築改修工事標準仕様書による

- 1) 既存下地に付着している異物はケレンし全面を高圧水洗浄(加圧力10～15MPa)を行う
- 2) ルーフドレン部の改修を行う(改修用ドレン設置)
- 3) 立上り面等(接着工法部分)、樹脂モルタルにて下地調整を行う
- ※コンクリート面等のひび割れ部は、樹脂モルタルにて補修を行う
- ※既存下地の欠損部及びぜい弱部は、樹脂モルタルにて補修を行う



Uカットシール材充填工法				充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル)																																			
打放し(A工法)		 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		打放し(B工法)		 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm		モルタル塗り(A工法)		 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		モルタル塗り(B工法)		 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm		打放 モルタル塗り		 軽量エポキシ樹脂モルタル																					
補修範囲の確認 ↓ Uカット ↓ 孔内の清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ シール材の計量 および混練 ↓ ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れに沿って、幅10mm、深さ10～15mm程度のU字型の溝を設ける。 ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛等で除去し、清掃する。 ・プライマーを溝内部に塗残しがないように均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、気泡を巻き込まないよう充分混練する。計量は、可使時間内に使い切る量とする。 仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は「Uカットシール材充填工法」の採用不可		シール材の充填 ↓ 仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・溝内にシール材をコーキングガンで、空隙や打残し等のないよう加圧しながら充てんし、表面を平滑に仕上げる。 ※A工法の場合はシーリング材をコンクリート表面から3～5mm程度低めに充てんする。 ・A工法:シーリング材の硬化後、ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 ・B工法:可とう性エポキシ樹脂の上に仕上塗材、塗料等を施す場合は、硬化前に表面にけい砂を散布する。 ・シール材が硬化するまで損傷、汚染等のないようにする。また降雨等からも養生する。 ・シール部以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・シール材の仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。		補修範囲の確認 ↓ 下地処理・ケレン ↓ プライマー塗布 ↓ エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 ↓ エポキシ樹脂 モルタルの充填 ↓ 表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後ほこり等除去して清浄で強固な下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に軽量し、充分に混練する。 ・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、なだらかに仕上げる。 ・エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去、清掃する。 ・モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。																																			
充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル) ※ 危険性「大」の場合										充填工法(ポリマーセメント樹脂モルタル) ※ 危険性「小」の場合																													
打放し					 プライマー塗布 軽量エポキシ樹脂モルタル 鉄筋が露出している場合は錆の除去を行い、防錆剤を塗布する					モルタル塗り					 プライマー 軽量エポキシ樹脂モルタル					打放し					 鉄筋 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル					モルタル塗り					 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル				
補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ 軽量エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。					軽量エポキシ樹脂 モルタルの充填 ↓ 表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、平滑に仕上げる。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去し、清掃する。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。					補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ ポリマーセメント樹脂 モルタルの調合・充てん ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・手工具(※1)にて はつり取り、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・仕様に沿ったプライマーの調整を行う。 ・プライマーを被着面に塗り残しのないように塗布する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルは、仕様に基づいて調合してから充分に混練する。 ・欠損の状態の合わせ、数層に分けてポリマーセメント樹脂モルタルを充てん又は塗り付ける。 ・各層塗り厚は7mm程度とする。					表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・表面を金ゴテで充分押さえて、平滑に仕上げる。 ・各層とも急激な乾燥を避けて、ポリマーセメント樹脂モルタルが硬化するまで損傷、汚染のないようにするとともに降雨等からも養生する。 (7日以上) ・ポリマーセメント樹脂モルタルの硬化後、補修以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態およびあとかたづけを確認する。																								
工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事										 海老名市										図面名称 縮尺										外壁の改修工法ディテールシート (1) NO SCALE 図面番号 A - 41									

樹脂注入工法

打放し

ひび割れ

パテ状エポキシ樹脂

注入パイプ
(φ6～12mm)

15～30mm

手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

打放し

ひび割れ

シール材

注入器具

台座

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

モルタル塗り

注入パイプ(φ6～12mm)

パテ状エポキシ樹脂

10～15mm

手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

モルタル塗り

シール材

注入器具

台座

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

補修範囲の確認

ひび割れ部の清掃

注入孔位置決め

台座の貼り付け

仮止めシール

・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。

・ひび割れ部を中心に幅50mm程度の表面をワイヤーブラシ等で清掃する。
・ひび割れ部が濡れている場合は、乾燥するまで作業は中止する。

・注入孔位置を下記の表によりスケール等で測定し、チョークなどでマーキングする。

ひび割れ幅(mm)	0.3以下	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0以上
注入孔の間隔(mm)	50～100	100～200	150～250	200～300

・台座または専用器具の注入口を塞がないように接着剤で固定する。

・メーカー仕様に基づき、仮止めシール材を施工する。
・硬化するまで出来るだけ振動を与えないように注意する。

エポキシ樹脂の計量・混練

エポキシ樹脂の注入

エポキシ樹脂の硬化・養生

専用器具・仮止めシール材の除去

自主検査

・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。

・専用器具にエポキシ樹脂を充填し、注入を行う。
・注入状態を確認し、必要に応じてエポキシ樹脂を補充する。

・注入作業完了後も専用器具を設置したまま硬化養生する。
・12時間以上の放置養生

・皮スキ、ディスクサンダー、ホットエアガンなどを用いて専用器具及び、仮止めシール材を除去し、下地面を平滑に仕上げる。

・エポキシ樹脂の使用量及び、専用器具内の残量から注入量を確認する。

仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は、「自動式低圧エポキシ樹脂注入工法」を採用する。

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り

アンカーピン

パテ状エポキシ樹脂

エポキシ樹脂

30mm

α

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2未満の場合

アンカーピン本数

一般部分	16本／m2
指定部分	25本／m2
狭幅部	5本／m

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り

パテ状エポキシ樹脂

エポキシ樹脂

アンカーピン

パテ状エポキシ樹脂

30mm

α

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2以上の場合

アンカーピン本数(本／㎡)

種類	項目	アンカーピンの本数	注入口の本数
一般部分		13本／m2	12本／m2
指定部分		20本／m2	20本／m2
狭幅部		5本／m	5本／m

補修範囲の確認

アンカーピンニングの本数と配置の決定

せん孔 (※2)

孔内の清掃

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の計量・混練

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の注入

・テストハンマー等で打診し、浮きの状態と範囲を調べてマーキングする。

・アンカーピンニングのせん孔位置を右上表にてチョークでマーキングする。

せん孔径	10mm
せん孔深さ	30mm

・アンカーピンニング用のせん孔深さは、躯体コンクリートに30mm以上とする。
・せん孔径は使用するアンカーピンの直径より2mm程度大きい直径とする。

・孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。

・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。

・グリスポンプを用いて、せん孔部の最深部から徐々にアポキシ樹脂を注入する。充填量は指定がある場合を除き1ヶ所当り25ccとする。

・規定のアンカーピンを孔最深部まで埋め込む。

・適切な長さのアンカーピンのねじ切り部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。

アンカーピンの挿入

養生

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

清掃

自主検査

・アンカーピン:ステンレス製全ネジφ4mm
・アンカーピンの頭は仕上げ面から5mm程度引っ込むようにする。孔内よりはみ出したエポキシ樹脂は除去し、目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂で穴うめする。

・アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。

・注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。

・テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、後片付けも確認する。

残存浮き部への注入孔の位置決め

注入孔のせん孔 (※2)

孔内の清掃

ひび割れ等のシール

残存浮きへの注入

養生

仕上げ

清掃

自主検査

・テストハンマーで打診して残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。

・アンカーピン固定用エポキシ樹脂硬化後、躯体コンクリートに5mm以上の深さまでせん孔する。

・孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。

・注入時にエポキシ樹脂が流出する恐れのあるひび割れや開口部等は確実にシールし、硬化養生する。

・グリスポンプを用いてエポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入を行う。
・注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部全面に注入する。
・注入後注入孔をパッキン等でふさぐ。

・エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。

・アンカーピンニングおよび注入孔にパテ状エポキシ樹脂等を充てんし、仕上げを行う。

・注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。

・テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、あとかたづけも確認する。

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事

海老名市

図面名称

外壁の改修工法ディテールシート (2)

縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 42

■ 金属屋根改修塗装仕様		
遮熱塗料塗り(屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料)		[ガルバリウム鋼板屋根面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去後、十分に乾燥させる	加圧力10～15MPa
下塗り	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)8H～7D	0.22kg／㎡以上 ウエット膜厚150μm ドライ膜厚55μm
上塗り(1～2回) 屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料 (ミラクルS100 各色 同等品)	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)4H～7D	0.22～0.25kg／㎡以上 ウエット膜厚180μm ドライ膜厚70μm

■ 外壁改修塗装仕様		
防水形複層塗材E (JIS A 6909)		[外壁垂直面・外壁水平面・小庇等小面積の上裏・ALCパネル(凸凹模様)]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	全面に吹付 1回	0.1kg／㎡以上
増塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	出隅・入隅・目地部・開口部回り等にはけ又はローラー塗りにより、端部に段差のないように塗り分ける	0.9kg／㎡以上
主材基層塗り	全面に吹付 2回	1.7kg／㎡以上
主材模様塗り(パラペット天端等の平場はフラット)	全面に吹付	0.9kg／㎡以上
上塗り(JIS A 6909) フッ素系・1液・水系	全面に吹付 2回	0.25kg／㎡以上

外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材(外装薄塗材E) (JIS A 6909)		[庇・軒裏コンクリート面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整(既存下地の場合)	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面に吹付け、またはローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り	全面に吹付	0.1kg／㎡以上
主材塗り	全面に吹付 2回	1.5kg／㎡以上

(※1)下地補修等で不陸が著しく生じる部分は下地調整塗材(C-2 ポリマーセメント系)を使用すること

水性アクリル樹脂系塗床(防滑仕上) 塗替え		[階段,通路]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.4kg／㎡以上
仕上塗料塗り(防滑仕上) 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.6kg／㎡以上

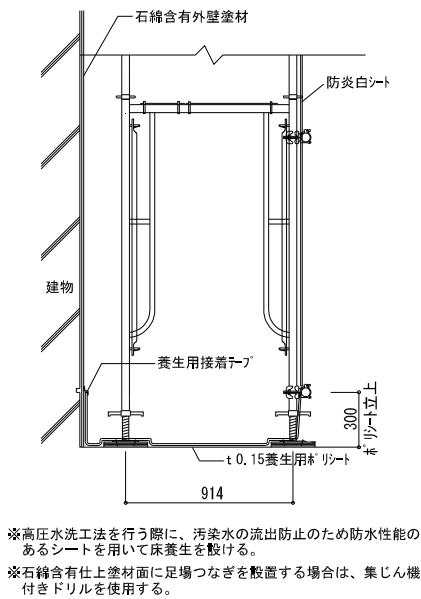
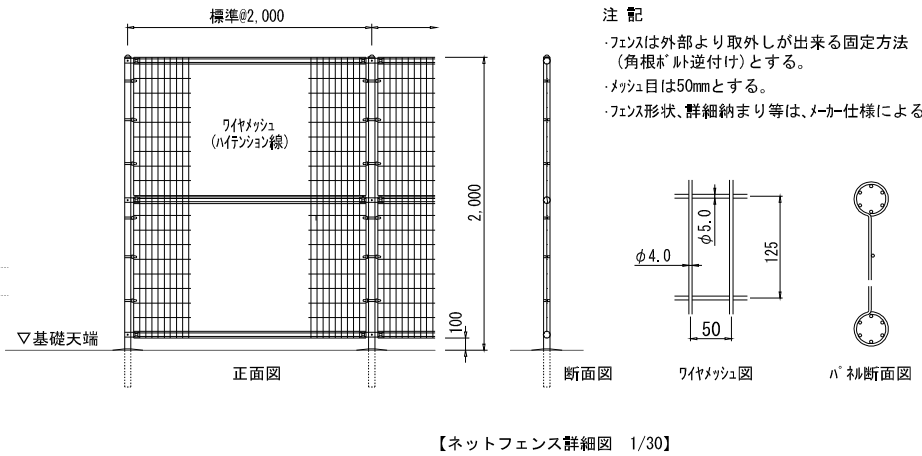
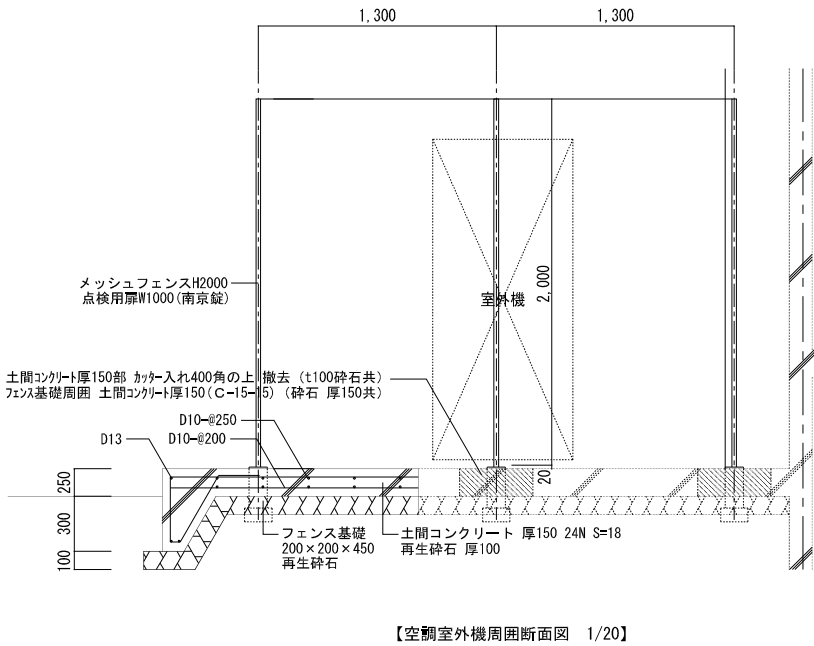
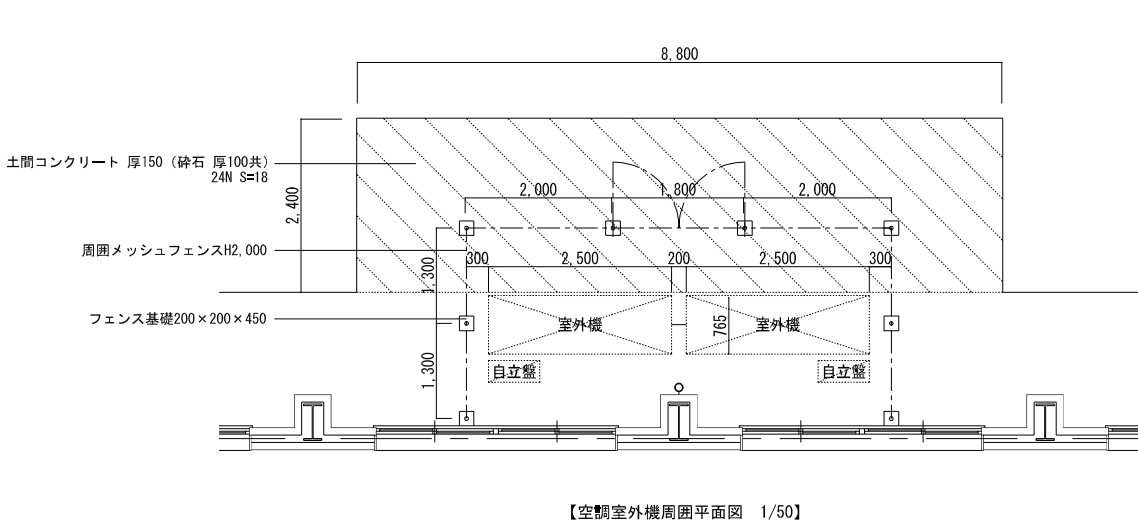
■ ガラス繊維天井改修塗装仕様		
飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法)		[ガラス繊維天井面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	小さな傷・ほつれ等は押えて補修する 剝離・脆弱部分は撤去	
表面固化 飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法) (ロックシール工法R 同等処理工法)	エアレススプレー 工程内2以上	0.6～1.0kg／㎡ 18～30㎡／18kg(2回での量)

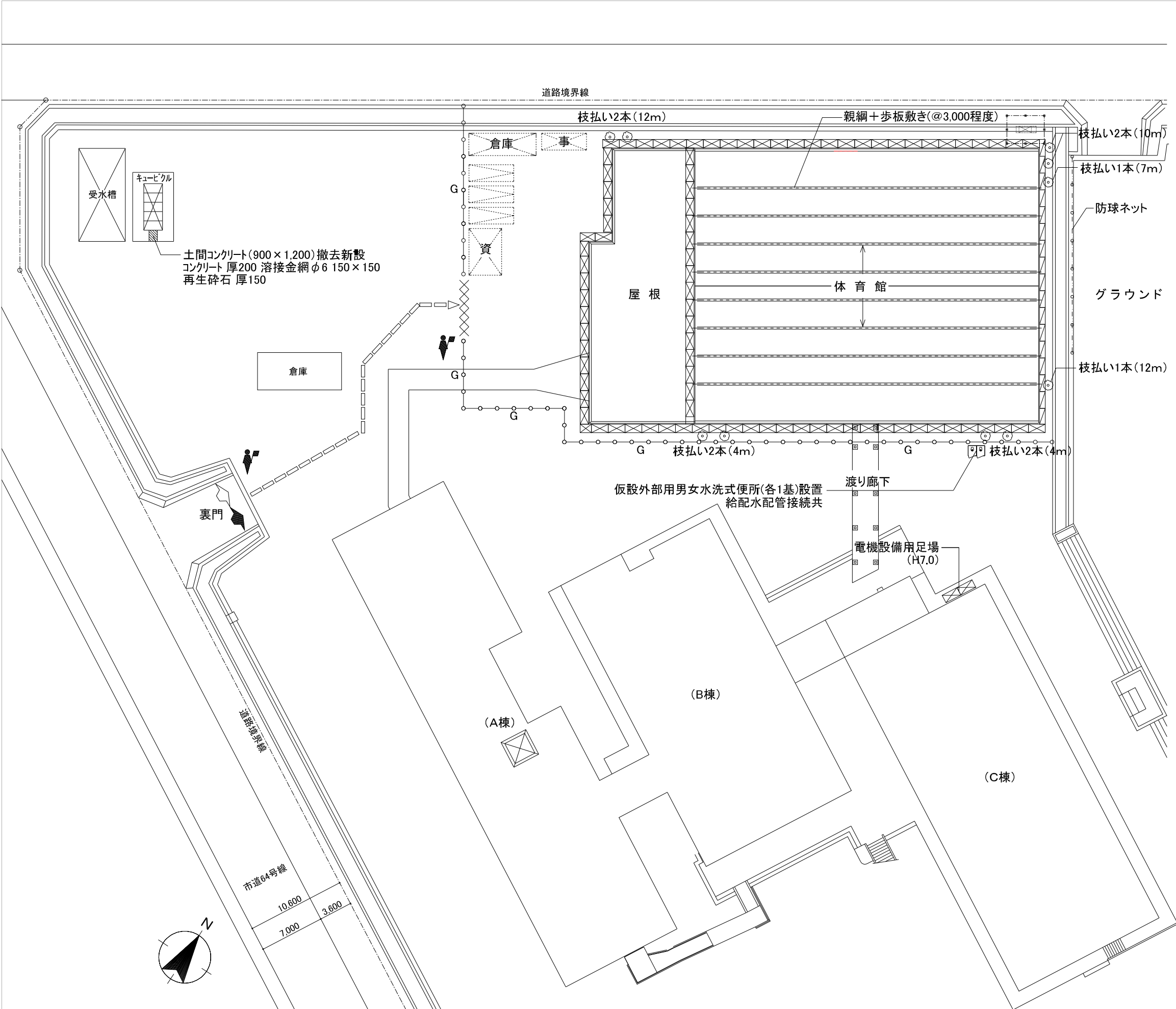
■ 外部鉄部改修塗装仕様		
耐候性塗料塗り DP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(2回) 変性エポキシ樹脂プライマー E種	はけにて全面塗り付け 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上
研磨紙ざり	研磨紙P120～220で研磨する	
中塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659) 中塗り塗料	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上 希釈率0～10%
上塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659)フッ素系塗料 1級	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.10kg／㎡以上 希釈率0～10%

■ 内部鉄部改修塗装仕様		
合成樹脂調合ペイント塗り SOP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(1回目)+研磨紙ざり下塗り(2回目) 鉛・クロムフリー錆止めペイント(JIS K5674) A種 パテかい(JASS18M-110)+研磨紙ざり	はけにて全面塗り付け、研磨紙P120～180で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.10kg／㎡以上
中塗り(1回目)+研磨紙ざり+中塗り(2回目) 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA、研磨紙P220～240で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.09kg／㎡以上
上塗り 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.08kg／㎡以上

■ 内部木部改修塗装仕様		
OSCU塗り 水性1液ウレタン塗料塗り(木部面改修)		
工程・材料	工法	所要量
新設の場合 :素地ごしらえ,木部B種 既存塗膜ある場合:下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
着色(2回) 水性自然系木部用浸透型着色剤 OS (VATON FX各色同等品) ふき取り	刷毛塗り/ローラーにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上 全面白木綿布片でふき取る	0.03kg／㎡以上
下塗り・中塗り(艶有り) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品) 研磨紙刷り	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上 研磨紙P240～320	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)
上塗り(各艶) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品)	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)

2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗料(床面改修)		[ステージ床、体育室床面]
工程・材料	工法	所要量
体育室床の場合:素地ごしらえ,木部B種 ステージ床の場合(既存塗膜ある場合):下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
下塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)16時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
中塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)6時間以上	0.06kg／㎡以上
コートライン引き(体育室床) 溶剤型1液ポリウレタン樹脂塗料 50mm(コートライン一覧表による)	刷毛塗り 塗装間隔(20℃)12時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
上塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り	0.06kg／㎡以上





■ 仮設計画図凡例	
	工事車両 敷地出入り口
	学校関係 敷地出入り口
	工事関係 建物出入口
	生徒職員出入口
	工事車両搬入通路
	交通整理員
	手すり先行枠組本足場 (手すり据置型とする)W600・W900 ・安全手すり共 ・ネット状養生シート(防災Ⅰ類) ・扉鍵付共
	荷揚げ資材仮置きステージ足場 ★最上部電動ウィンチ
	附帯施設屋根、底足場下 ビニルシート+t12ラワン合板養生
	仮設敷鉄板養生
	ポリエチレン製敷板養生
	ゴムマット養生
	クロスゲート(W6,000×H1,800)
	ガードフェンス H1,800
	カラーコーン+バー
	樹脂フェンス
	資材置場(シート床養生共)
	現場事務所(設置可能場所)
	仮設倉庫(ユニットハウス2.4×7.2程度) 体育館備品置場
	搬出入車両置場

■特記事項

- ・本図をもとに仮設図を作成し、施設管理者、監督員と協議のうえ着手すること。

〈体育館屋根改修〉

- ・体育場床・舞台・ギャラリは養生撤去のあと清掃を行うこと。
- ・ピアノは毛布掛けのうえビニルシートにて養生をし、工事完了後に調律を行うこと。
- ・附帯施設等の下屋に金属板葺きがある場合はビニルシート+t12ラワン合板養生を行い単管ブラケット足場にて仮設足場の軽量化を図る事。

〈サッシ改修〉

- ・サッシ改修部分(内部)はシート床養生(サッシ幅×1m)とする。
- ・改修サッシで移動の必要がある家具は移動・再設置をすること。

〈設備改修〉

- ・ガス配管、電気配線等の敷設の際は、生徒動線との隔離対策を行うこと。

※高圧水洗工法を行う際に、汚染水の流出防止のため防水性能のあるシートを用いて床養生を設ける。
※石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付きドリルを使用する。

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事

图面名称

電気設備改修工事特記仕様書

図面番号

E- 01

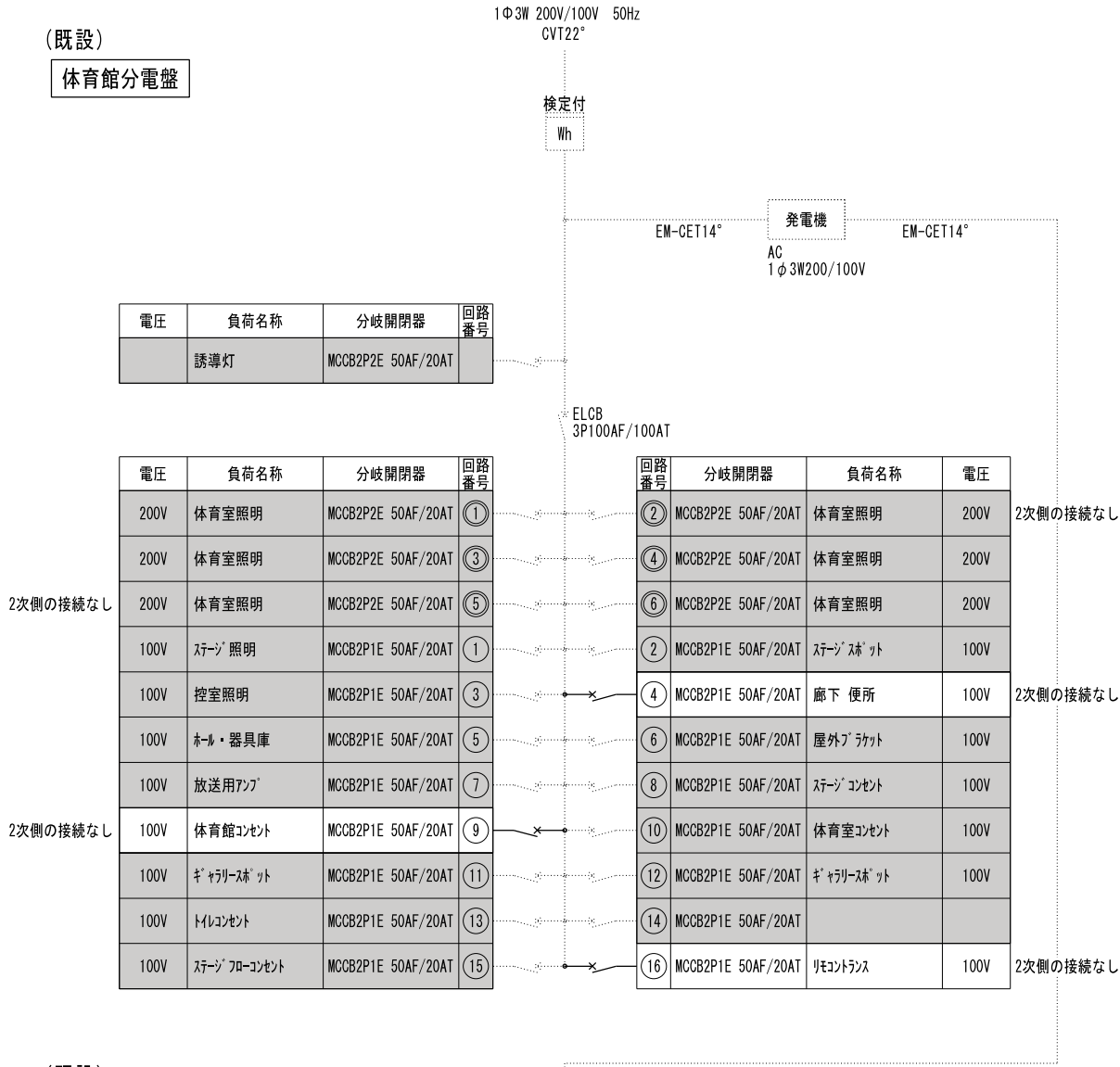
注記：機器及びシステム参考図について

本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。

これらのものについては、その品質・性能が図面と同等級品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

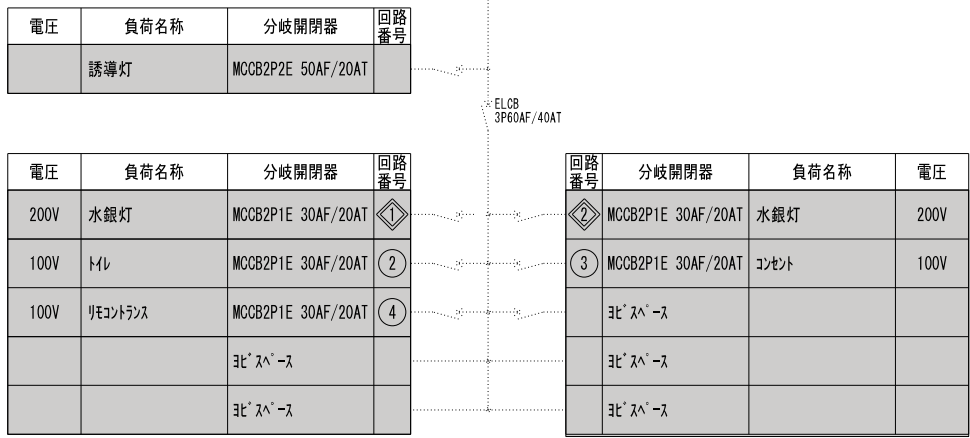
(既設)

体育館分電盤



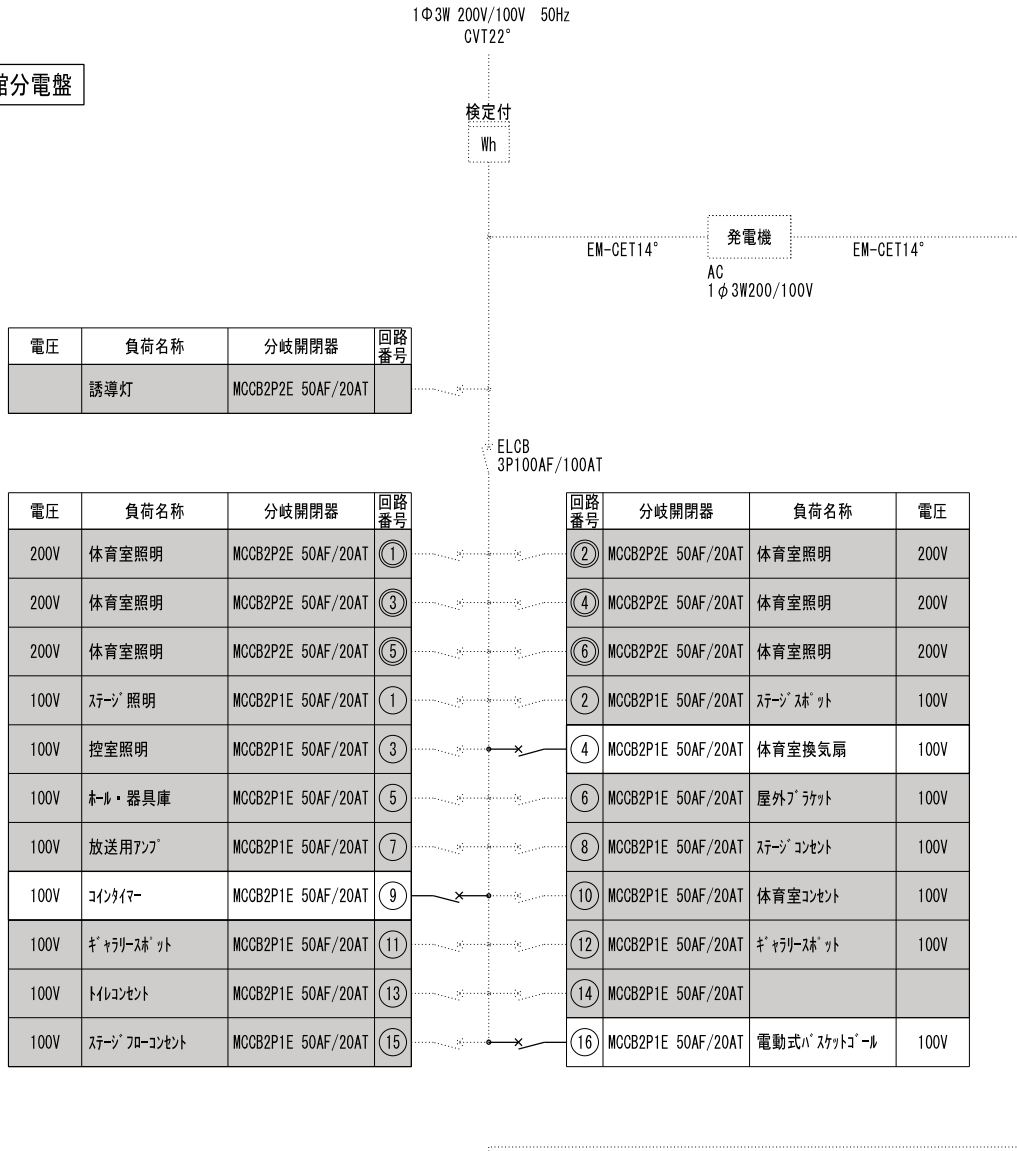
(既設)

分電盤L-2



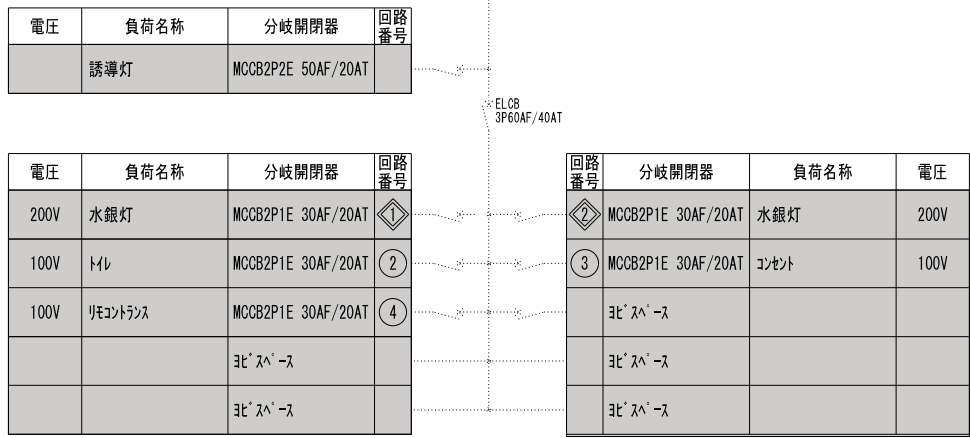
(改修)

体育館分電盤



(改修)

分電盤L-2



注1. 今回工事は太線を示す。

注2. 対象外とする。

注3. MCCB2P1E → AC-1φ3W-100Vを示す。
MCCB2P2E → AC-1φ3W-200Vを示す。

※今回工事は太線とする。

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

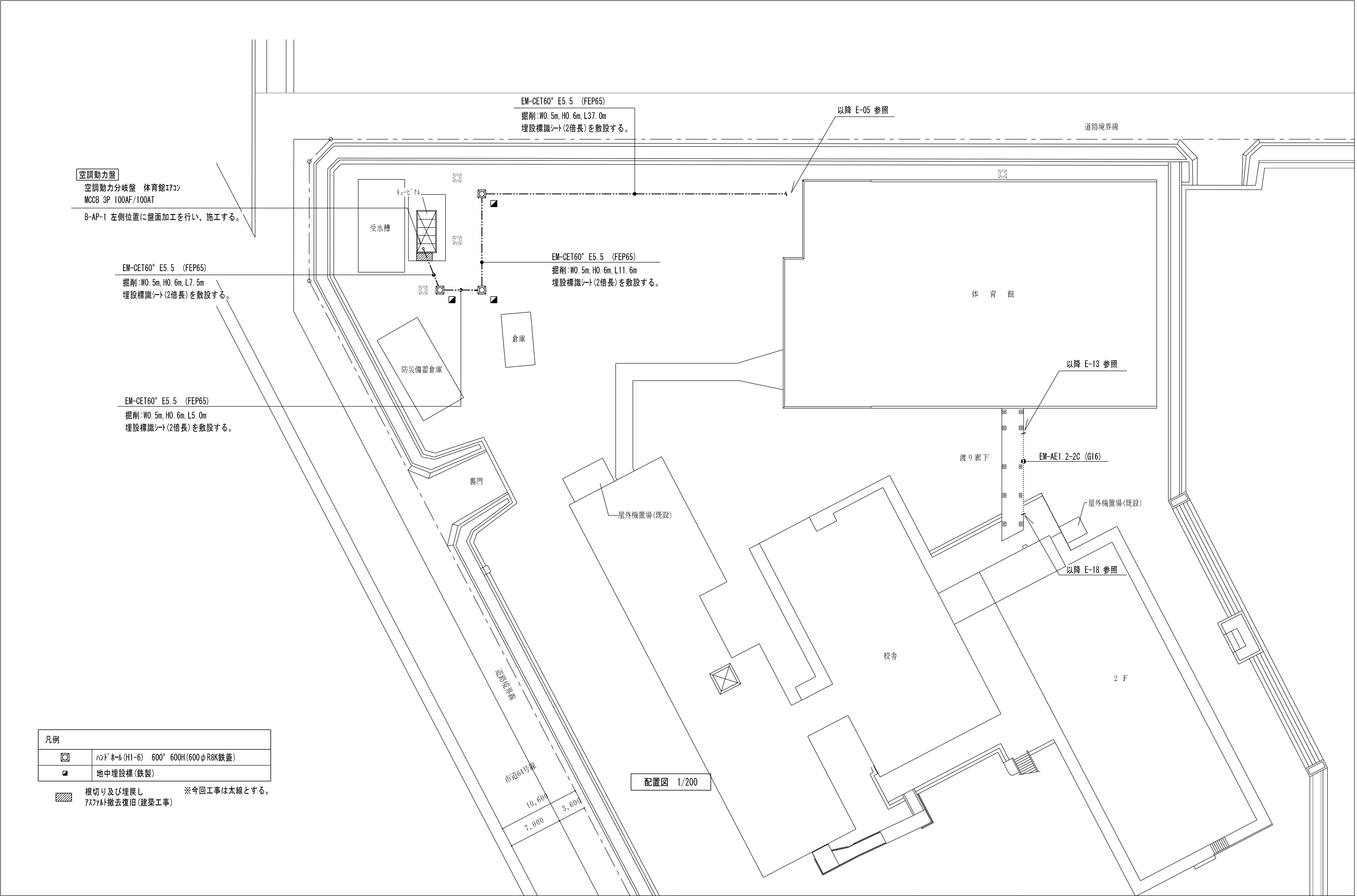
分電盤結線図

縮尺

N0 SCALE

図面番号

E- 03



工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

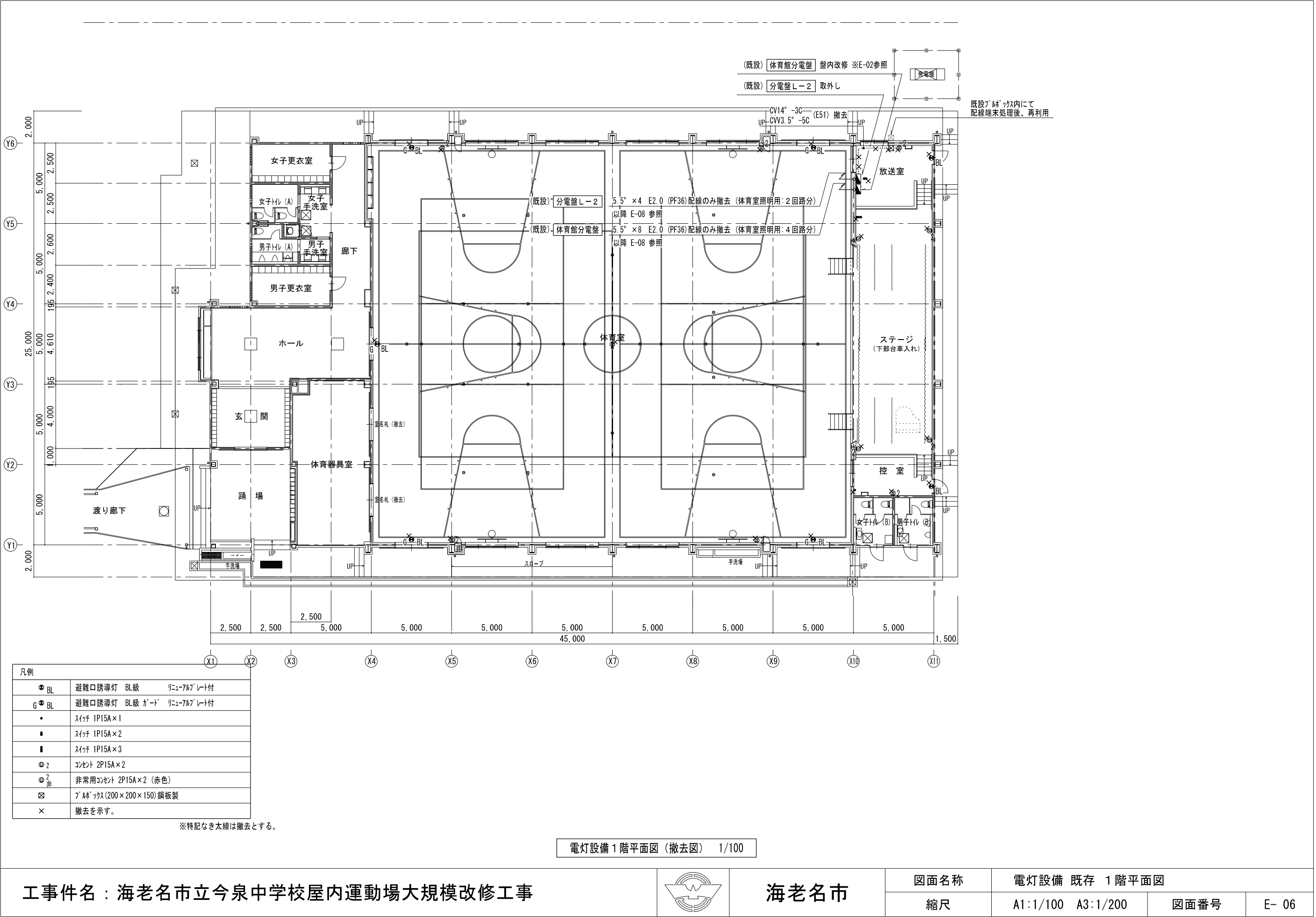
配置図

縮尺

A1:1/200 A3:1/400

図面番号

E- 04



工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

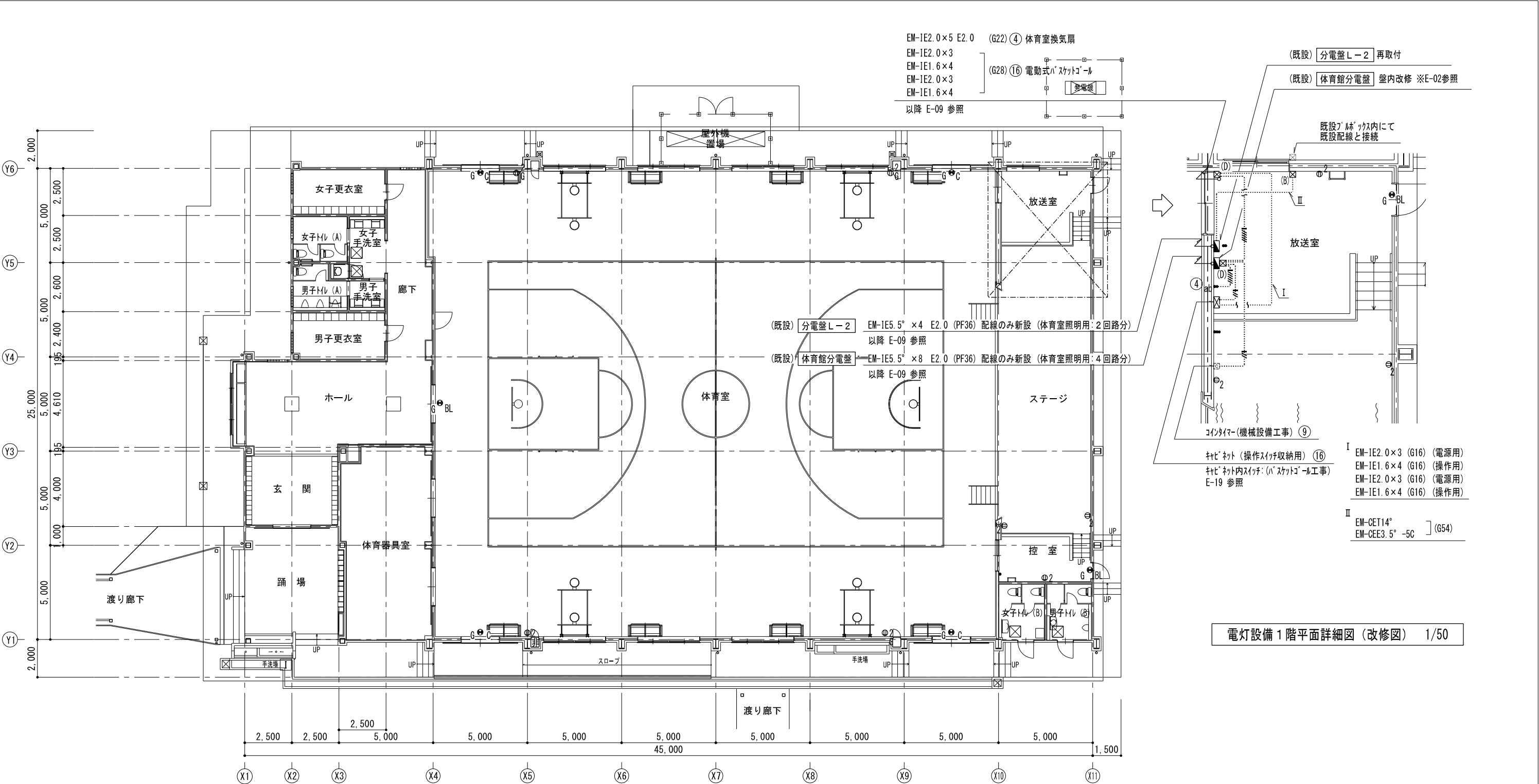
電灯設備 既存 1 階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 06



電灯設備 1 階平面詳細図（改修図） 1/50

凡例			特記なき配管配線は下記とする。
G ② C	避難口誘導灯 C級 ガード付	Φ ₂	コンセント 2P15A×2
G ② BL	避難口誘導灯 BL級 ガード付	Φ ₂ ² _G	コンセント 2P15A×2 ガードプレート付
●	スイッチ 1P15A×1	Φ ₂ ² _非	非常用コンセント 2P15A×2（赤色）ガードプレート付
■	スイッチ 1P15A×2	★	再取付を示す。
■	スイッチ 1P15A×3		
■ _{ab}	スイッチ 1P15A×2 PLランプ付・露出スイッチボックス 1個用		

注1 図中露出配管の配線は、内装改修（壁仕上材げ張替え等）が伴う場合、可能な限り壁内配線とする。
※特記なき太線は新設とする。

- 凡例
- ☒_A : プルボックス(150×150×100)鋼板製 錆止め塗装
 - ☒_a : プルボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ☒_B : プルボックス(200×200×150)鋼板製 錆止め塗装
 - ☒_b : プルボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ☒_D : プルボックス(300×300×200)鋼板製 錆止め塗装
 - ☒_d : プルボックス(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
- ※()は接地端子付とする。

電灯設備 1 階平面図（改修図） 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

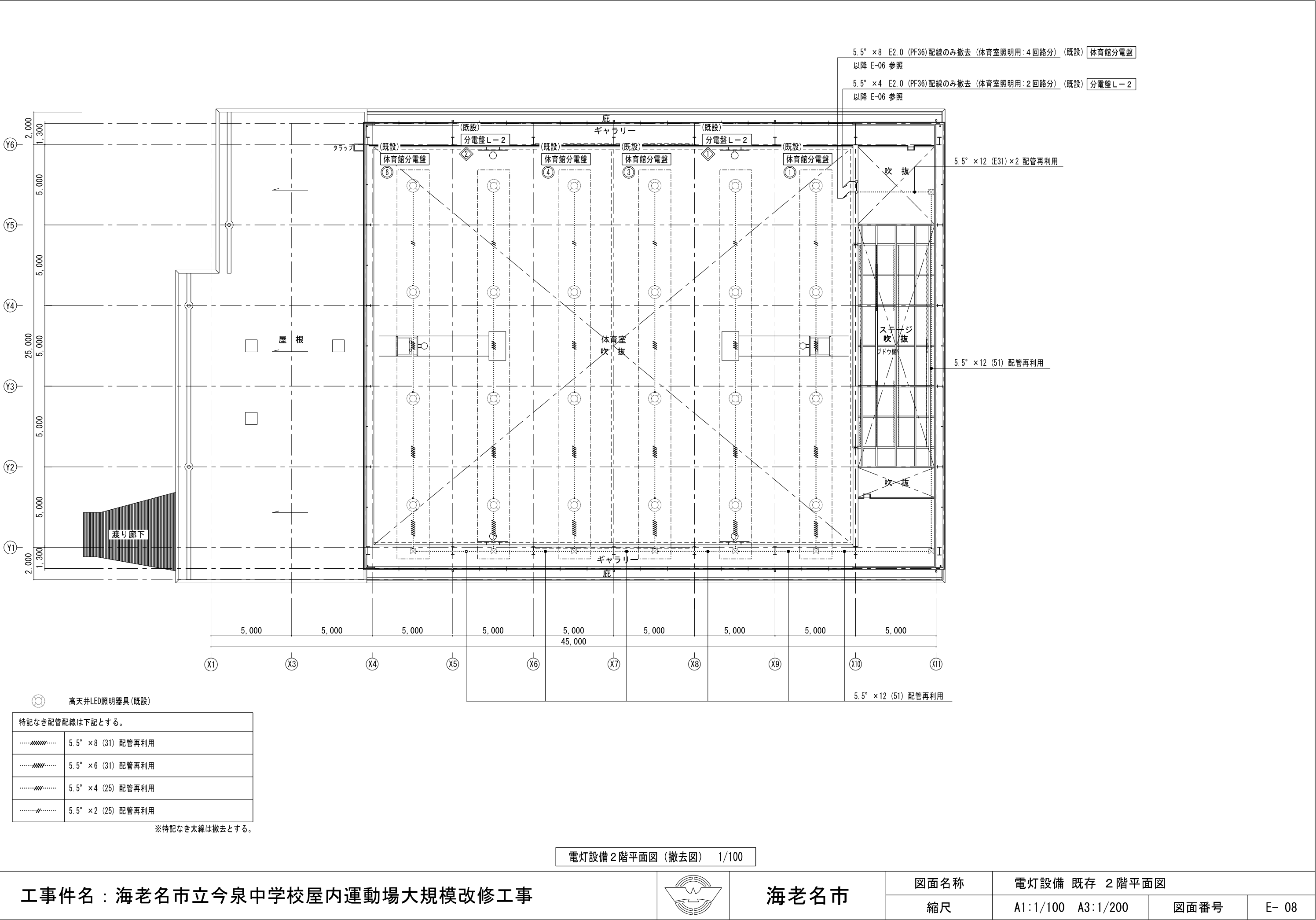
電灯設備 改修 1 階平面図・詳細図

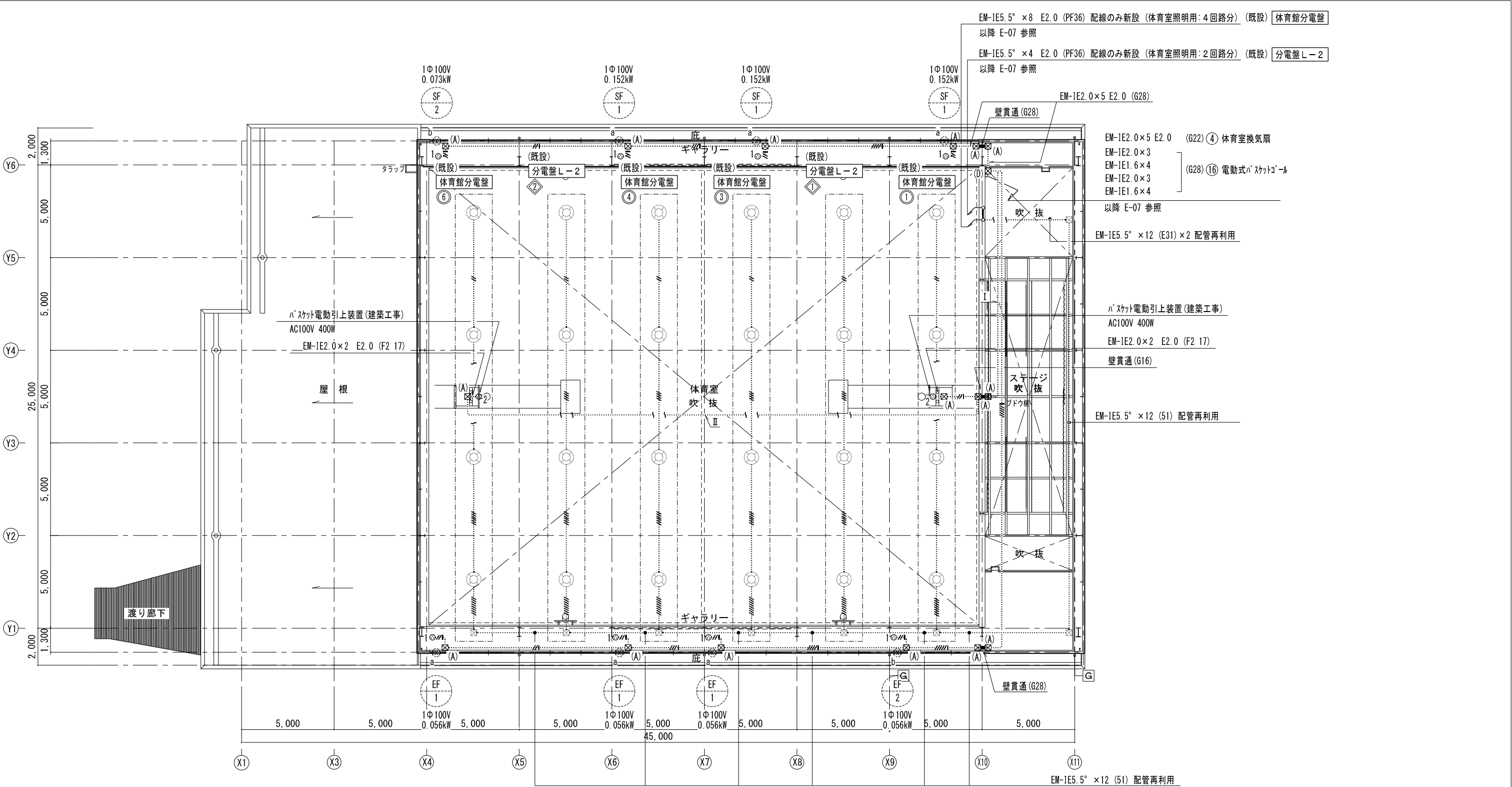
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 07





凡例		特記なき配管配線は下記とする。			
	高天井LED照明器具 (既設)		EM-1E2.0×5 E2.0 (G28)		EM-1E5.5°×8 (31) 配管再利用
	引掛コンセント 2P15A×1 接地極付 プラグ 共		EM-1E2.0×4 E2.0 (G28)		EM-1E5.5°×6 (31) 配管再利用
	引掛コンセント 2P15A×1・アウトレットボックス 浅型 D44		EM-1E2.0×3 E2.0 (G22)		EM-1E5.5°×4 (25) 配管再利用
	プラグボックス(150×150×100)塗装 接地端子付		EM-1E2.0×2 E2.0 (G22)		EM-1E5.5°×2 (25) 配管再利用
	有圧換気扇(機器設備工事)				

注1. 給気・排気ファンは連動運転とする。
※特記なき太線は新設とする。

電灯設備 2階平面図 (改修図) 1/100

- 凡例
- ⊠A : プラグボックス(150×150×100)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠a : プラグボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠B : プラグボックス(200×200×150)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠b : プラグボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠D : プラグボックス(300×300×200)銅板製 錆止め塗装
 - ⊠d : プラグボックス(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
- ※()は接地端子付とする。
- I EM-1E2.0×3
EM-1E1.6×4
EM-1E2.0×3
EM-1E1.6×4 (G28)
- II EM-1E2.0×3
EM-1E1.6×4 (G22)

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

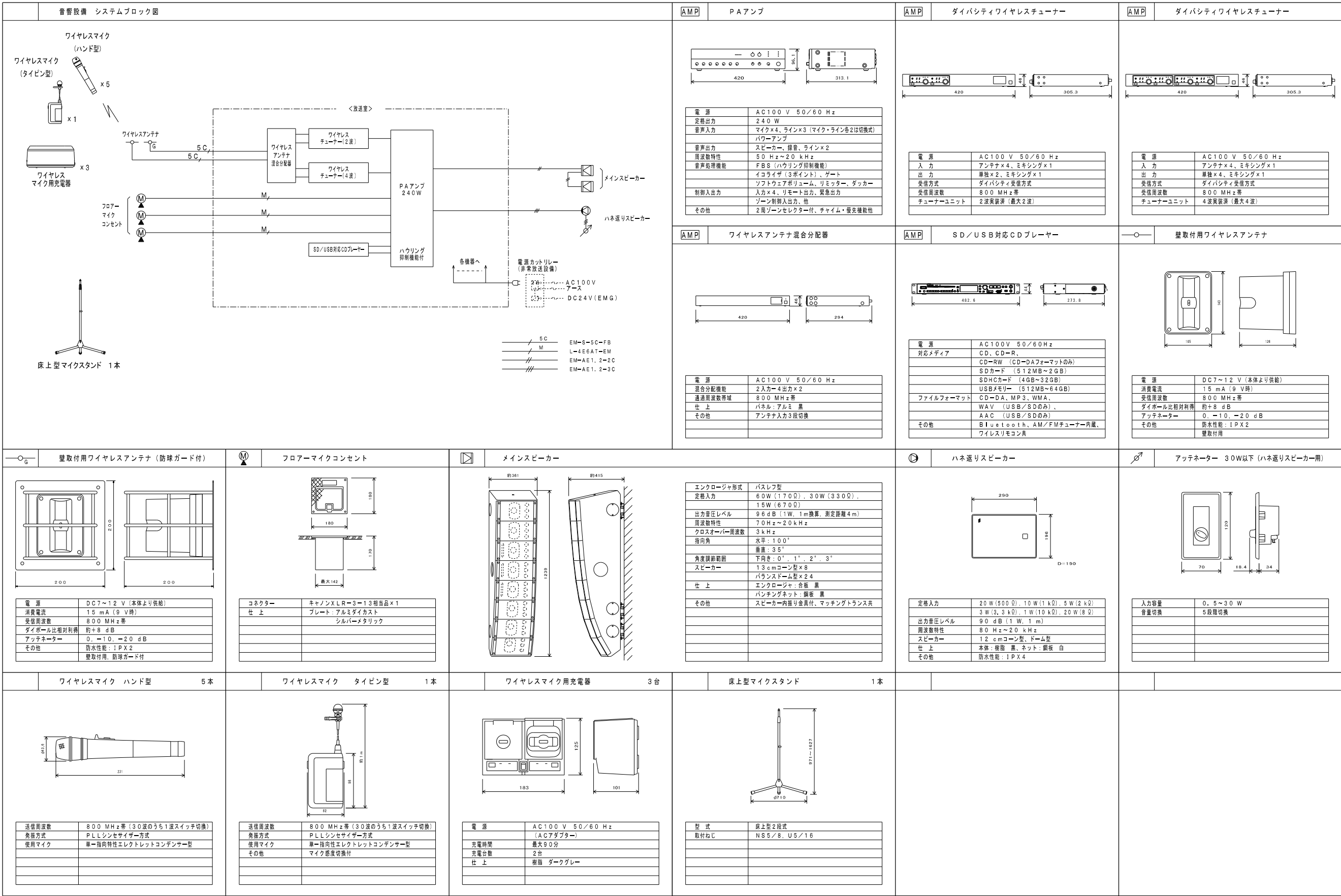
電灯設備 改修 2階平面図

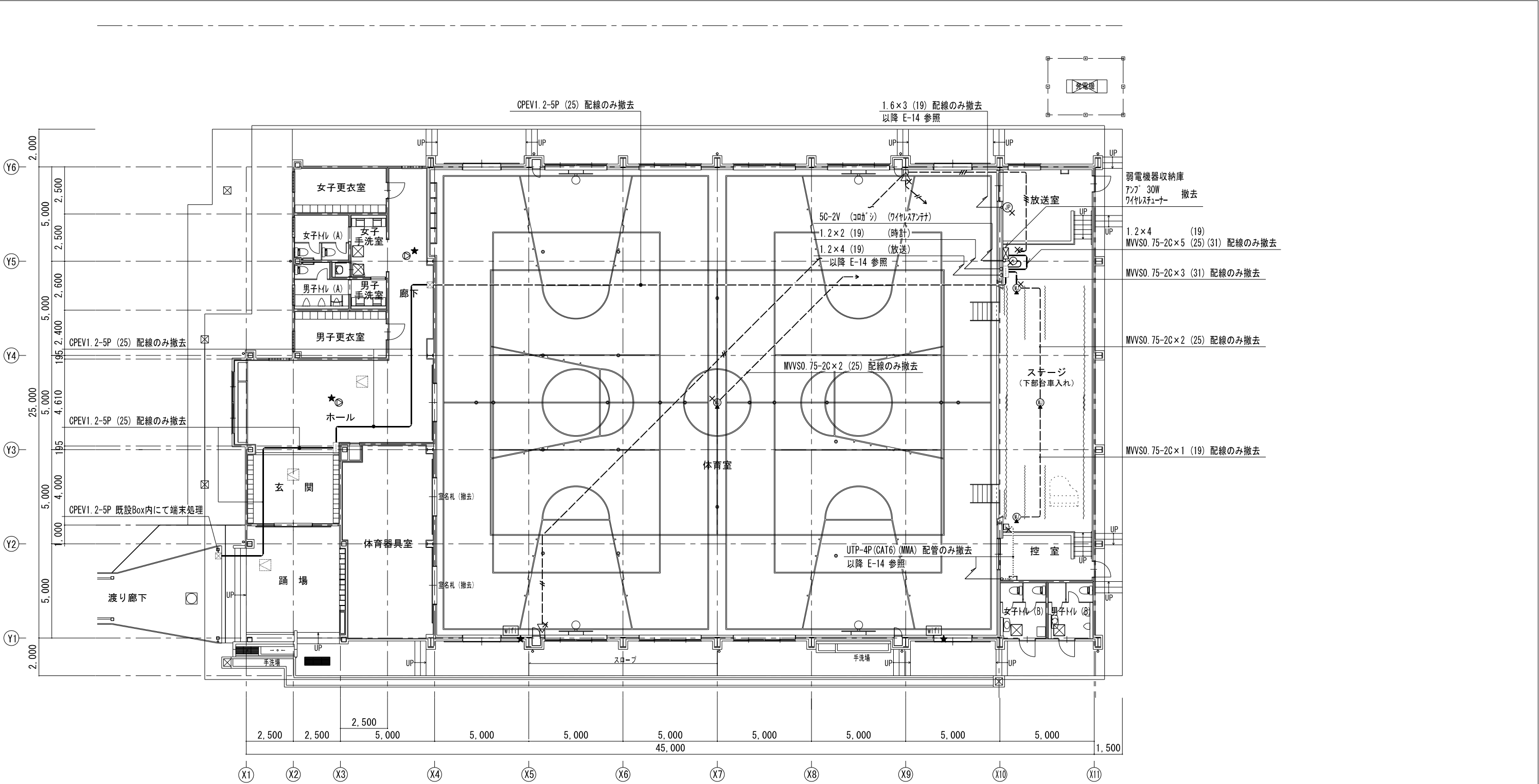
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 09

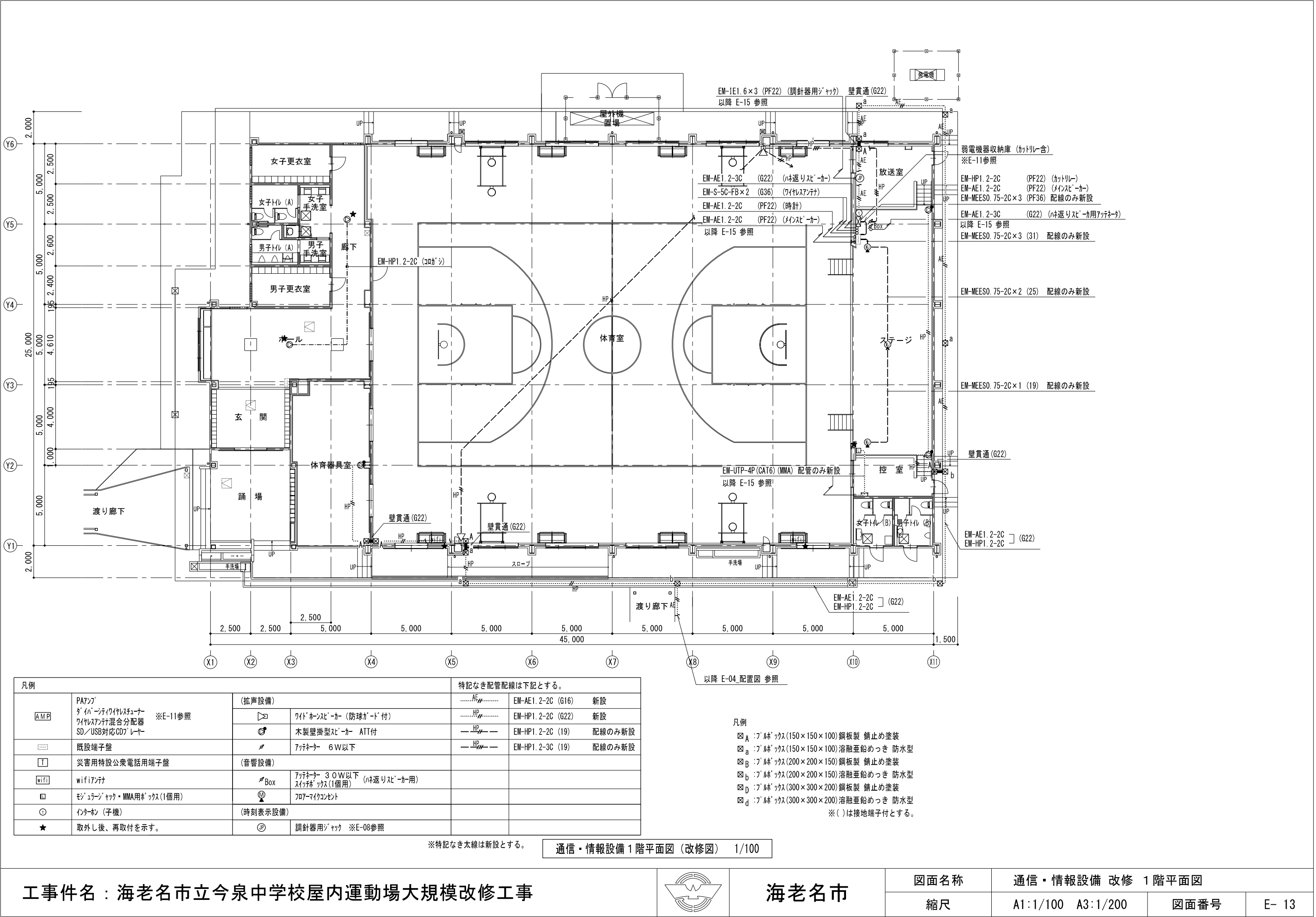


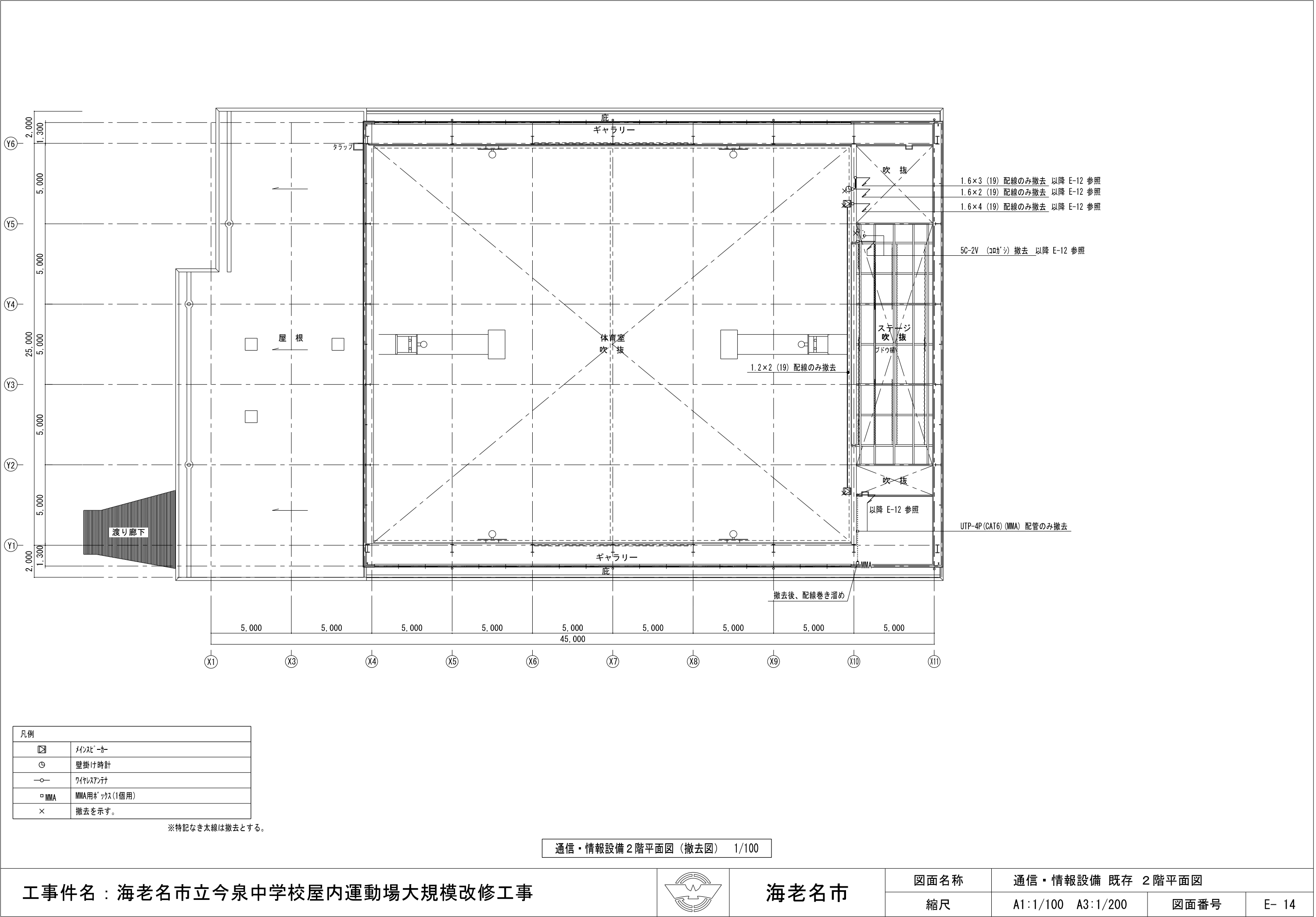


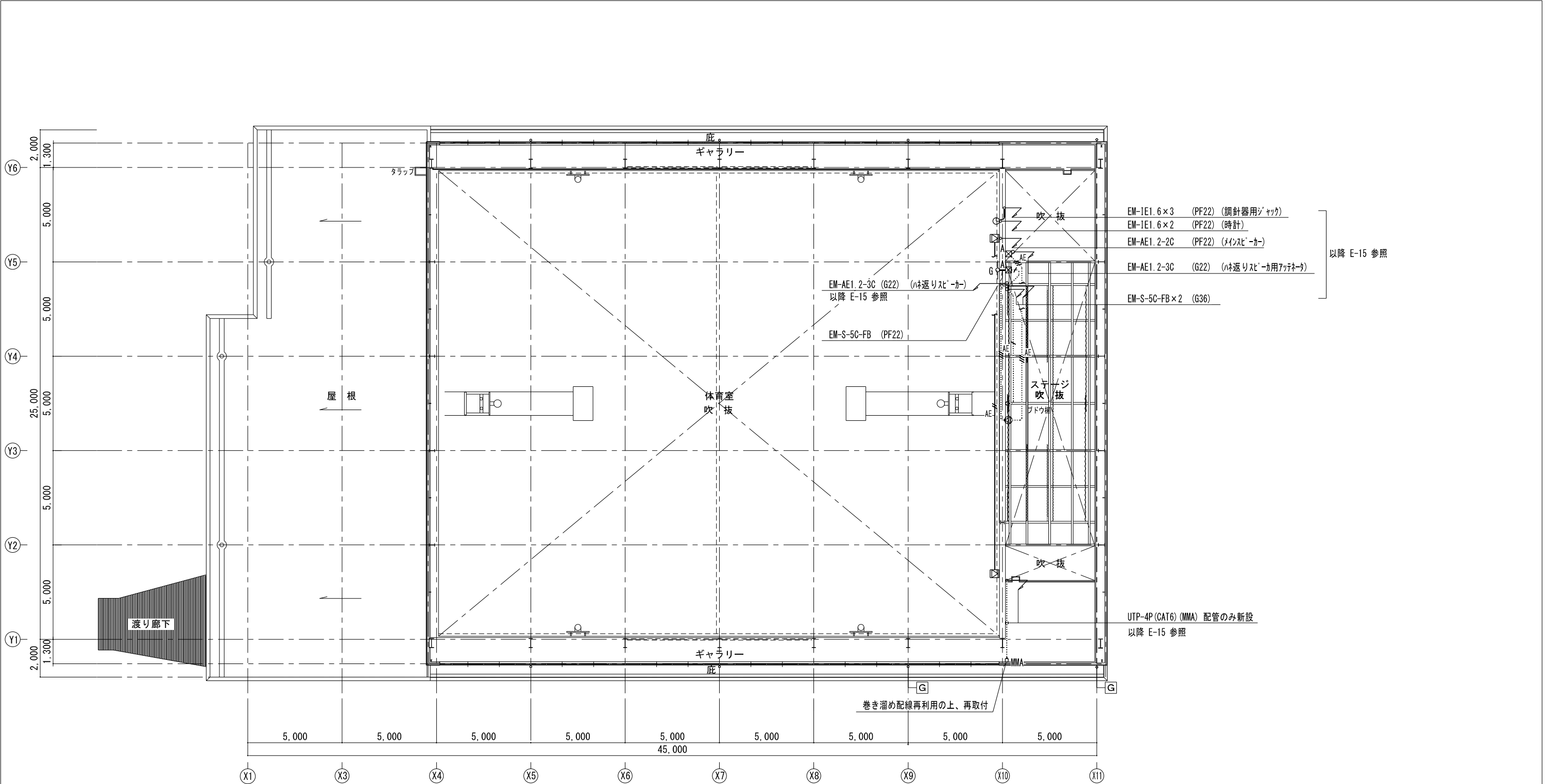
凡例				特記なき配管配線は下記とする。	
	既設端子盤		wifiアンテナ		CPEV1.2-3P (25) 配線のみ撤去
	ホーン型スピーカー(非常放送用)		モジュラージャック・MMA用ボックス(1個用)		HIV1.2×2 (19) 配線のみ撤去
	アンテナ	★	取外し後、再取付を示す。		HIV1.2×3 (19) 配線のみ撤去
	マイクジャック(床埋込)	×	撤去を示す。		
	インターホン(6局用親機)				
	調針器用ジャック				
	災害用特設公衆電話用端子盤				

※特記なき太線は撤去とする。

通信・情報設備 1 階平面図（撤去図） 1/100





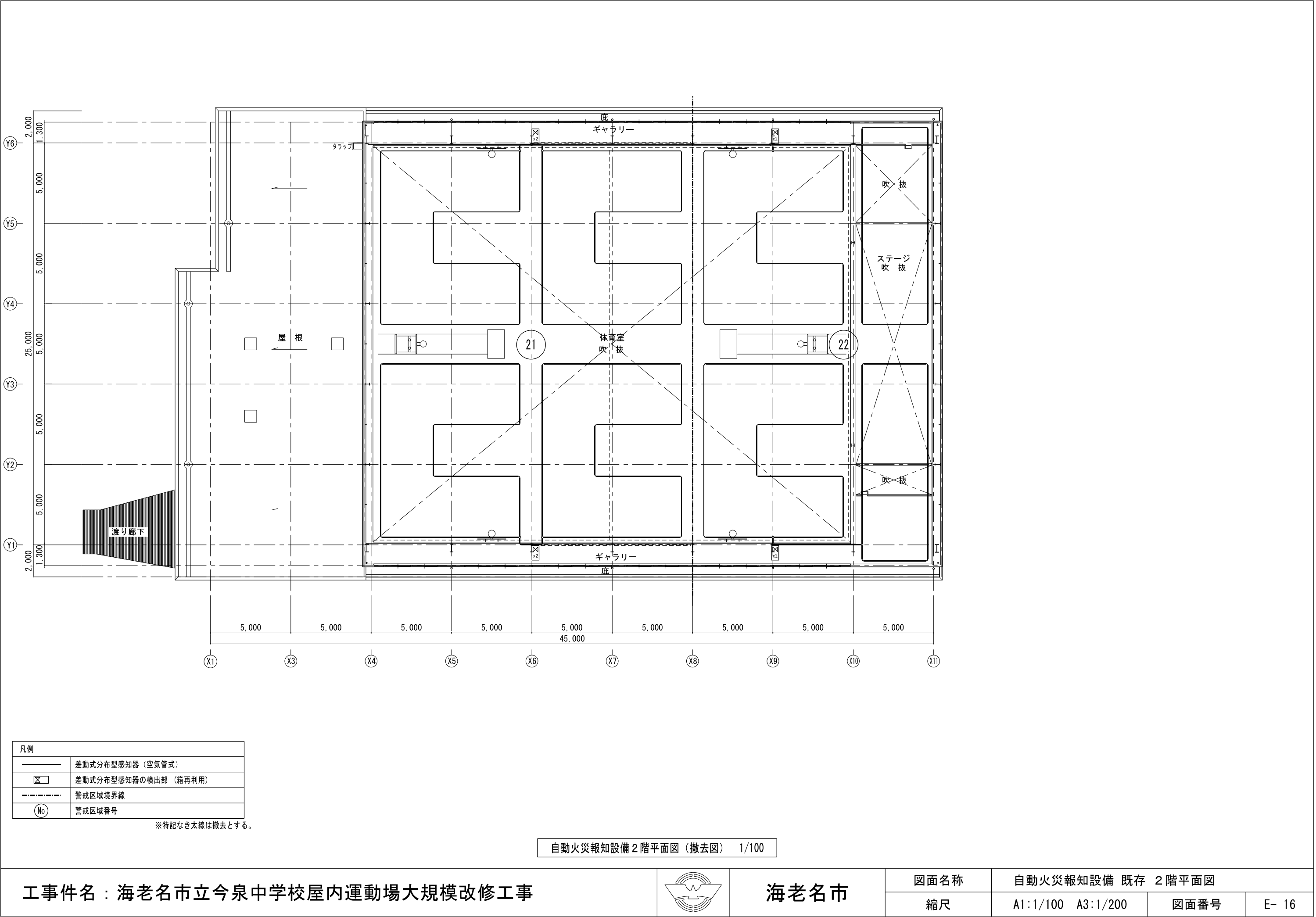


凡例		特記なき配管配線は下記とする。	
	メインケーブル		EM-AE1.2-2C (19) 配線のみ新設
	ハネ返りケーブル		EM-AE1.2-3C (G22)
	壁掛け時計		EM-AE1.2-3C (G28)
	ワイヤレスアンテナ		
	壁取付用ワイヤレスアンテナ (防球ガード付)		
	MMA用ケーブル (1個用)		

※特記なき太線は新設とする。

- 凡例
- ⊠A : プレート鋼(150×150×100)鋼板製 錆止め塗装
 - ⊠a : プレート鋼(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠B : プレート鋼(200×200×150)鋼板製 錆止め塗装
 - ⊠b : プレート鋼(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⊠D : プレート鋼(300×300×200)鋼板製 錆止め塗装
 - ⊠d : プレート鋼(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
- ※()は接地端子付とする。

通信・情報設備 2 階平面図 (改修図) 1/100



工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

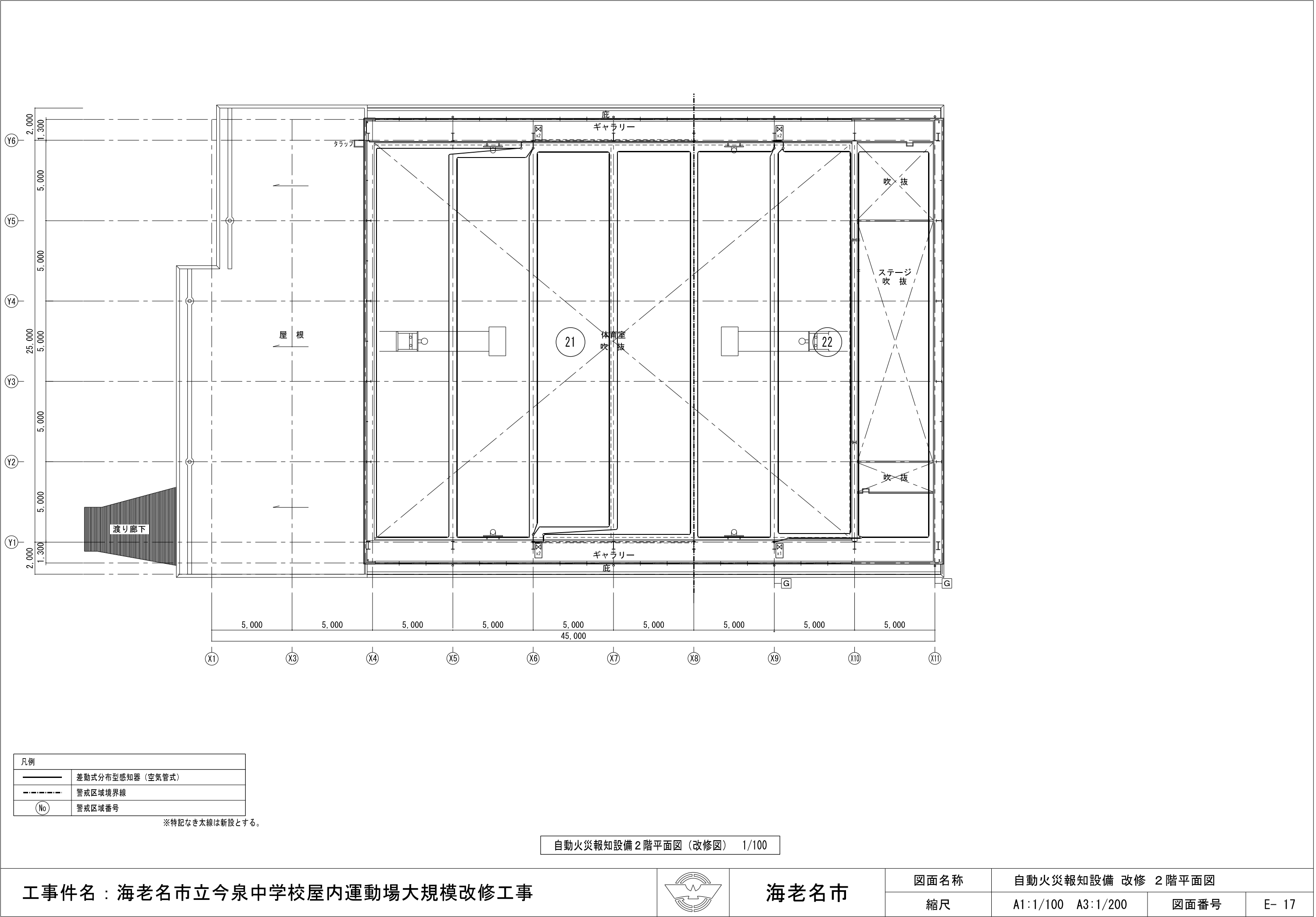
自動火災報知設備 既存 2階平面図

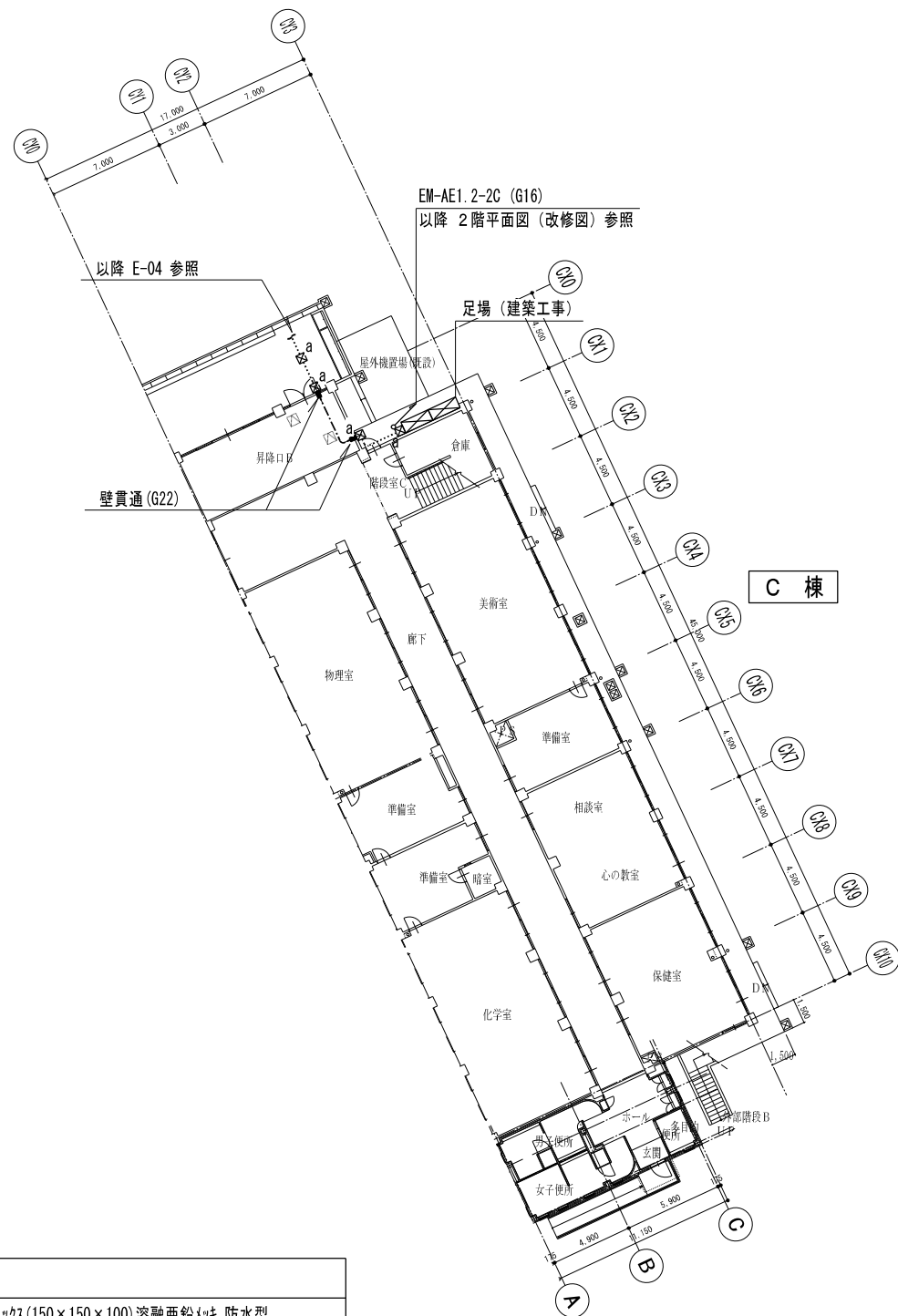
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

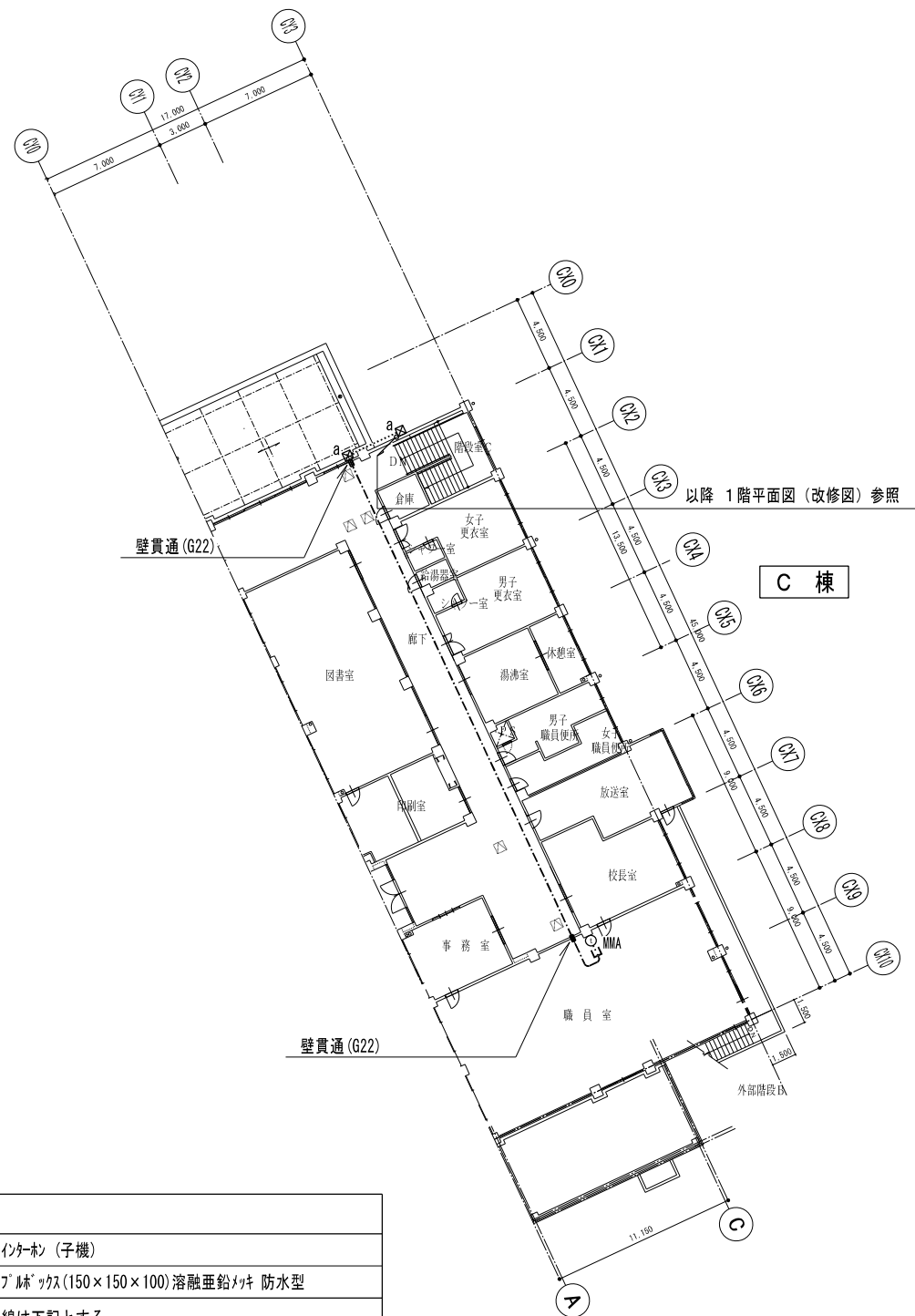
E- 16





凡例	
	ﾌﾞﾚｯｸｽ(150×150×100)溶融亜鉛メッキ 防水型
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-AE1.2-2C (ｺｯﾎﾟｰ)
	EM-AE1.2-2C (G16)

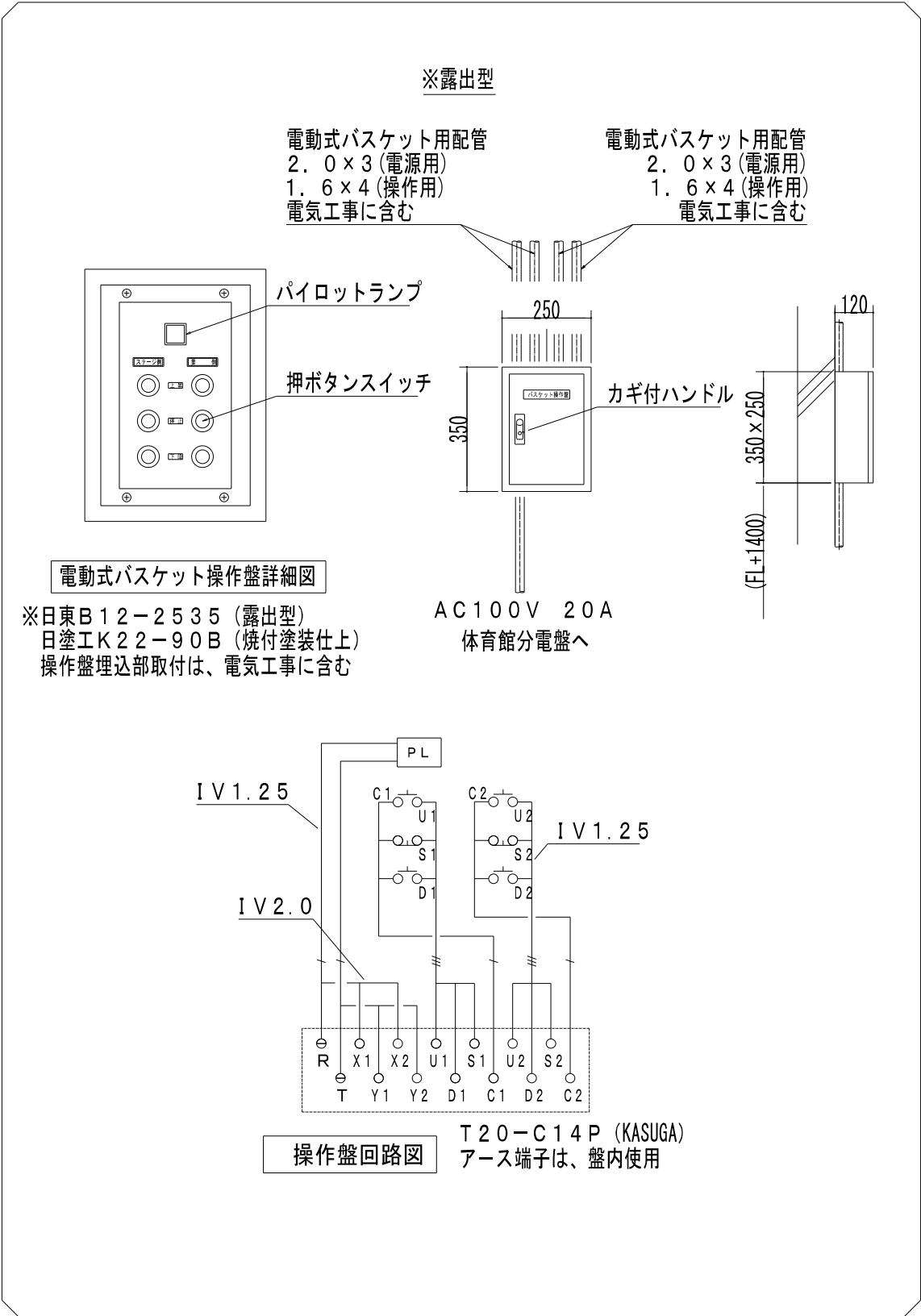
1 階平面図（改修図） 1/200



凡例	
	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ (子機)
	ﾌﾞﾚｯｸｽ(150×150×100)溶融亜鉛メッキ 防水型
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-AE1.2-2C (ｺｯﾎﾟｰ)
	EM-AE1.2-2C (G16)
	EM-AE1.2-2C (MMA)

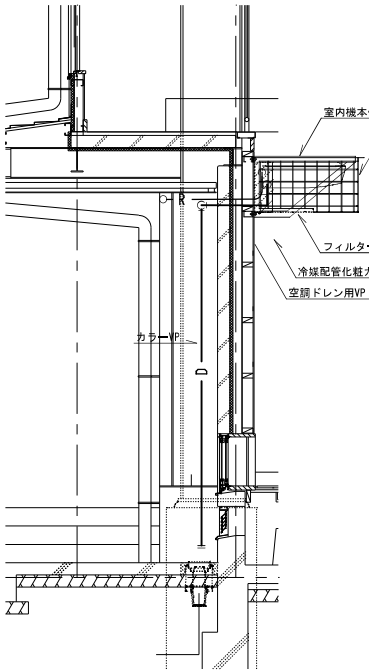
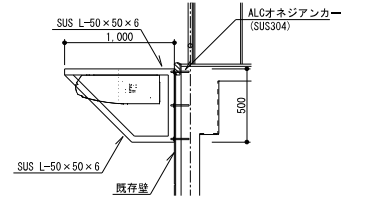
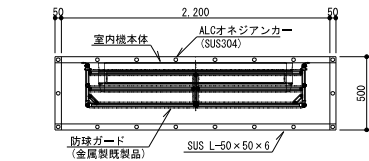
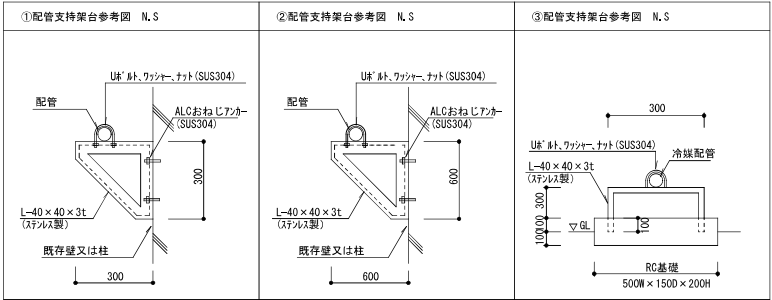
2 階平面図（改修図） 1/200



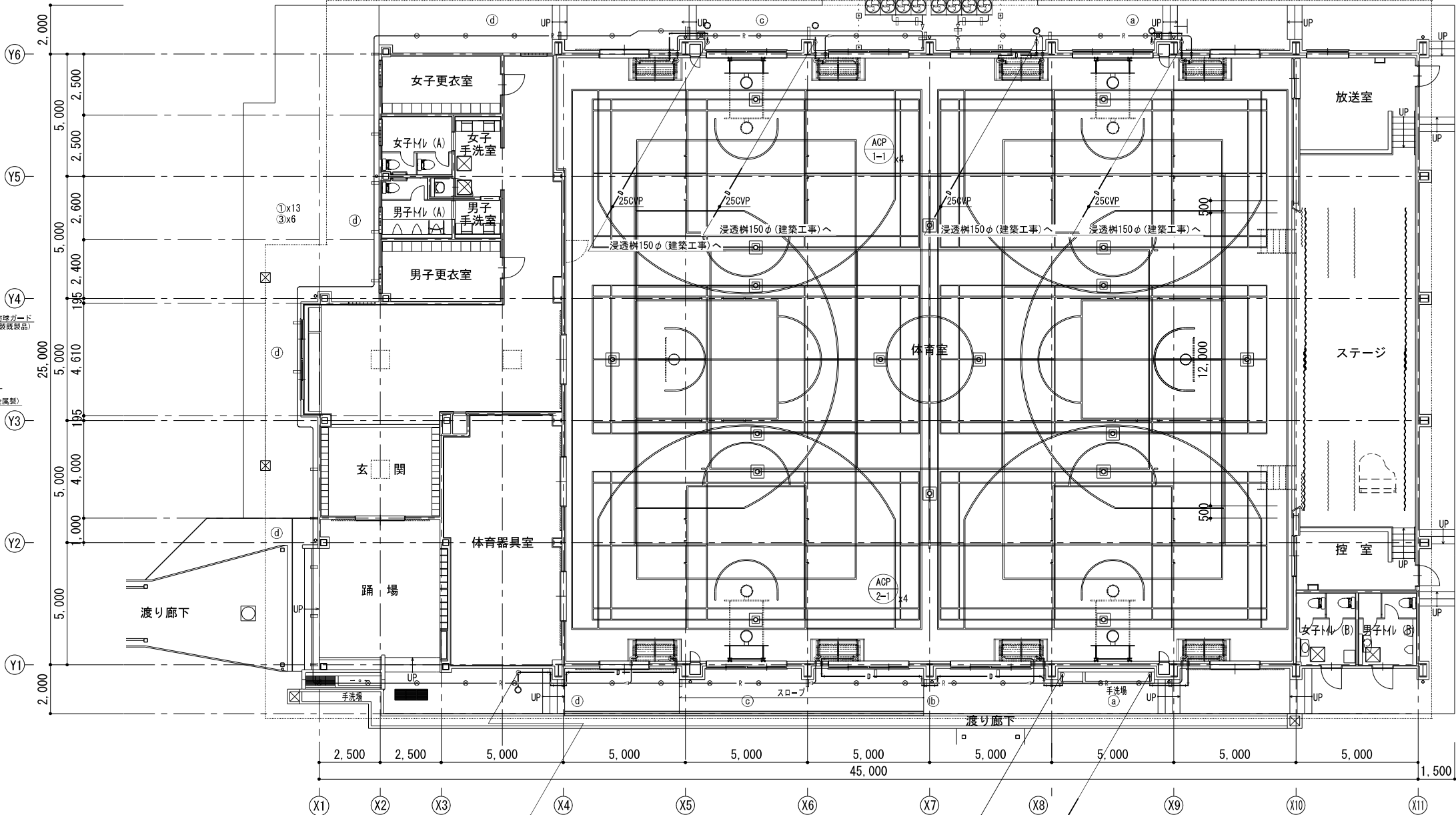


記号	冷媒管 (CUP) (液管・ガス管)	制御配線	電源配線
①	9.5φ/15.9φ	EM-CEES-1, 25~20	EM-EEF-2, 0~30
②	9.5φ/22.2φ	EM-CEES-1, 25~20	EM-EEF-2, 0~30
③	12.7φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~20	EM-EEF-2, 0~30
④	15.9φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~20	EM-EEF-2, 0~30

※注記
①は外壁貫通処理を示す
押し出し中空セメント成形板①15コアorサークルカッター貫通処理
⊗は配管吊り支持を示す
既設梁及び天井支持部材より鋼材用り金物にて支持を行う
上記に伴う既設天井撤去は建築工事



屋内機及び配管貫通部詳細図 1/30

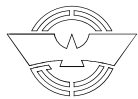


機 器 表

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (kW)		階	室 名	
ACP-1	室外機	形 式： 空冷ヒートポンプマルチエアコン (冷暖切替型高00Pタイプ)	3	200	15.66	2	1	屋外機置場	コンクリート基礎 (建築工事)
ACP-2		冷房能力： 56.0kW 暖房能力： 63.0kW							
		消費電力： 冷房17.7kW 暖房15.9kW							
		冷媒： R32							
		付属品： SUS製基礎ボルト 防振ゴムパッド 冷媒分岐管×3							
		その他標準付属品共							
ACP-1-1	室内機	形 式： 天吊形	1	200		8	1	体育館	金属製防球ガード
ACP-2-1		冷房能力： 14.0kW 暖房能力： 16.0kW							
		付属品： ゴムパッド その他標準付属品共							
R	個別リモコン	形 式： ワイヤードリモコン	1	100		2	1	控室1	
		機 能： 運転・停止 温度・風量設定 異常・故障表示 週間タイマー							
		付属品： 鍵付リモコンボックス							
C	コインタイマー	形 式： コインタイマー	1	100	0.004	1	1	控室1	屋内機用中継基盤共
		仕様要項： 100円硬貨 連続投入 50枚迄 運転時間：10分~180分 (10分単位)							電源供給は電気工事

空調設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

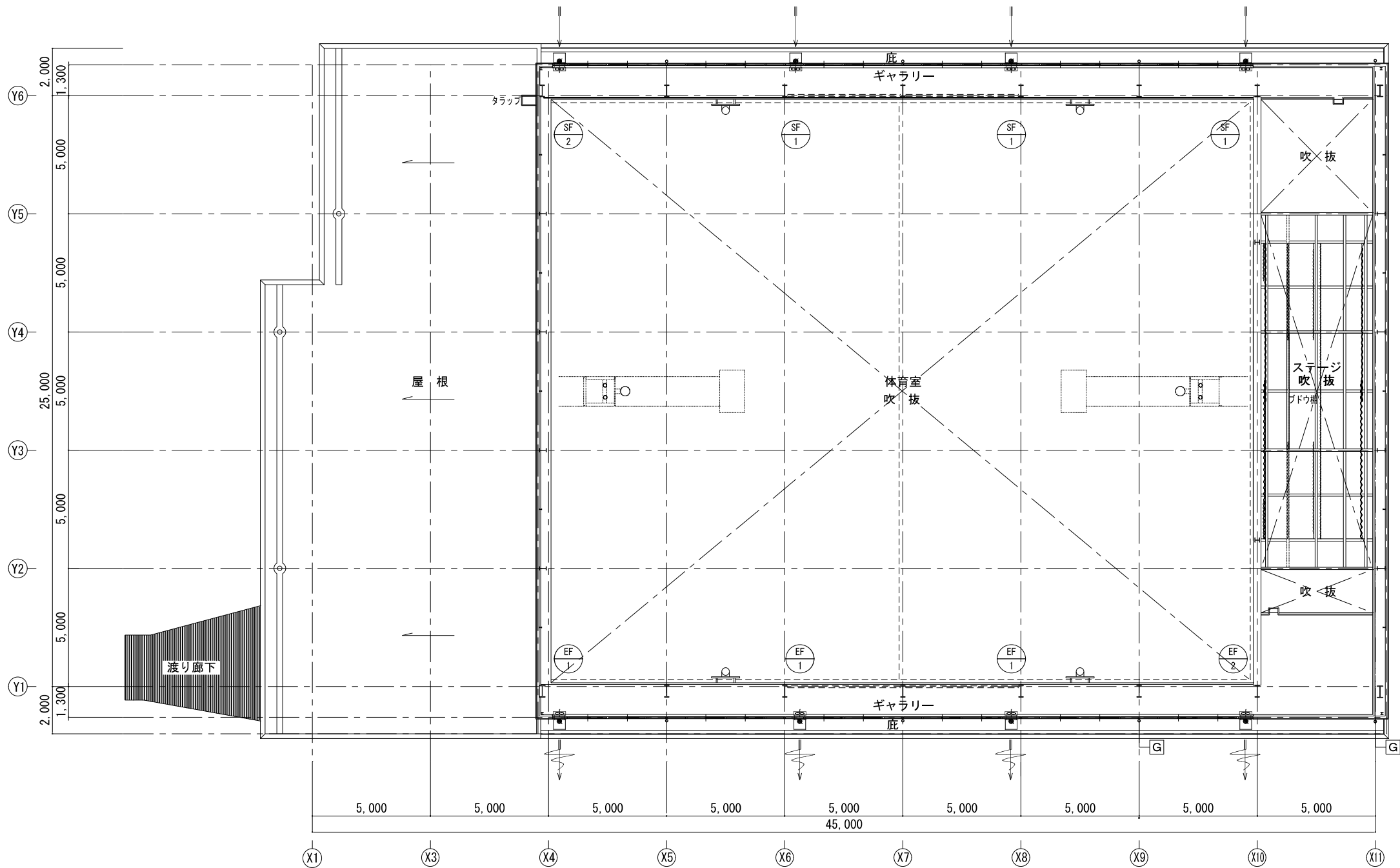
空調設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-02



換気設備 改修 2階平面図 1/100

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
EF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	135	3	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）
EF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	56	1	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
SF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	152	3	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）
SF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	73	1	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

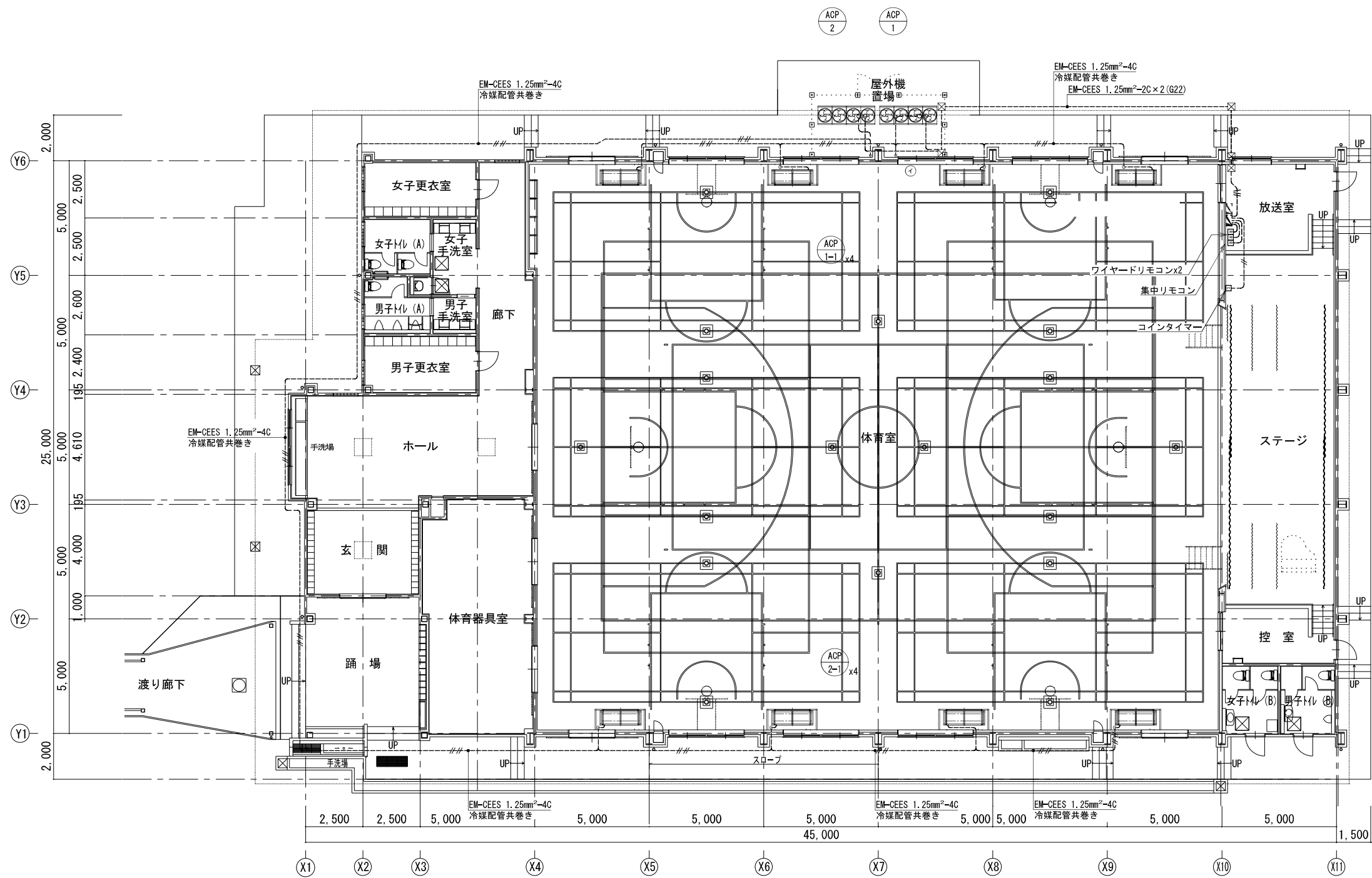
換気設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

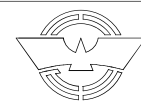
図面番号

M-03



計装設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立今泉中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

縮尺

計装設備 改修 1階平面図

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-04